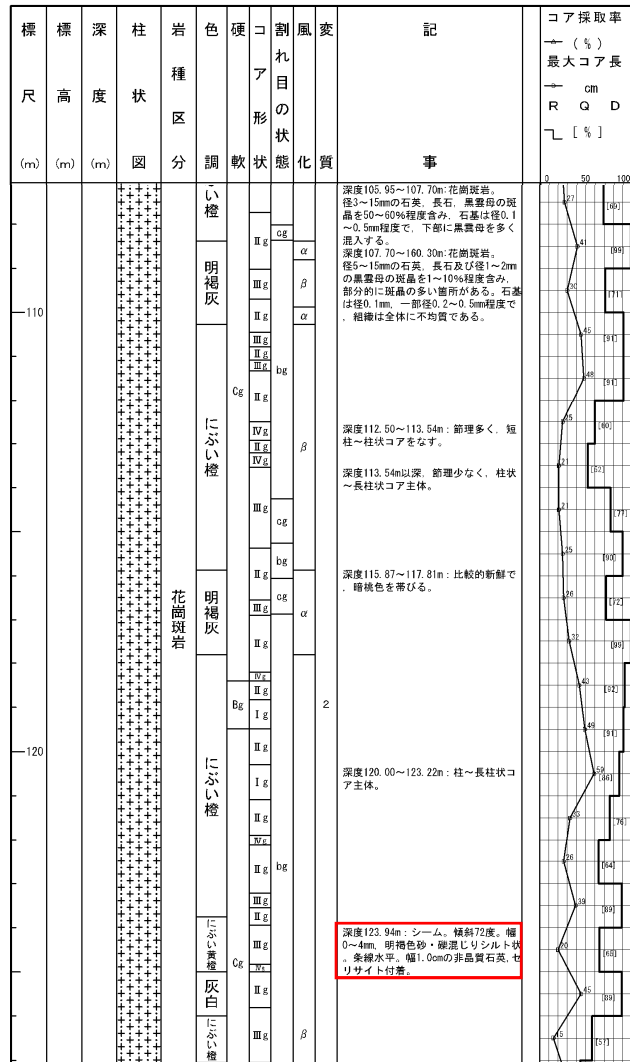


柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.6孔 深度123.94m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。

委託報告書 (平成19年)



審査資料案

記事
123.94m ・変質している。 ・明褐色砂・礫混じりシルト状を呈する。

審査資料 (平成30年11月30日)

記事
123.94m ・変質している。 ・明褐色砂・礫混じりシルト状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度123.94m: シーム。傾斜72度。幅0~4mm。明褐色砂・礫混じりシルト状。条線水平。幅1.0cmの非晶質石英、セリサイト付着。	123.94m ・変質している。 ・明褐色砂・礫混じりシルト状を呈する。	123.94m ・変質している。 ・明褐色砂・礫混じりシルト状を呈する。

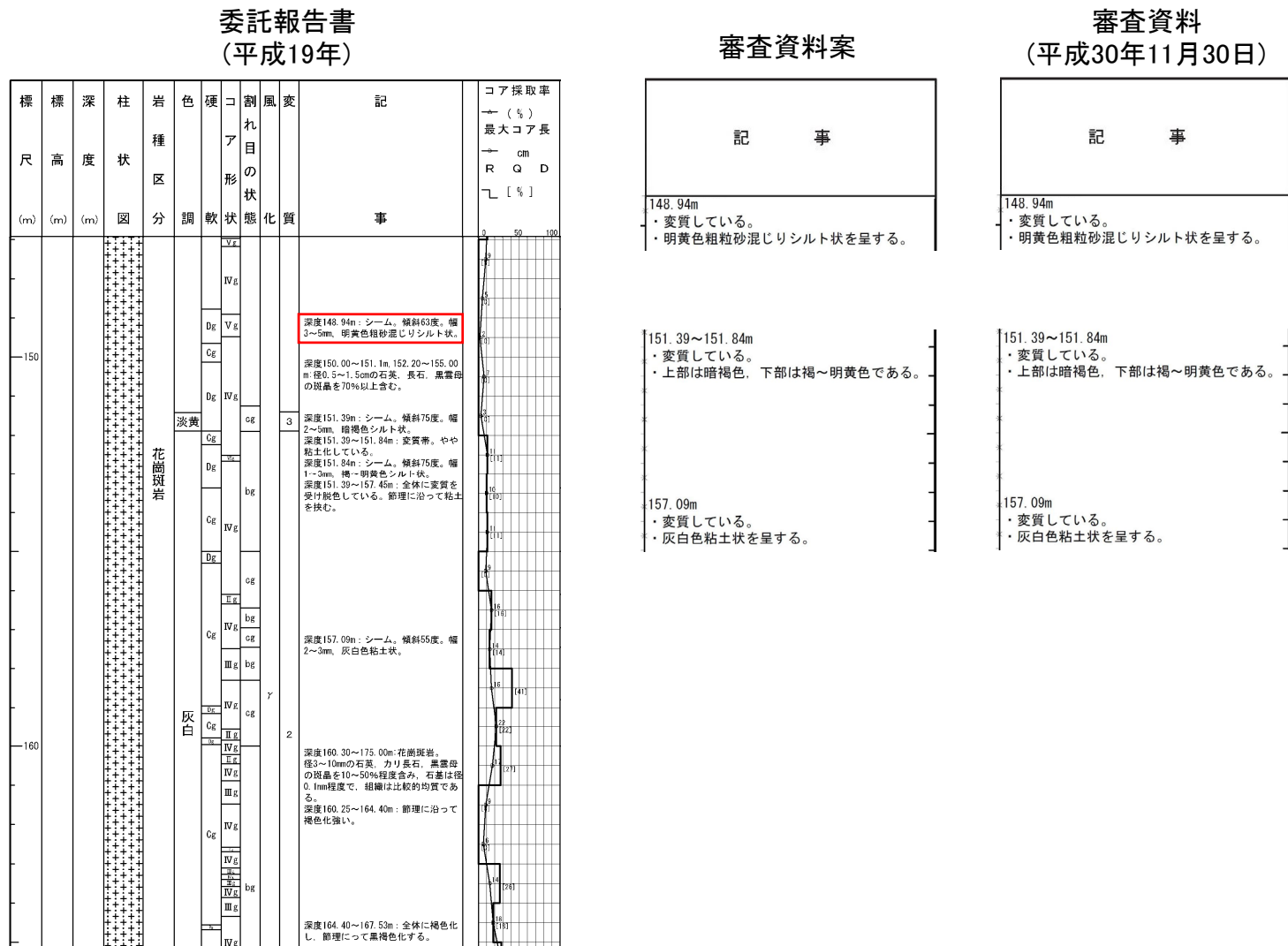


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.6孔 深度148.94m)

・シルト状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度148.94m: シーム。傾斜63度。幅3~5mm, 明黄色粗粒混じりシルト状。	148.94m ・変質している。 ・明黄色粗粒砂混じりシルト状を呈する。	148.94m ・変質している。 ・明黄色粗粒砂混じりシルト状を呈する。

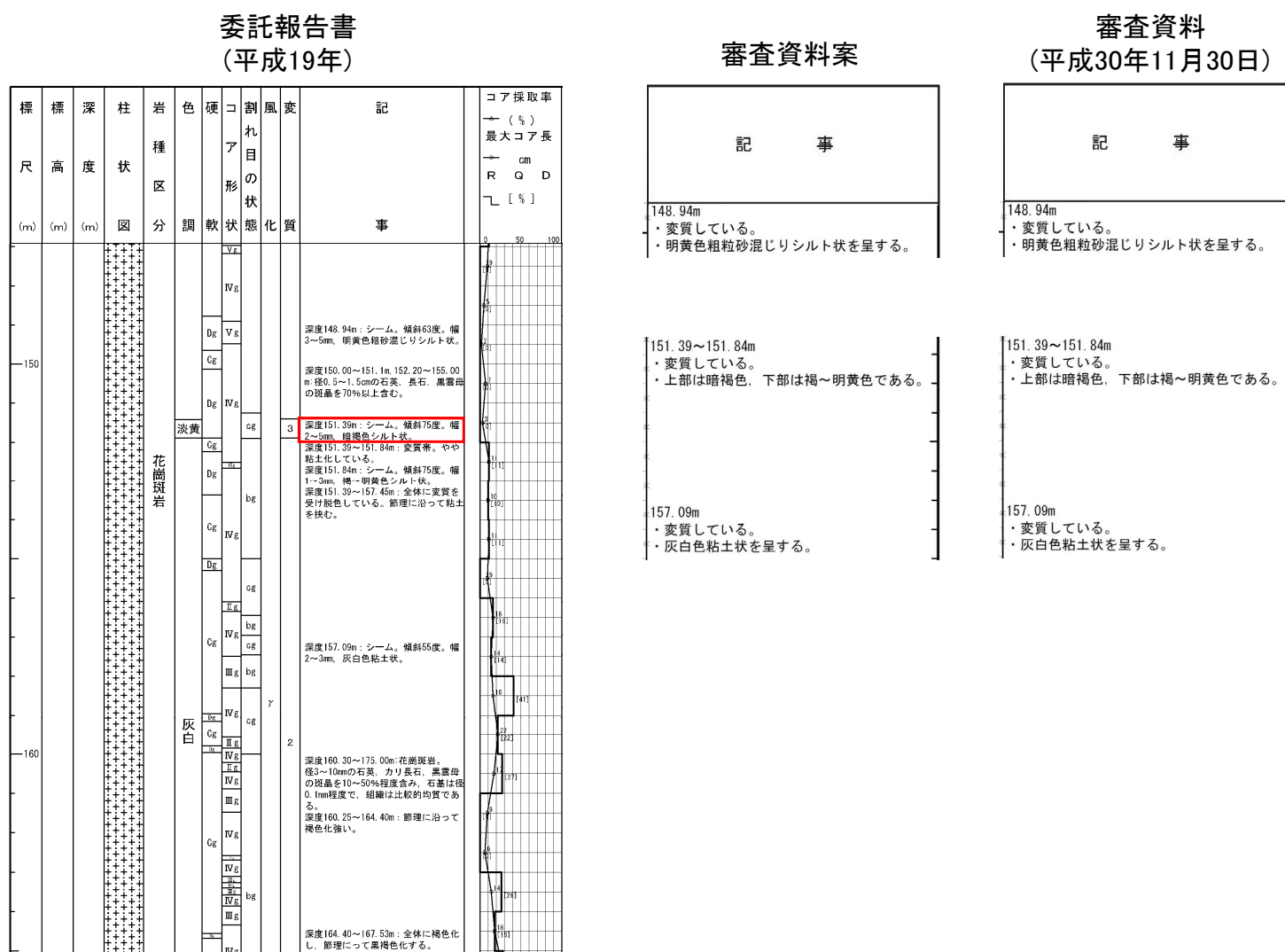


凡例
← : シーム

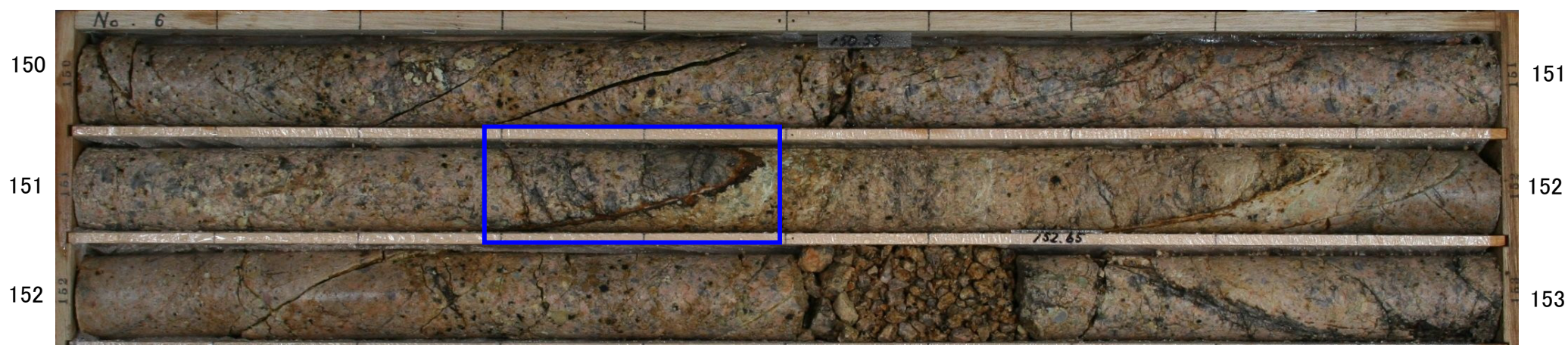
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.6孔 深度151.39m)

・シルト状を呈するがその分布は湾曲し直線性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度151.39m: シーム。傾斜75度。幅2~5mm。暗褐色シルト状。 深度151.39~151.84m: 変質帯。やや粘土化している。 深度151.84m: シーム。傾斜75度。幅1~3mm。褐~明黄色シルト状。	151.39~151.84m ・変質している。 ・上部は暗褐色、下部は褐~明黄色である。	151.39~151.84m ・変質している。 ・上部は暗褐色、下部は褐~明黄色である。

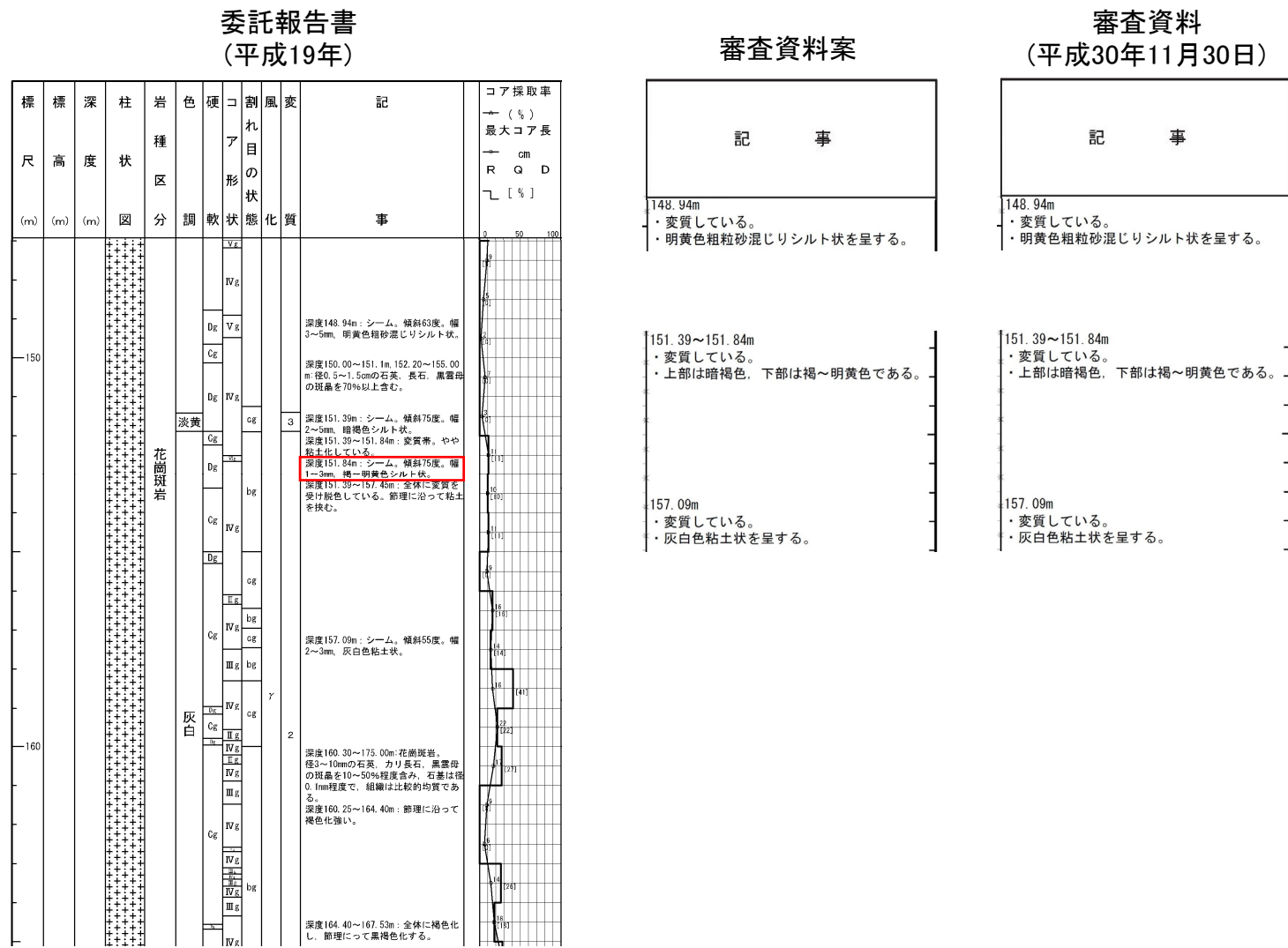


凡例
 ← シーム

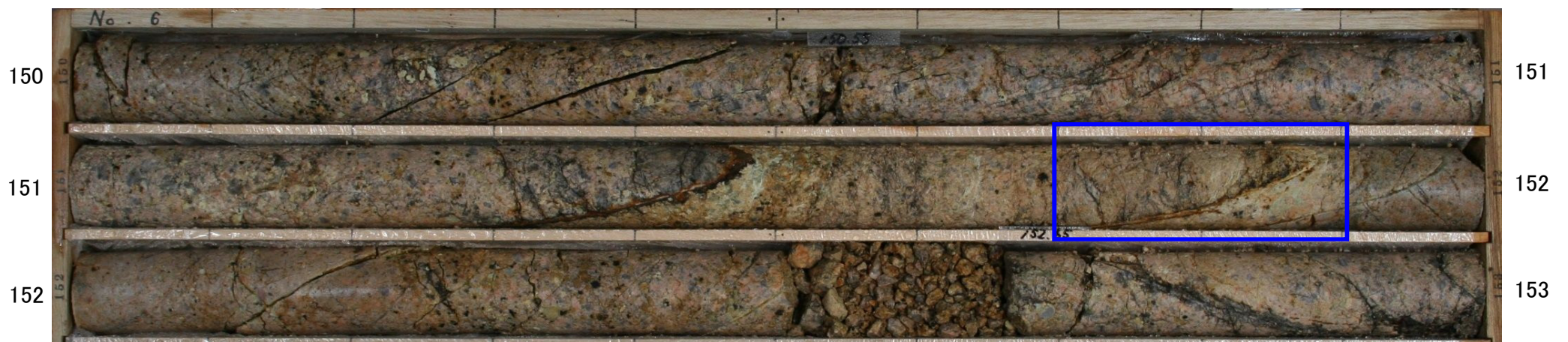
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.6孔 深度151.84m)

・シルト状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度151.39m: シーム。傾斜75度。幅2~5mm、暗褐色シルト状。 深度151.39~151.84m: 変質帯。やや粘土化している。 深度151.84m: シーム。傾斜75度。幅1~3mm、褐~明黄色シルト状。	151.39~151.84m ・変質している。 ・上部は暗褐色、下部は褐~明黄色である。	151.39~151.84m ・変質している。 ・上部は暗褐色、下部は褐~明黄色である。



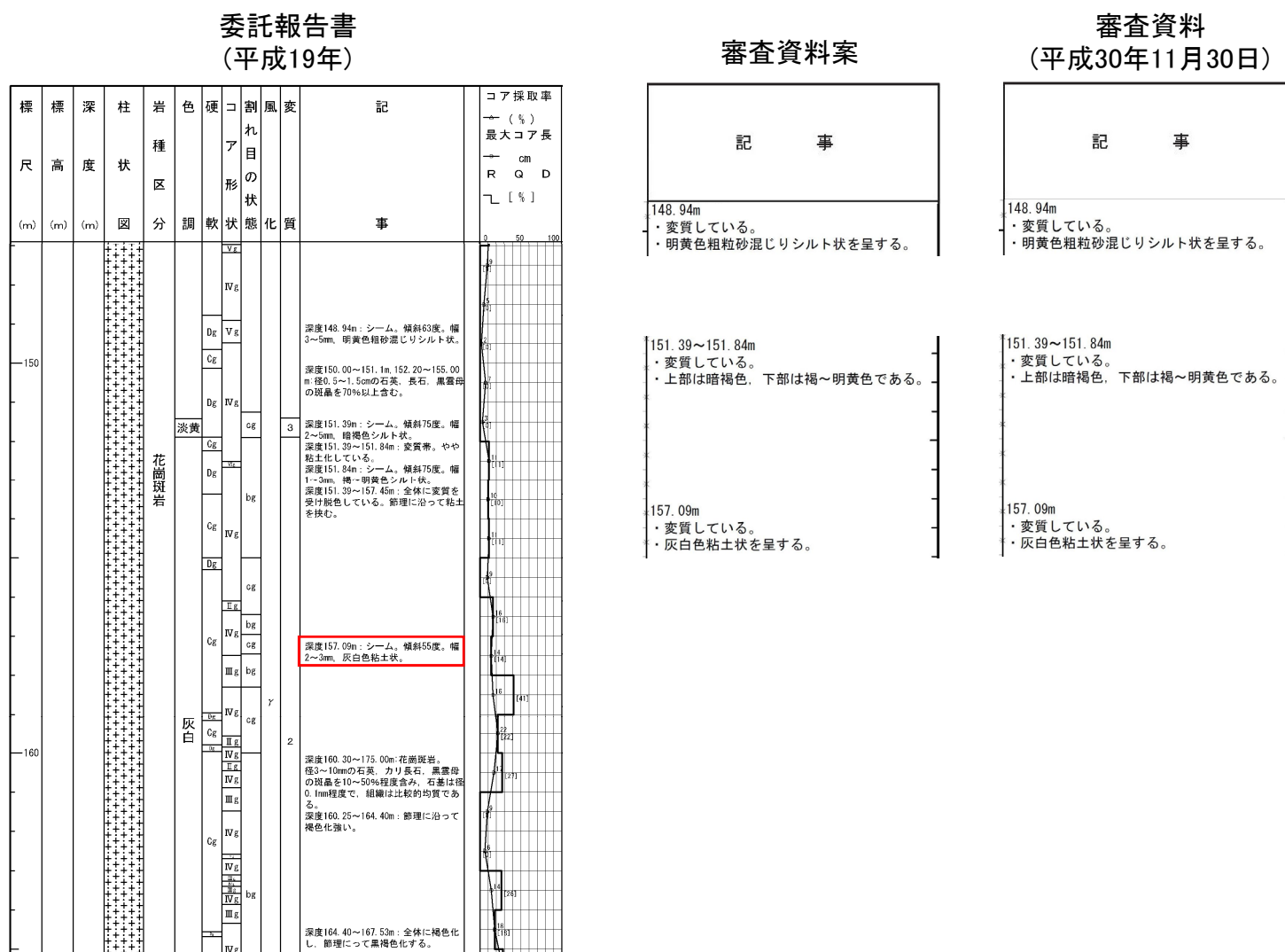
凡 例

← : シーム

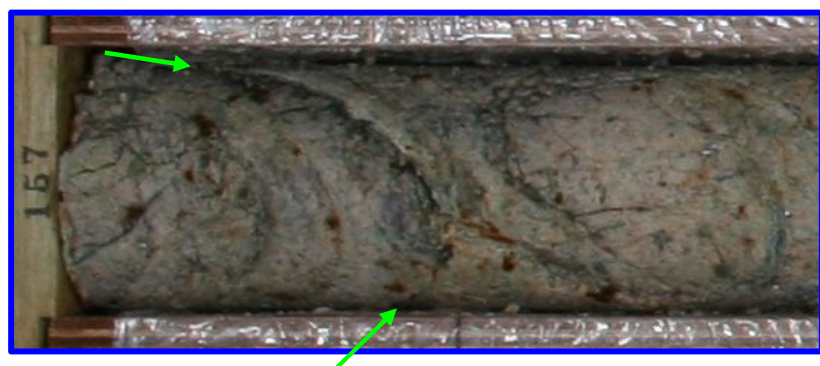
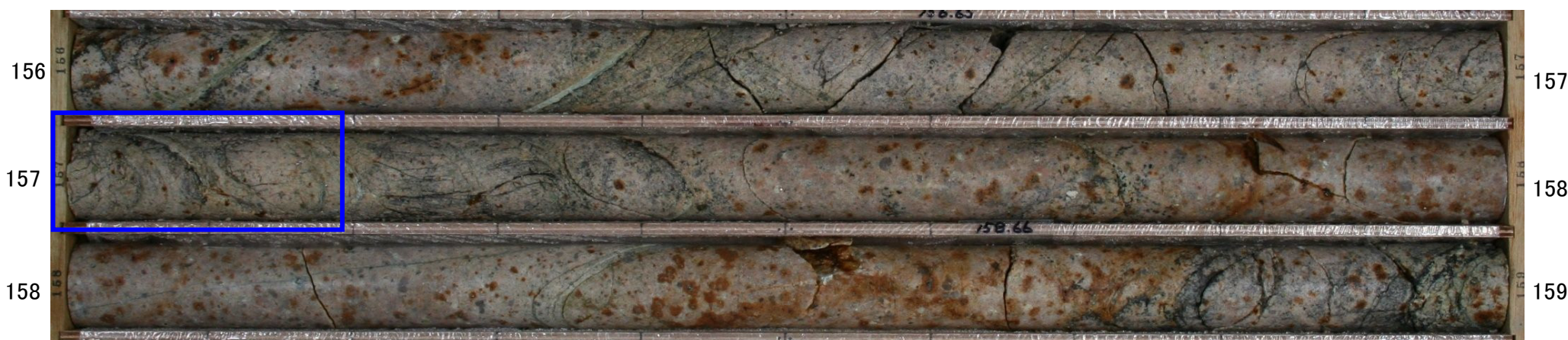
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.6孔 深度157.09m)

・粘土状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度157.09m: シーム。傾斜55度。幅2~3mm。灰白色粘土状。	157.09m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。	157.09m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。



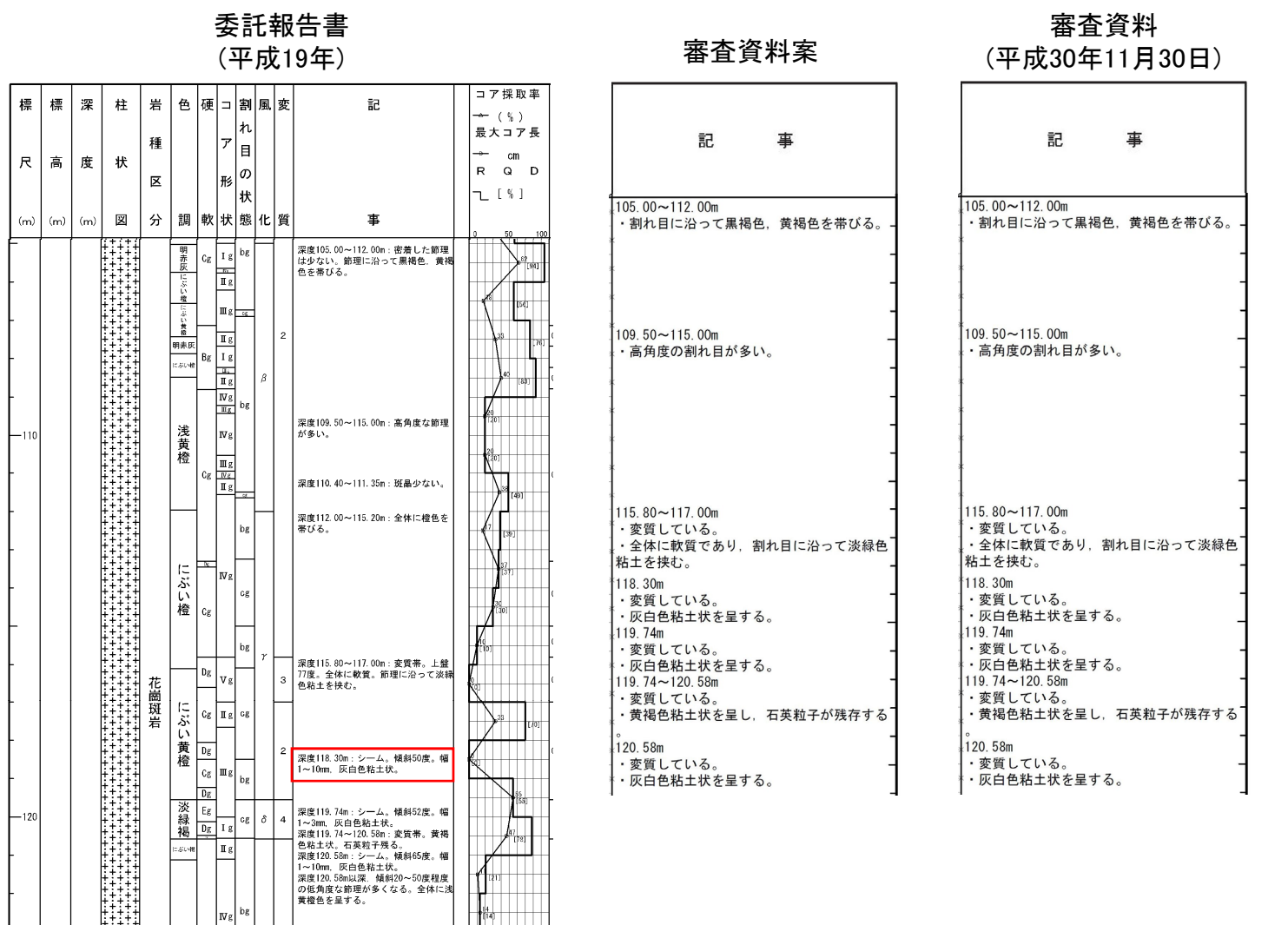
凡例

← : シーム

0 ————— 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.7孔 深度118.30m)

・粘土状を呈するがその分布は膨縮し連続性・直線性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度118.30m: シーム。傾斜50度。幅1~10mm。灰白色粘土状。	118.30m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。	118.30m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。

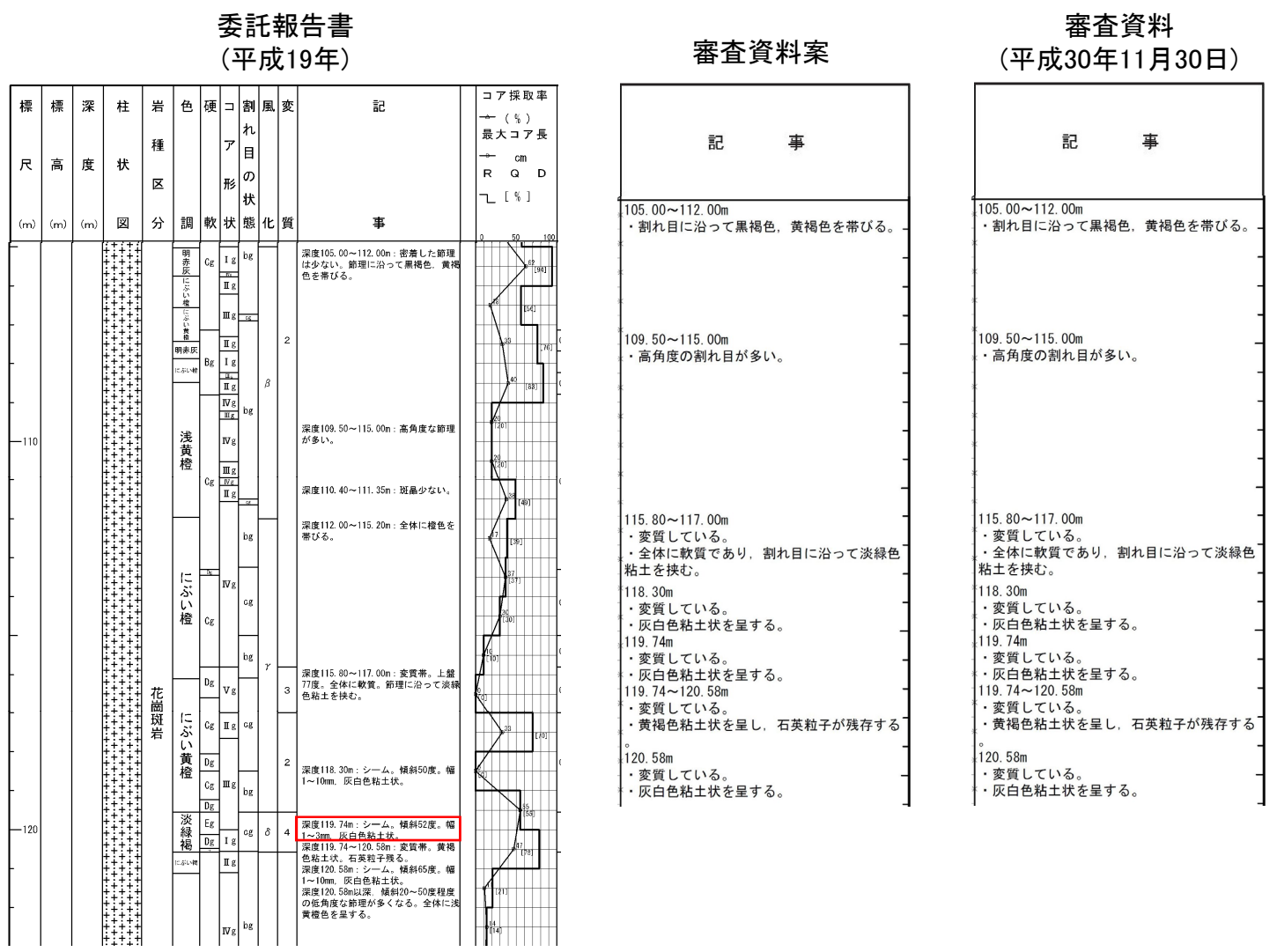


凡例
← : シーム

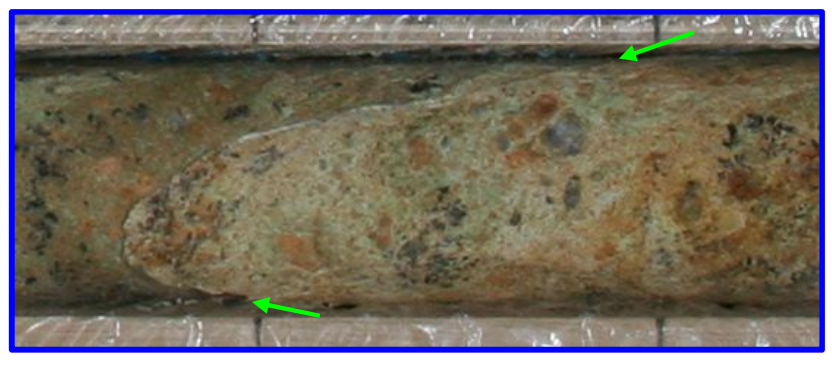
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.7孔 深度119.74m)

・粘土状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度119.74m: シーム。傾斜52度。幅1~3mm。灰白色粘土状。	119.74m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。	119.74m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。

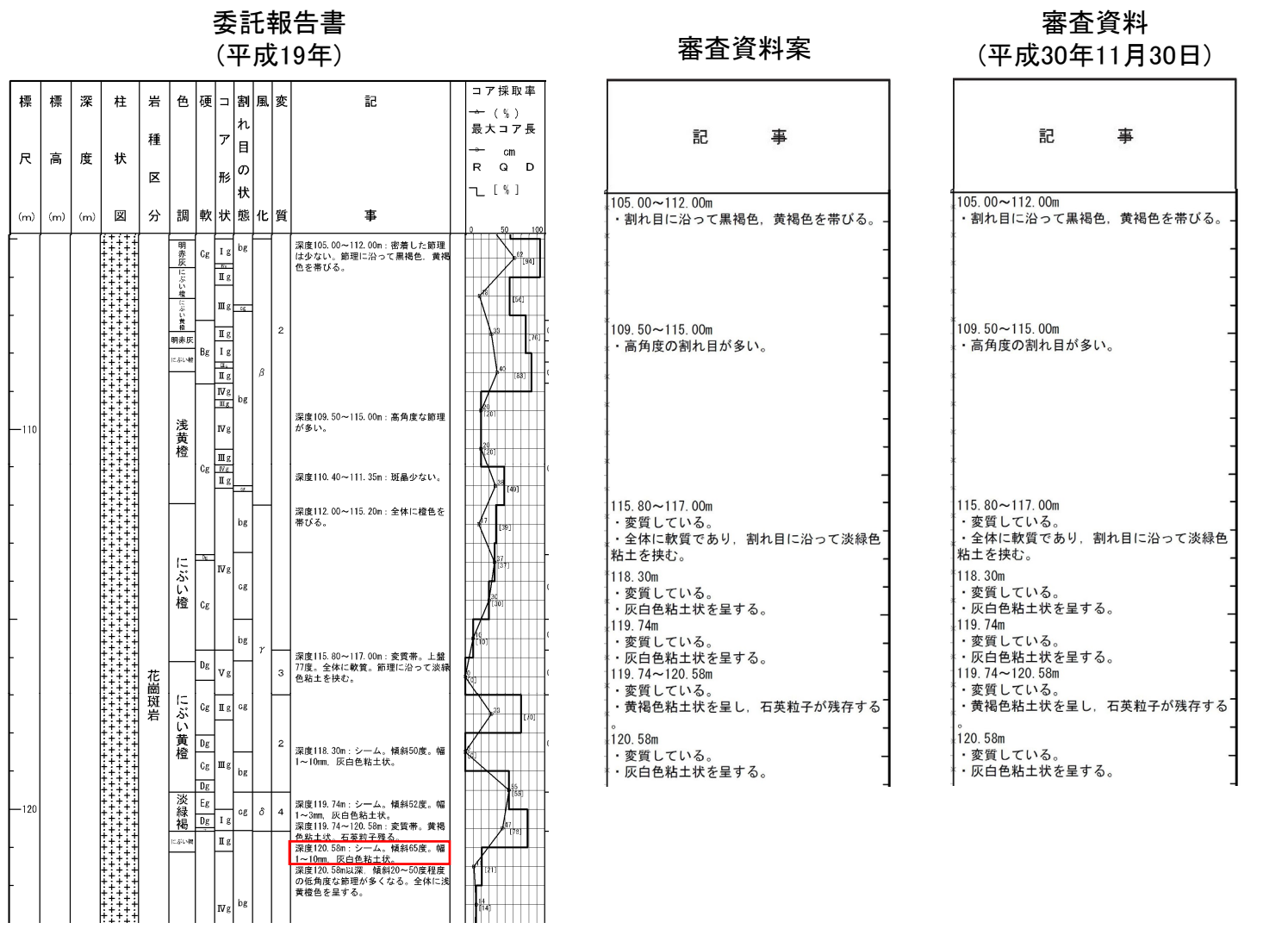


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.7孔 深度120.58m)

・粘土状部は割れ目に沿って網目状に分布しており、熱水変質作用によるものと考えられる120.49m付近の粘土状部と同様の分布形状を示すことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度120.58m: シーム。傾斜65度。幅1~10mm。灰白色粘土状。	120.58m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。	120.58m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。

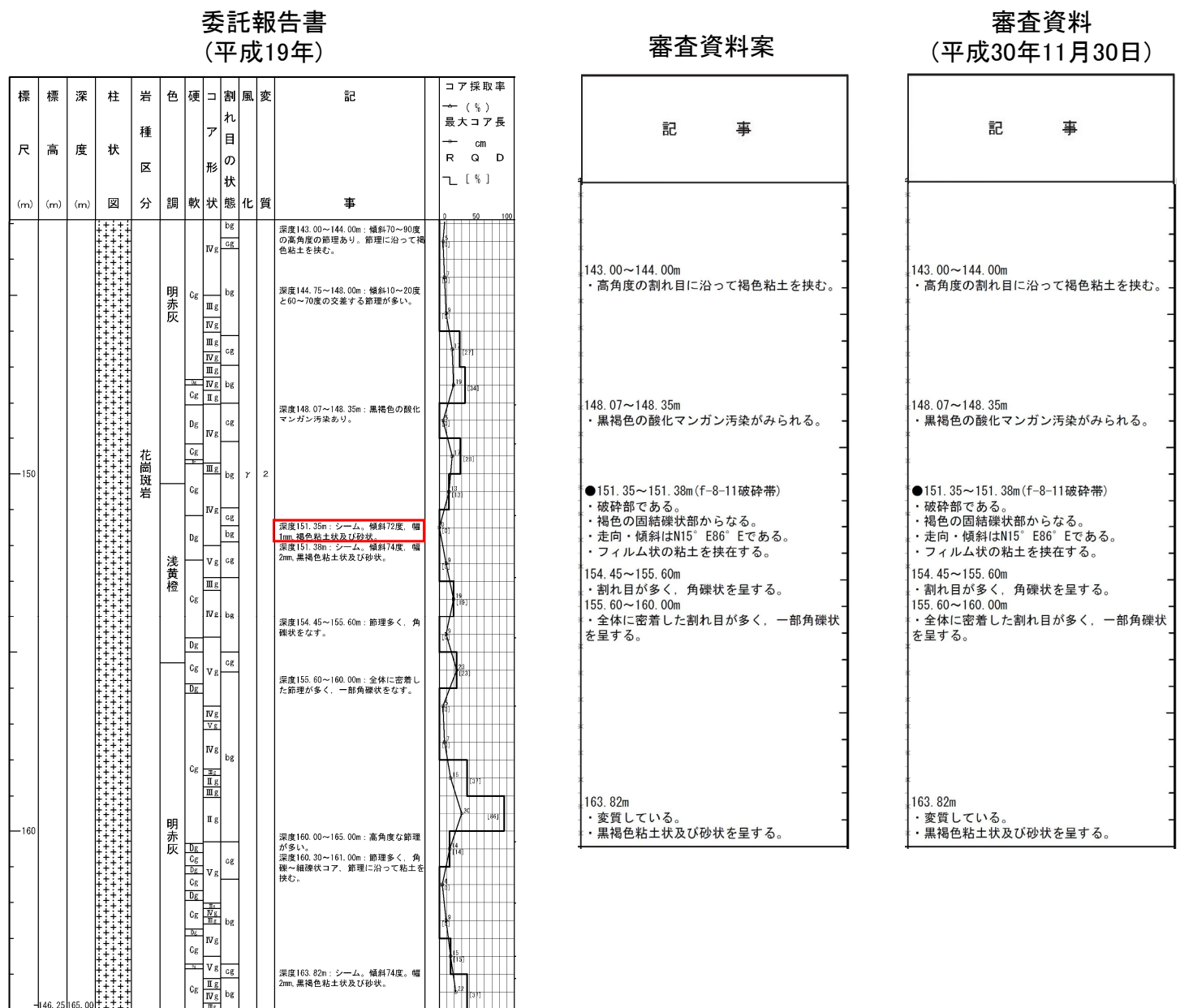


凡例
← : シーム

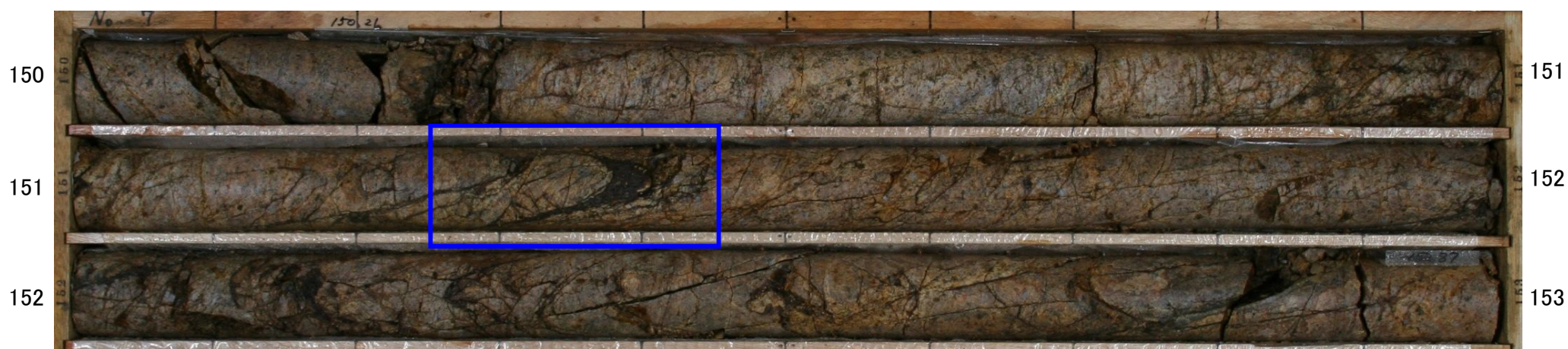
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.7孔 深度151.35m)

・2本の同系統の割れ目に挟まれた区間に礫混じり砂状部が分布していることから、破碎部として認定した。
直線的・連続的な粘土状部の分布が認められないことから、カタクレーサイトであると判断した(平成20年破碎部再観察結果)。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度151.35m: シーム。傾斜72度。幅1mm褐色粘土状及び砂状。 深度151.38m: シーム。傾斜74度。幅2mm黒褐色粘土状及び砂状。	●151.35～151.38m (f-8-11破碎帯) ・破碎部である。 ・褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN15° E86° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。	●151.35～151.38m (f-8-11破碎帯) ・破碎部である。 ・褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN15° E86° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。

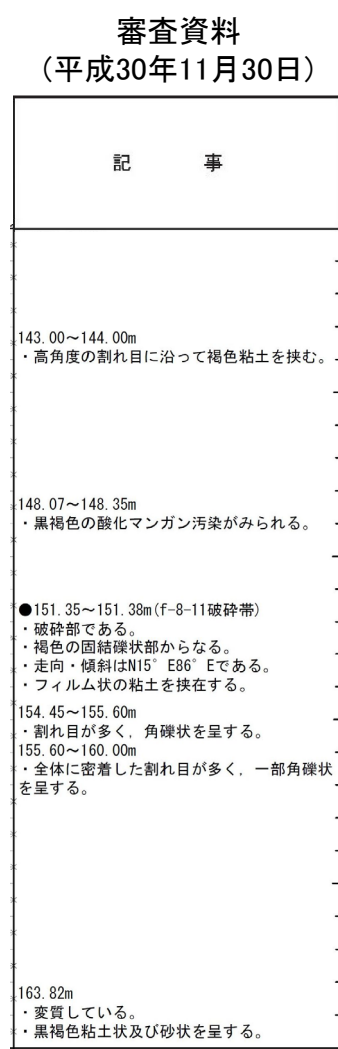
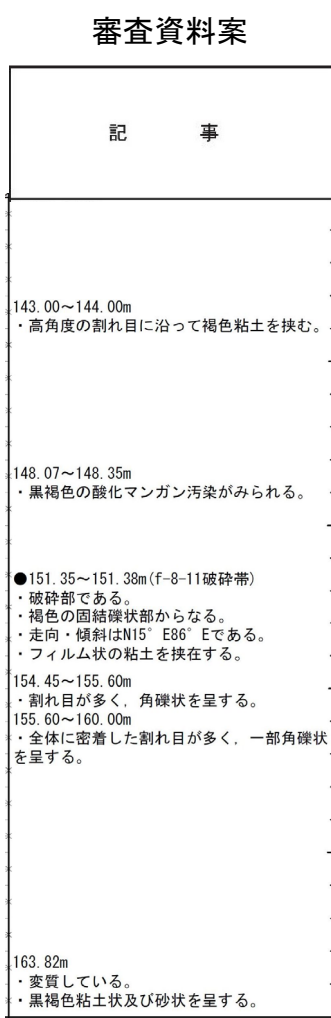
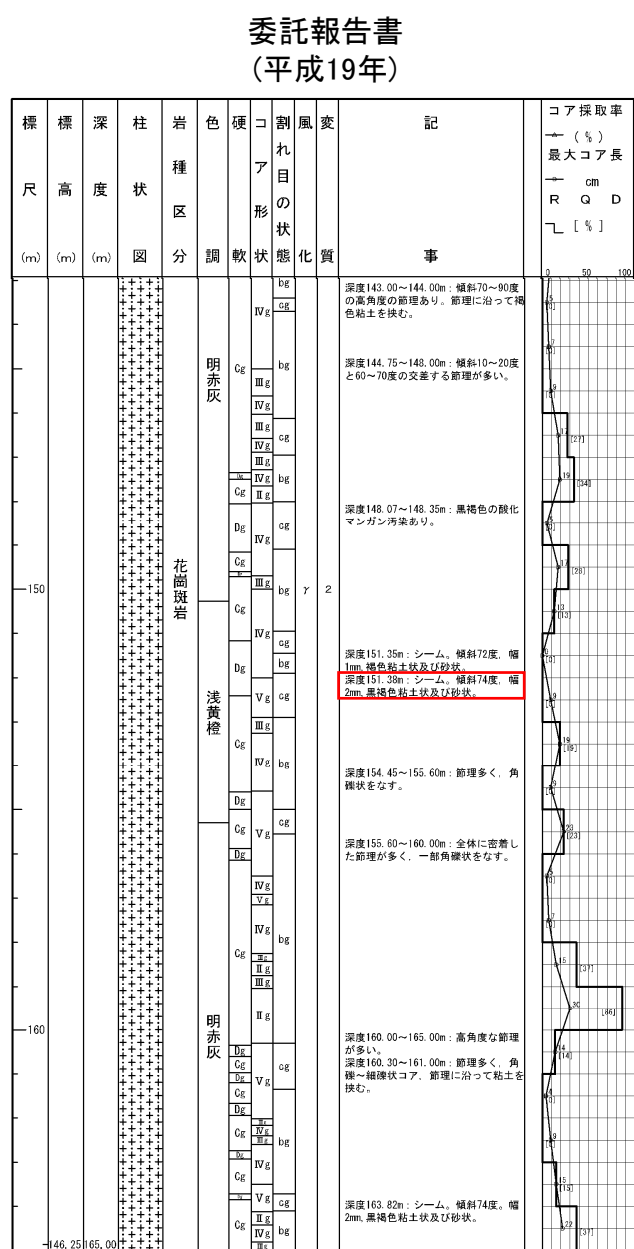


凡例
← : シーム

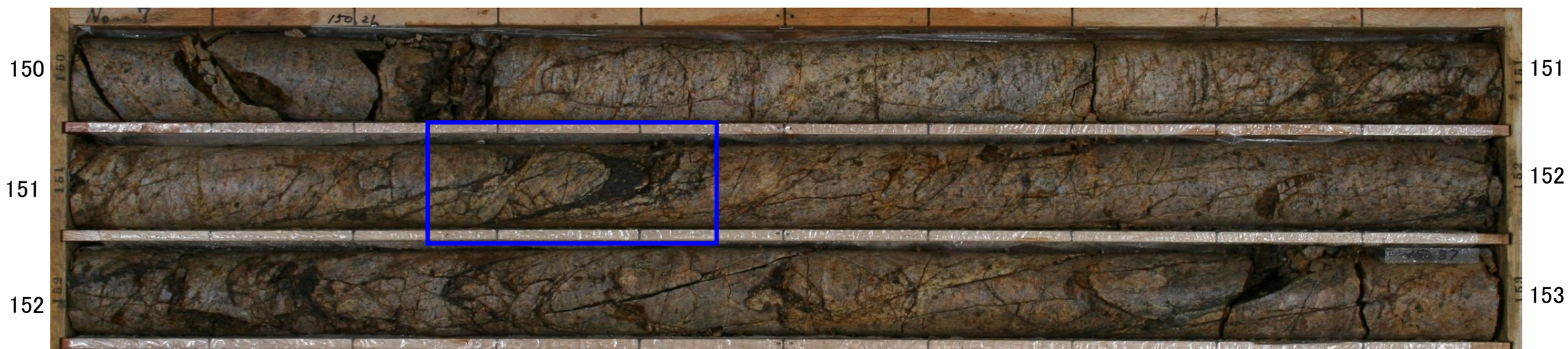
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.7孔 深度151.38m)

・2本の同系統の割れ目に挟まれた区間に礫混じり砂状部が分布していることから、破碎部として認定した。
直線的・連続的な粘土状部の分布が認められないことから、カタクレーサイトであると判断した(平成20年破碎部再観察結果)。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度151.35m: シーム、傾斜72度、幅1mm、褐色粘土状及び砂状。 深度151.38m: シーム、傾斜74度、幅2mm、黒褐色粘土状及び砂状。	●151.35~151.38m (f-8-11破碎帯) ・破碎部である。 ・褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN15° E86° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。	●151.35~151.38m (f-8-11破碎帯) ・破碎部である。 ・褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN15° E86° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。

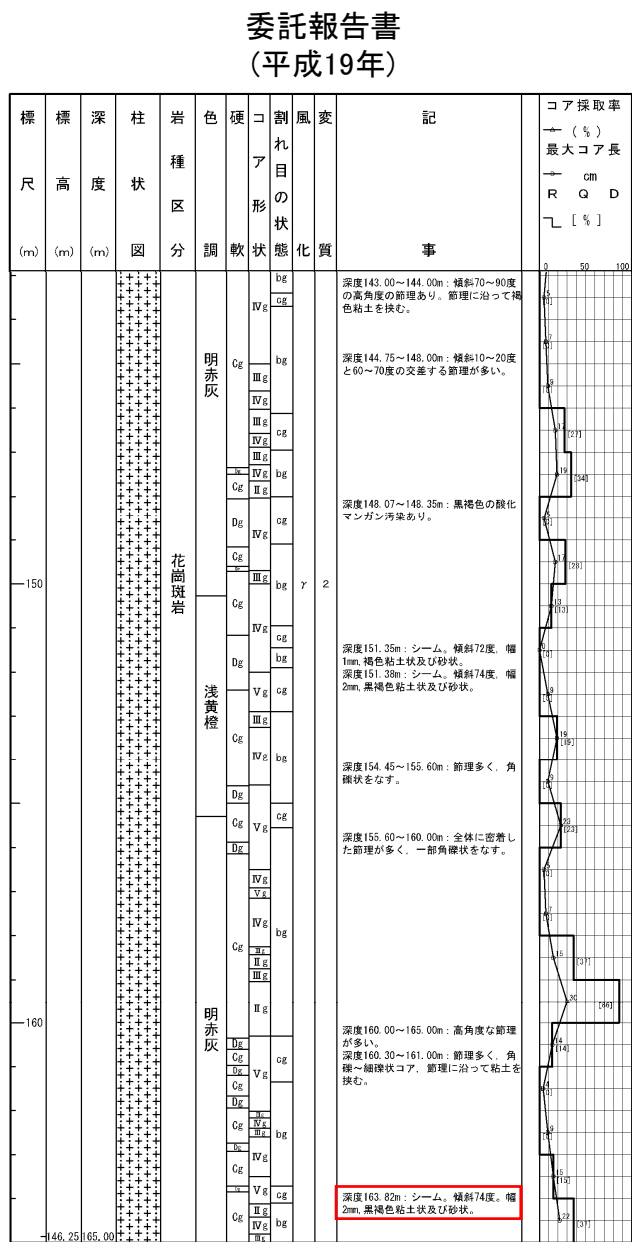


凡 例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.7孔 深度163.82m)

・粘土状及び砂状を呈するが、その分布は局所的であり連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



記 事
143.00~144.00m ・高角度の割れ目に沿って褐色粘土を挟む。
148.07~148.35m ・黒褐色の酸化マンガン汚染がみられる。
●151.35~151.38m (f-8-11破碎帯) ・破碎部である。 ・褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN15° E86° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。
154.45~155.60m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
155.60~160.00m ・全体に密着した割れ目が多く、一部角礫状を呈する。
163.82m ・変質している。 ・黒褐色粘土状及び砂状を呈する。

記 事
143.00~144.00m ・高角度の割れ目に沿って褐色粘土を挟む。
148.07~148.35m ・黒褐色の酸化マンガン汚染がみられる。
●151.35~151.38m (f-8-11破碎帯) ・破碎部である。 ・褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN15° E86° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。
154.45~155.60m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。
155.60~160.00m ・全体に密着した割れ目が多く、一部角礫状を呈する。
163.82m ・変質している。 ・黒褐色粘土状及び砂状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度163.82m: シーム。傾斜74度。幅2mm。黒褐色粘土状及び砂状。	163.82m ・変質している。 ・黒褐色粘土状及び砂状を呈する。	163.82m ・変質している。 ・黒褐色粘土状及び砂状を呈する。

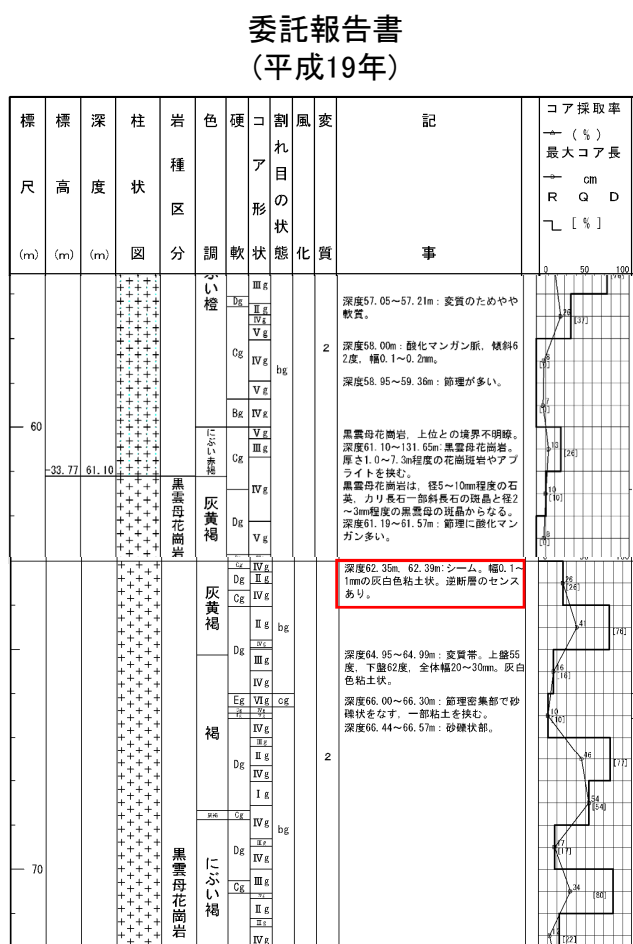


凡 例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度62.35m, 62.39m)

・粘土状を呈するが、その分布は局所的であり連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



審査資料案

記 事

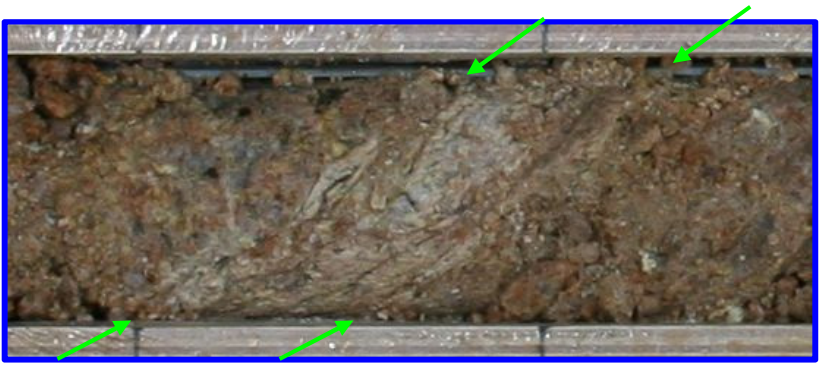
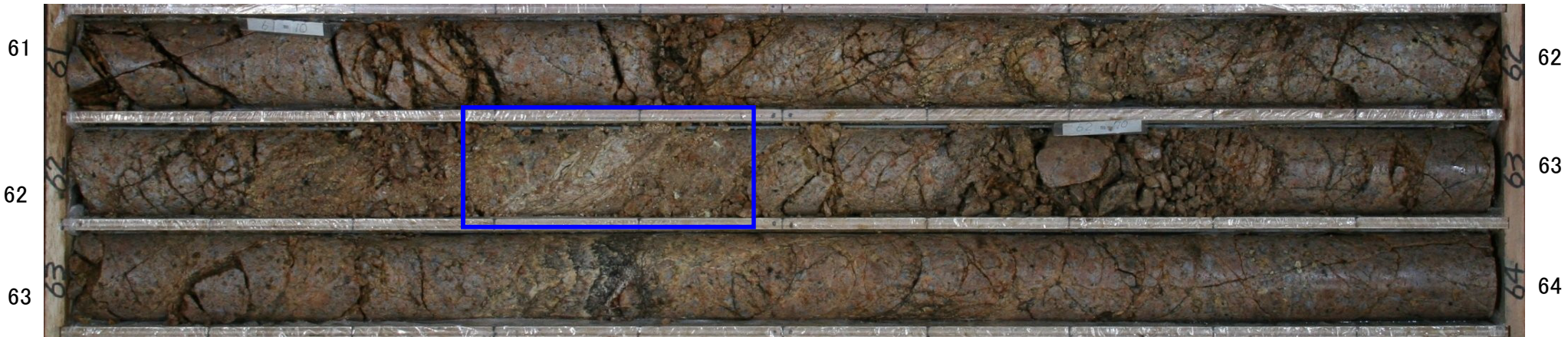
61.10~131.65m
 ・黒雲母片麻岩である。
 ・幅1.0~7.3m程度の花崗斑岩やアブライトを挟む。
 61.19~61.57m
 ・割れ目に酸化マンガン多い。
 62.35m, 62.39m
 ・変質している。
 ・幅0.1~1mmの灰白色粘土状を呈する。
 64.95~64.99m
 ・変質している。
 ・灰白色粘土状を呈する。
 66.00~66.30m, 66.44~66.57m
 ・割れ目密集部で砂礫状を呈する。
 ・一部、粘土を挟む。

**審査資料
(平成30年11月30日)**

記 事

61.10~131.65m
 ・黒雲母片麻岩である。
 ・幅1.0~7.3m程度の花崗斑岩やアブライトを挟む。
 61.19~61.57m
 ・割れ目に酸化マンガン多い。
 62.35m, 62.39m
 ・変質している。
 ・幅0.1~1mmの灰白色粘土状を呈する。
 64.95~64.99m
 ・変質している。
 ・灰白色粘土状を呈する。
 66.00~66.30m, 66.44~66.57m
 ・割れ目密集部で砂礫状を呈する。
 ・一部、粘土を挟む。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度62.35m, 62.39m: シーム。幅0.1~1mmの灰白色粘土状。逆断層のセンスあり。	62.35m, 62.39m ・変質している。 ・幅0.1~1mmの灰白色粘土状を呈する。	62.35m, 62.39m ・変質している。 ・幅0.1~1mmの灰白色粘土状を呈する。



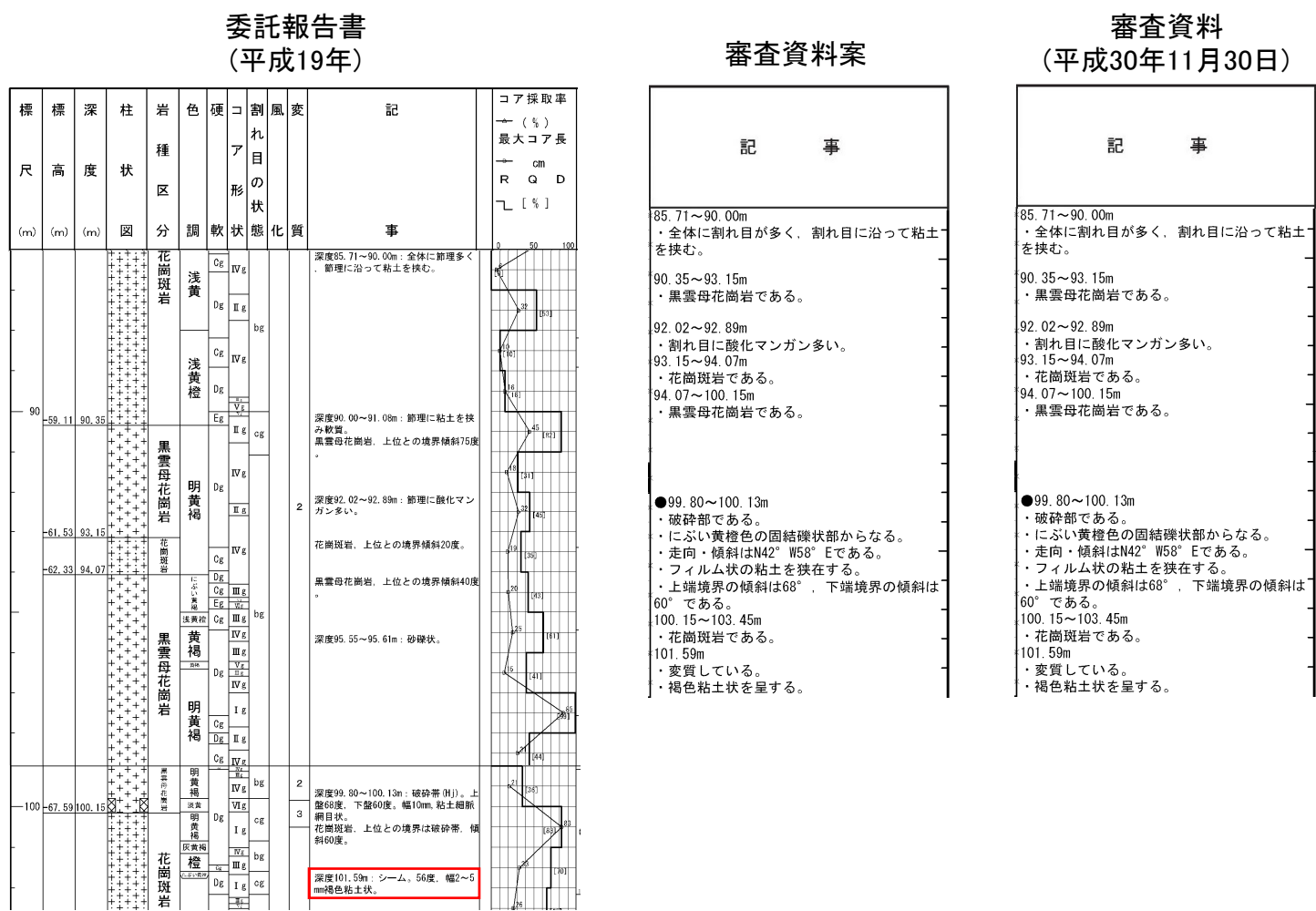
凡 例

← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度101.59m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度101.59m: シーム。56度。幅2~5mm褐色粘土状。	101.59m ・変質している。 ・褐色粘土状を呈する。	101.59m ・変質している。 ・褐色粘土状を呈する。

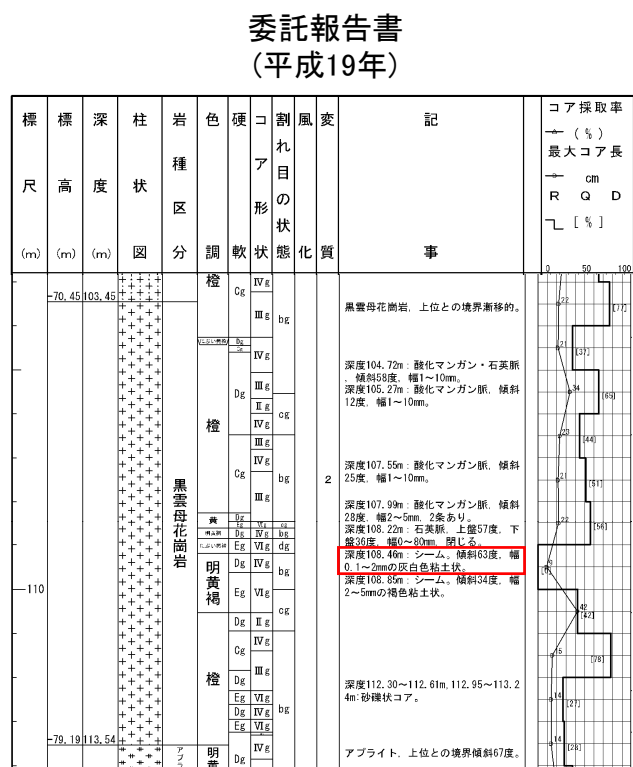


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.8孔 深度108.46m)

・粘土状を呈するが、その分布は局所的であり連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



審査資料案

記事
103.45~113.54m ・黒雲母花崗岩である。
112.30~112.61m, 112.95~113.24m ・砂礫状を呈する。
113.54~114.47m ・アブライトである。

審査資料 (平成30年11月30日)

記事
103.45~113.54m ・黒雲母花崗岩である。
112.30~112.61m, 112.95~113.24m ・砂礫状を呈する。
113.54~114.47m ・アブライトである。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度108.46m: シーム。傾斜63度。幅0.1~2mmの灰白色粘土状。	記載なし	記載なし

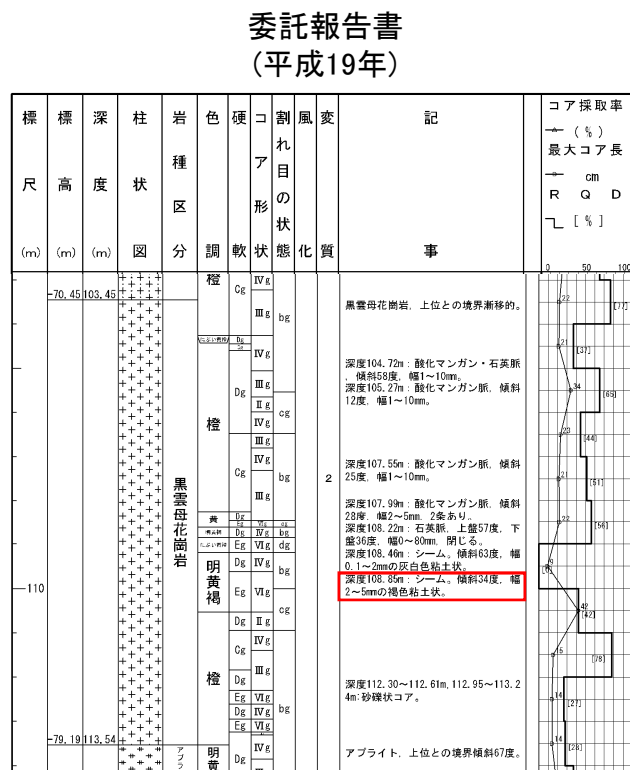


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.8孔 深度108.85m)

・粘土状を呈するがその分布は湾曲し直線性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



審査資料案

記事
103.45~113.54m ・黒雲母花崗岩である。
112.30~112.61m, 112.95~113.24m ・砂礫状を呈する。 113.54~114.47m ・アブライトである。

審査資料 (平成30年11月30日)

記事
103.45~113.54m ・黒雲母花崗岩である。
112.30~112.61m, 112.95~113.24m ・砂礫状を呈する。 113.54~114.47m ・アブライトである。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度108.85m: シーム。傾斜34度。幅2~5mmの褐色粘土状。	記載なし	記載なし



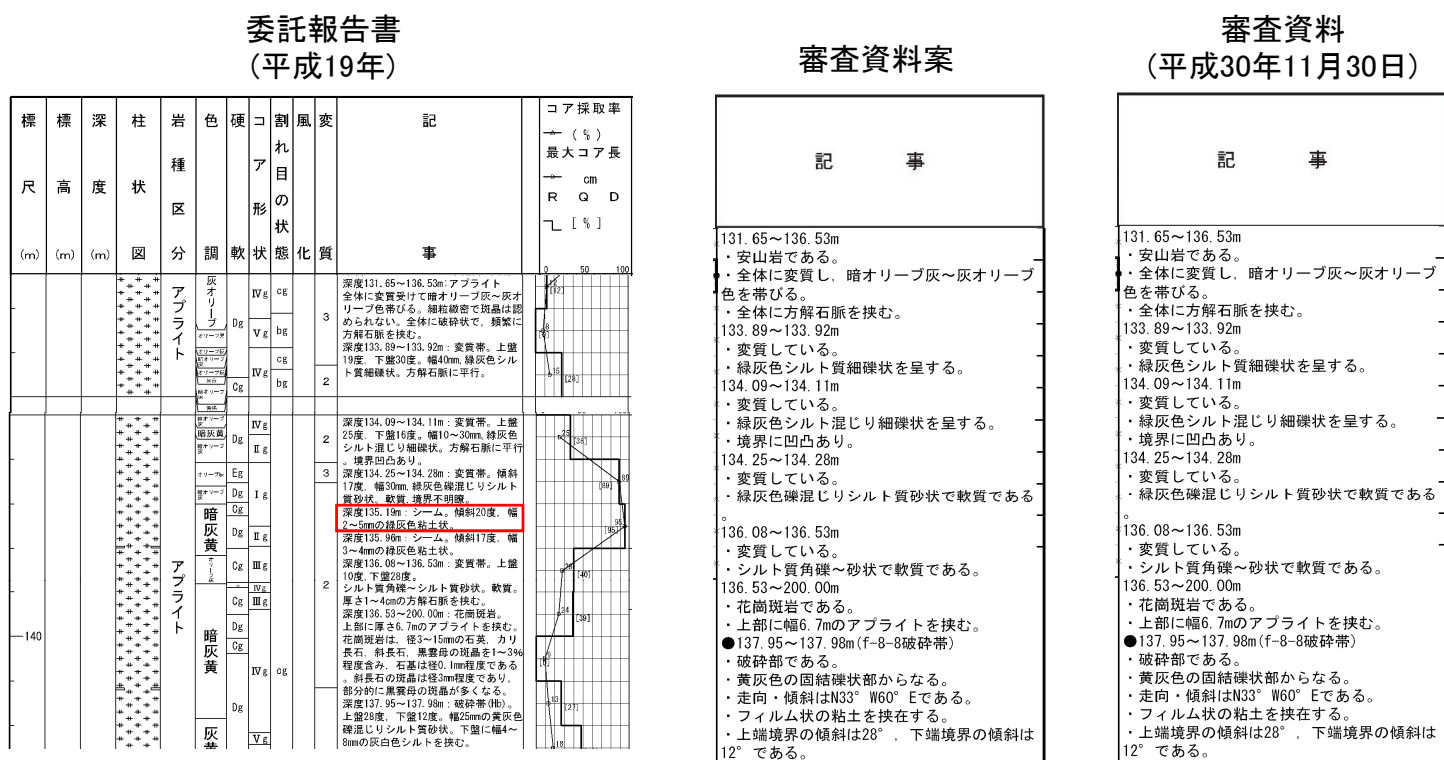
凡例

← : シーム

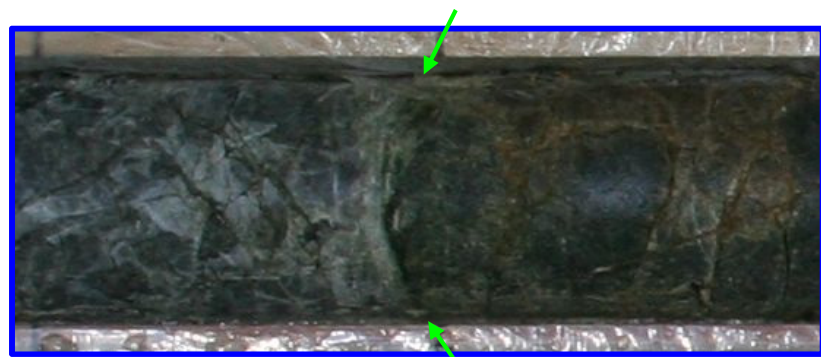
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度135.19m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度135.19m:シーム。傾斜20度。幅2~5mmの緑灰色粘土状。	記載なし	記載なし



凡例
← :シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度135.96m)

・粘土状を呈するがその分布は膨縮し直線性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。

委託報告書 (平成19年)

標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	割れ目	風化	変質	記	コア採取率
(m)	(m)	(m)	図	区分		状態	形状	状態	質	事	(%) 最大コア長 cm R Q D L [%]
				アブライト	灰オリーブ	IVg	CE			深度131.65~136.53m アブライト全体に変質して暗オリーブ灰~灰オリーブ色帯びる。凝結部で珪晶は認められない。全体に磁砕状で、頻りに方解石脈を挟む。	50
				アブライト	暗灰黄	IVg	CE			深度133.89~133.92m: 変質等。上盤19度 下盤30度。幅40mm。緑灰色シルト質礫状。方解石脈に平行。	100
				アブライト	暗灰黄	IVg	CE			深度134.09~134.11m: 変質等。上盤25度 下盤16度。幅10~20mm。緑灰色シルト混じり細礫状。方解石脈に平行。境界凹凸あり。	100
				アブライト	暗灰黄	IVg	CE			深度134.25~134.28m: 変質等。傾斜17度。幅50mm。緑灰色凝結シリルト質砂状。軟質。境界不明瞭。	100
				アブライト	暗灰黄	IVg	CE			深度135.19m: シーム。傾斜20度。幅3~4mmの緑灰色粘土状。	100
				アブライト	暗灰黄	IVg	CE			深度135.96m: シーム。傾斜17度。幅3~4mmの緑灰色粘土状。	100
				アブライト	暗灰黄	IVg	CE			深度136.08~136.53m: 変質等。上盤19度 下盤28度。シルト質角礫~シルト質砂状。軟質。厚さ1~4cmの方解石脈を挟む。	100
				アブライト	暗灰黄	IVg	CE			深度136.53~200.00m: 花崗斑岩。上部に厚さ6.7mのアブライトを挟む。花崗斑岩は、径3~15mmの石英、カリ長石、斜長石、黒雲母の珪晶を1~3%程度含み、石英は径0.1mm程度である。斜長石の珪晶は径3mm程度であり、部分的に黄変の珪晶が多くなる。	100
				アブライト	暗灰黄	IVg	CE			深度137.95~137.98m: 磁砕帯(磁)。上盤28度、下盤12度。幅25mmの黄灰色凝結シリルト質砂状。下盤に幅4~8mmの灰白色シルトを挟む。	100

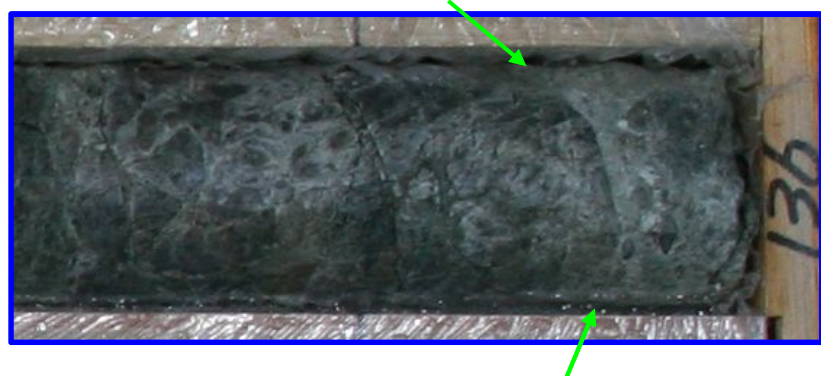
審査資料案

記事
131.65~136.53m ・安山岩である。 ・全体に変質し、暗オリーブ灰~灰オリーブ色を帯びる。 ・全体に方解石脈を挟む。
133.89~133.92m ・変質している。 ・緑灰色シルト質細礫状を呈する。
134.09~134.11m ・変質している。 ・緑灰色シルト混じり細礫状を呈する。 ・境界に凹凸あり。
134.25~134.28m ・変質している。 ・緑灰色凝結シリルト質砂状で軟質である。
136.08~136.53m ・変質している。 ・シルト質角礫~砂状で軟質である。
136.53~200.00m ・花崗斑岩である。 ・上部に幅6.7mのアブライトを挟む。 ●137.95~137.98m(f-8-8磁砕帯) ・破碎部である。 ・黄灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN33° W60° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟む。 ・上端境界の傾斜は28°、下端境界の傾斜は12°である。

審査資料 (平成30年11月30日)

記事
131.65~136.53m ・安山岩である。 ・全体に変質し、暗オリーブ灰~灰オリーブ色を帯びる。 ・全体に方解石脈を挟む。
133.89~133.92m ・変質している。 ・緑灰色シルト質細礫状を呈する。
134.09~134.11m ・変質している。 ・緑灰色シルト混じり細礫状を呈する。 ・境界に凹凸あり。
134.25~134.28m ・変質している。 ・緑灰色凝結シリルト質砂状で軟質である。
136.08~136.53m ・変質している。 ・シルト質角礫~砂状で軟質である。
136.53~200.00m ・花崗斑岩である。 ・上部に幅6.7mのアブライトを挟む。 ●137.95~137.98m(f-8-8磁砕帯) ・破碎部である。 ・黄灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN33° W60° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟む。 ・上端境界の傾斜は28°、下端境界の傾斜は12°である。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度135.96m: シーム。傾斜17度。幅3~4mmの緑灰色粘土状。	記載なし	記載なし

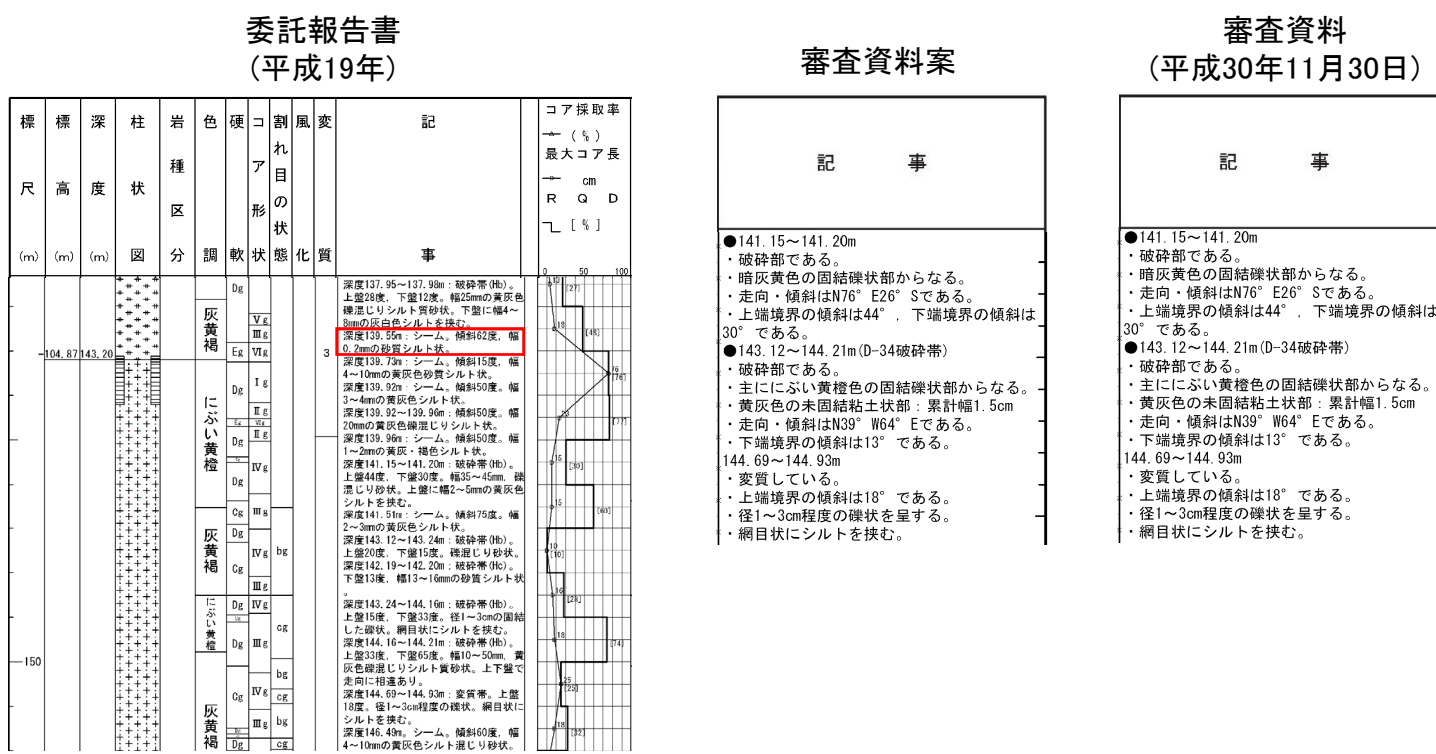


凡例
← : シーム

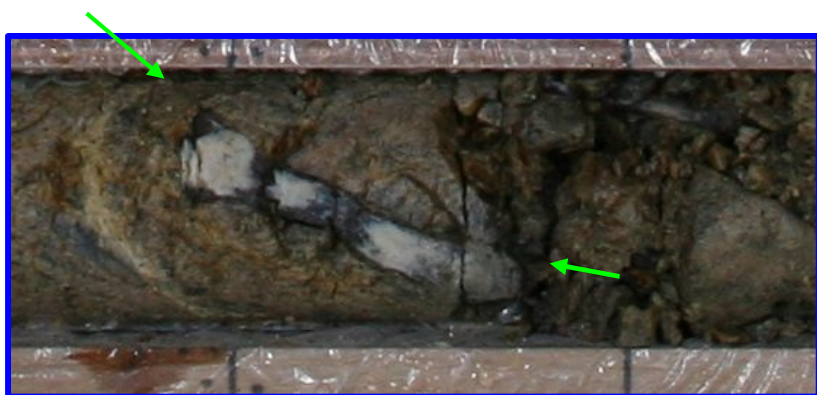
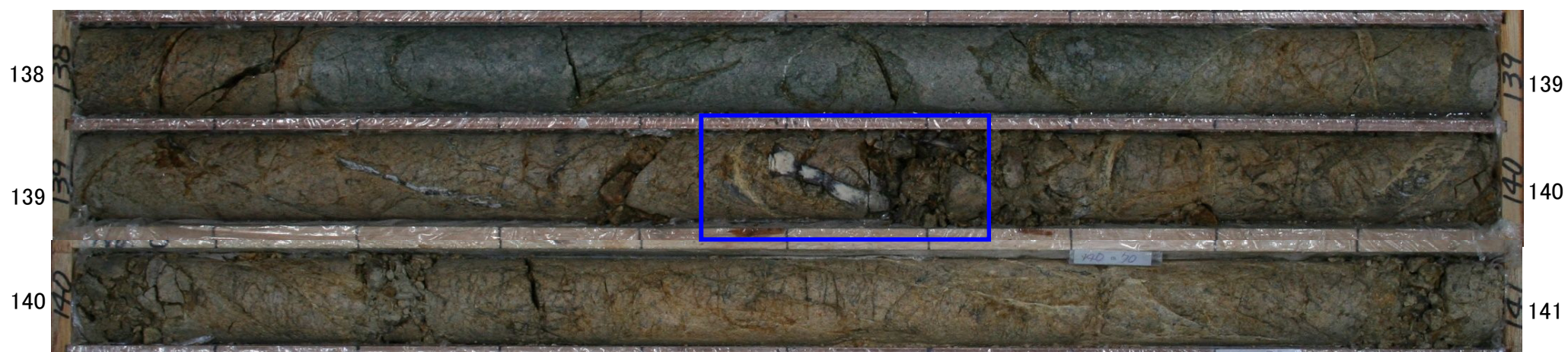
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.8孔 深度139.55m)

・シルト状を呈するが、その分布は局所的であり連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度139.55m: シーム。傾斜62度。幅0.2mmの砂質シルト状。	記載なし	記載なし

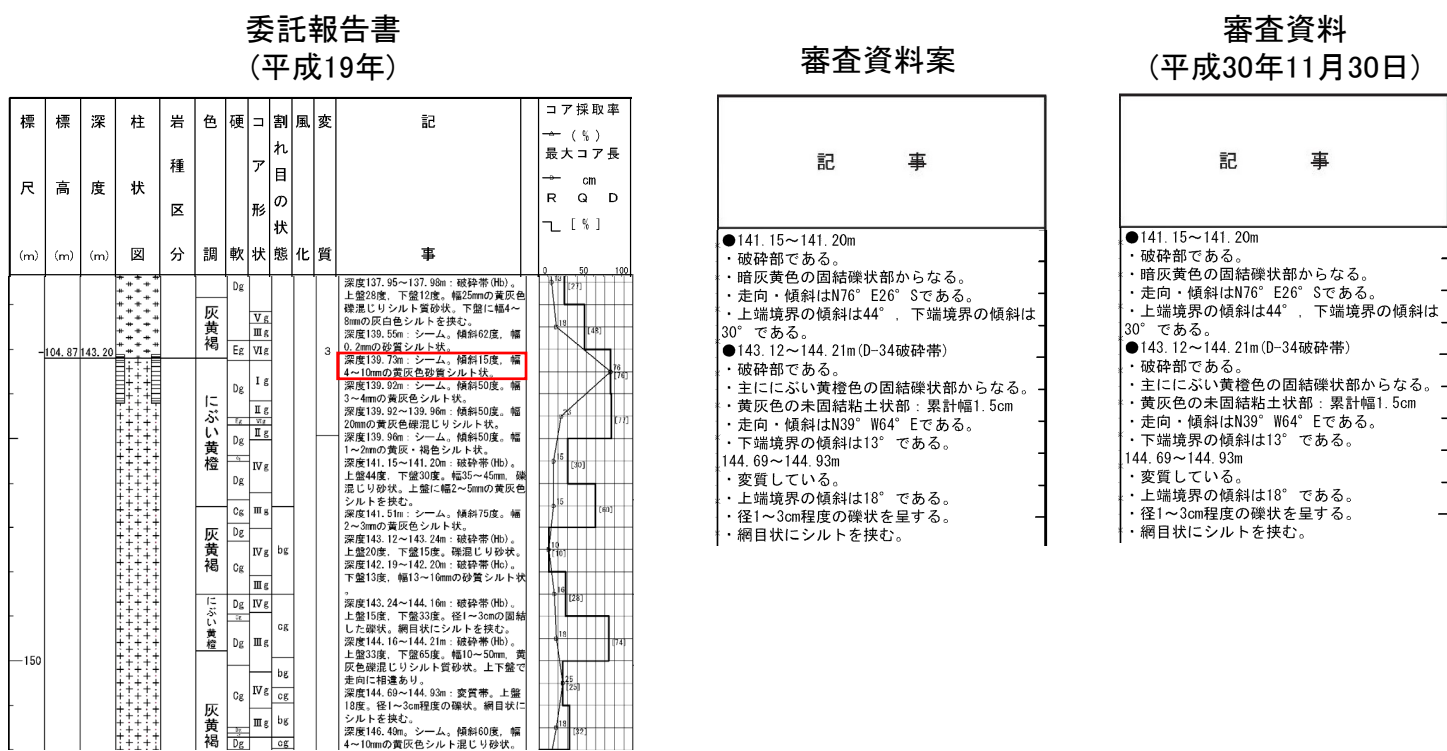


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度139.73m)

・シルト状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



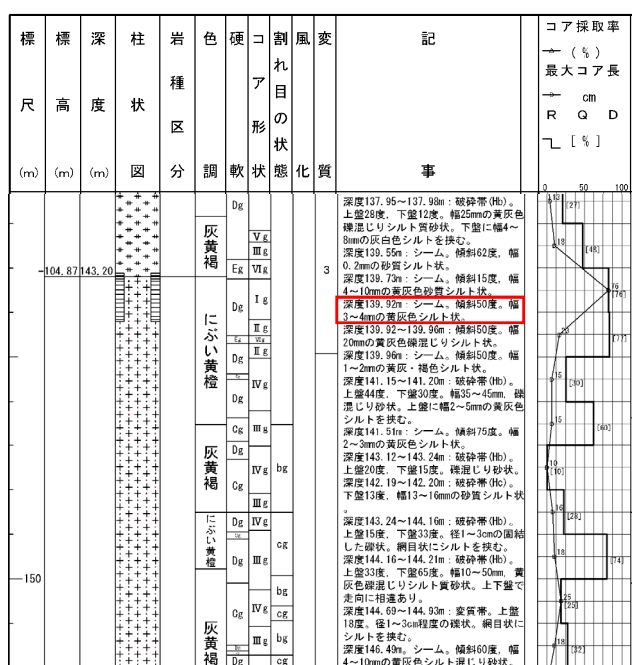
凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.8孔 深度139.92m)

・シルト状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。

委託報告書 (平成19年)



審査資料案

記事
<ul style="list-style-type: none"> ●141.15~141.20m <ul style="list-style-type: none"> ・破碎部である。 ・暗灰黄色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN76° E26° Sである。 ・上端境界の傾斜は44°、下端境界の傾斜は30°である。 ●143.12~144.21m (D-34破碎帯) <ul style="list-style-type: none"> ・破碎部である。 ・主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・黄灰色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN39° W64° Eである。 ・下端境界の傾斜は13°である。

審査資料

(平成30年11月30日)

記事
<ul style="list-style-type: none"> ●141.15~141.20m <ul style="list-style-type: none"> ・破碎部である。 ・暗灰黄色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN76° E26° Sである。 ・上端境界の傾斜は44°、下端境界の傾斜は30°である。 ●143.12~144.21m (D-34破碎帯) <ul style="list-style-type: none"> ・破碎部である。 ・主ににぶい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・黄灰色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN39° W64° Eである。 ・下端境界の傾斜は13°である。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度139.92m: シーム。傾斜50度。幅3~4mmの黄灰色シルト状。	記載なし	記載なし



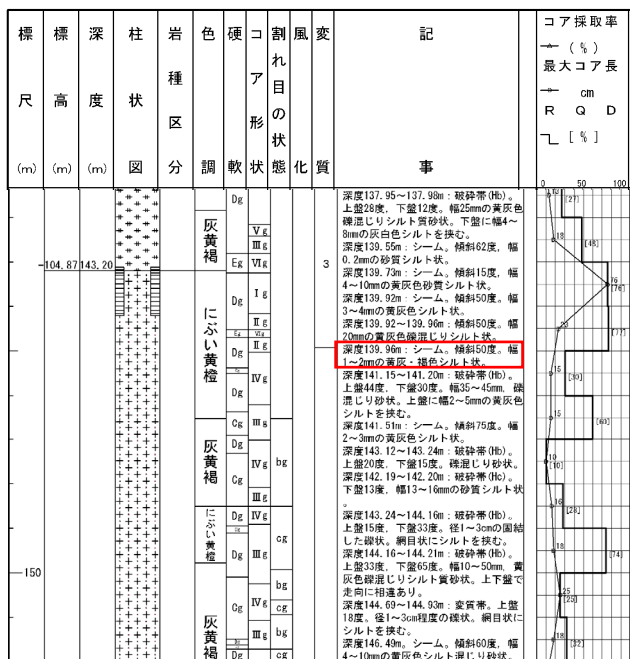
凡例
← シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.8孔 深度139.96m)

・シルト状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。

委託報告書 (平成19年)



審査資料案

記事
<ul style="list-style-type: none"> ●141.15~141.20m <ul style="list-style-type: none"> ・破碎部である。 ・暗灰黄色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN76° E26° Sである。 ・上端境界の傾斜は44°、下端境界の傾斜は30°である。 ●143.12~144.21m(D-34破碎帯) <ul style="list-style-type: none"> ・破碎部である。 ・主ににふい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・黄灰色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN39° W64° Eである。 ・下端境界の傾斜は13°である。 144.69~144.93m <ul style="list-style-type: none"> ・変質している。 ・上端境界の傾斜は18°である。 ・径1~3cm程度の礫状を呈する。 ・網目状にシルトを挟む。

審査資料 (平成30年11月30日)

記事
<ul style="list-style-type: none"> ●141.15~141.20m <ul style="list-style-type: none"> ・破碎部である。 ・暗灰黄色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN76° E26° Sである。 ・上端境界の傾斜は44°、下端境界の傾斜は30°である。 ●143.12~144.21m(D-34破碎帯) <ul style="list-style-type: none"> ・破碎部である。 ・主ににふい黄褐色の固結礫状部からなる。 ・黄灰色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN39° W64° Eである。 ・下端境界の傾斜は13°である。 144.69~144.93m <ul style="list-style-type: none"> ・変質している。 ・上端境界の傾斜は18°である。 ・径1~3cm程度の礫状を呈する。 ・網目状にシルトを挟む。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度139.96m: シーム。傾斜50度。幅1~2mmの黄灰・褐色シルト状。	記載なし	記載なし

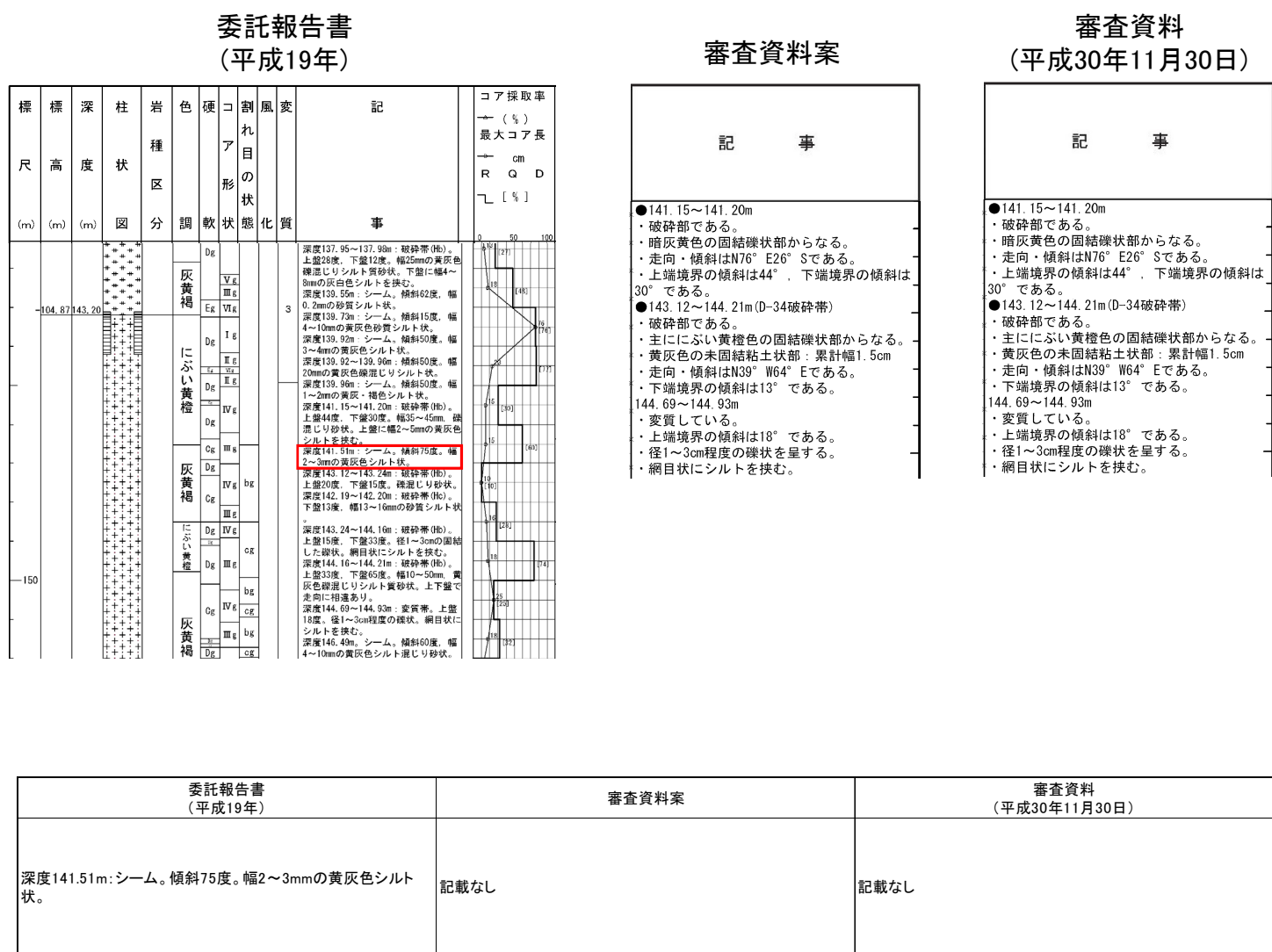


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.8孔 深度141.51m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



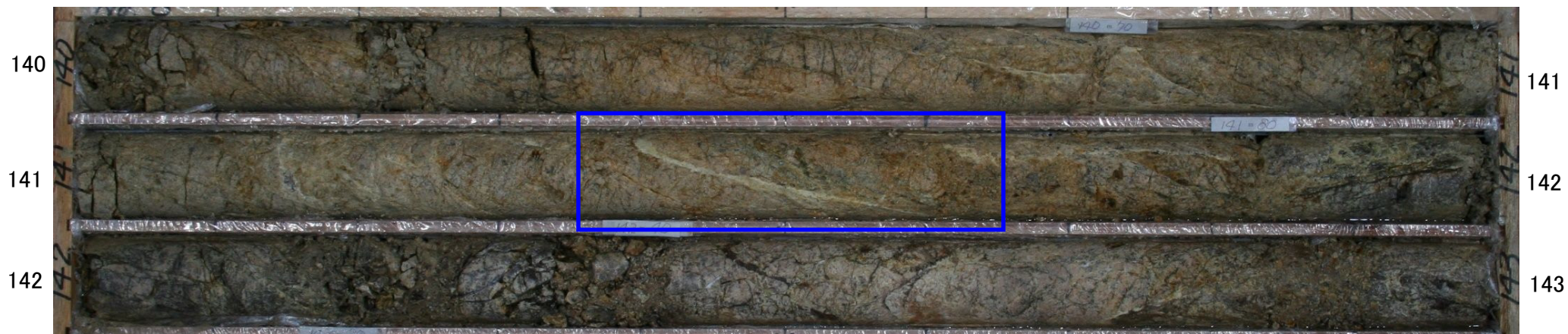
記事

- 141.15~141.20m
 - ・破碎部である。
 - ・暗灰黄色の固結塊状部からなる。
 - ・走向・傾斜はN76° E26° Sである。
 - ・上端境界の傾斜は44°、下端境界の傾斜は30°である。
- 143.12~144.21m(D-34破碎帯)
 - ・破碎部である。
 - ・主ににぶい黄橙色の固結塊状部からなる。
 - ・黄灰色の未固結粘土状部: 累計幅1.5cm
 - ・走向・傾斜はN39° W64° Eである。
 - ・下端境界の傾斜は13°である。
- 144.69~144.93m
 - ・変質している。
 - ・上端境界の傾斜は18°である。
 - ・径1~3cm程度の塊状を呈する。
 - ・網目状にシルトを挟む。

記事

- 141.15~141.20m
 - ・破碎部である。
 - ・暗灰黄色の固結塊状部からなる。
 - ・走向・傾斜はN76° E26° Sである。
 - ・上端境界の傾斜は44°、下端境界の傾斜は30°である。
- 143.12~144.21m(D-34破碎帯)
 - ・破碎部である。
 - ・主ににぶい黄橙色の固結塊状部からなる。
 - ・黄灰色の未固結粘土状部: 累計幅1.5cm
 - ・走向・傾斜はN39° W64° Eである。
 - ・下端境界の傾斜は13°である。
- 144.69~144.93m
 - ・変質している。
 - ・上端境界の傾斜は18°である。
 - ・径1~3cm程度の塊状を呈する。
 - ・網目状にシルトを挟む。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度141.51m: シーム。傾斜75度。幅2~3mmの黄灰色シルト状。	記載なし	記載なし

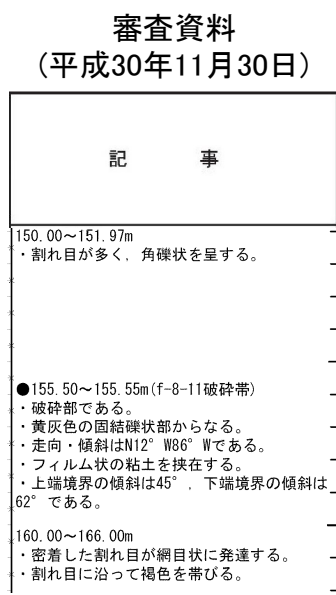
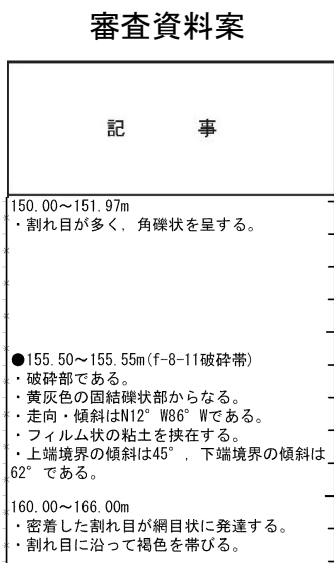
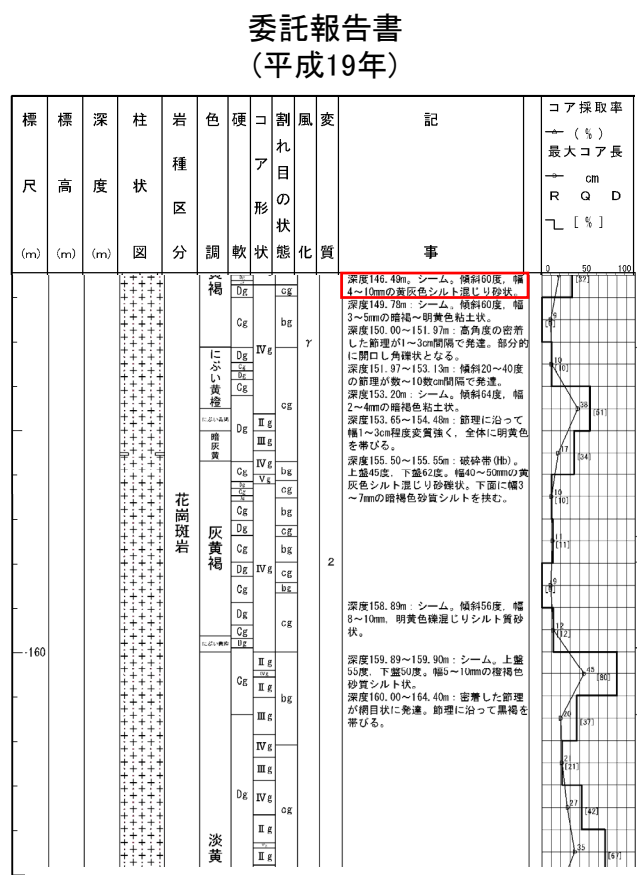


凡例
← : シーム

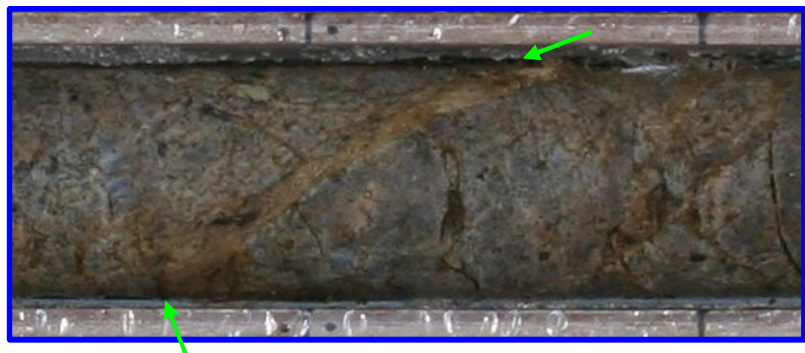
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度146.49m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度146.49m。シーム。傾斜60度。幅4~10mmの黄灰色シルト混じり砂状。	記載なし	記載なし



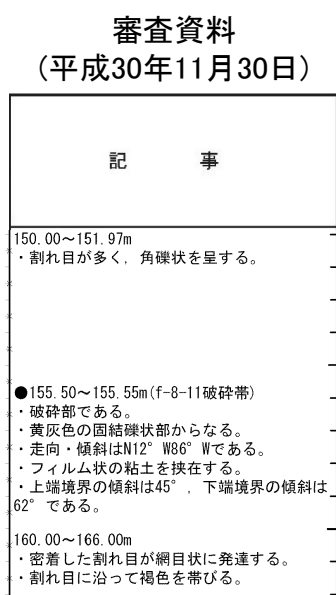
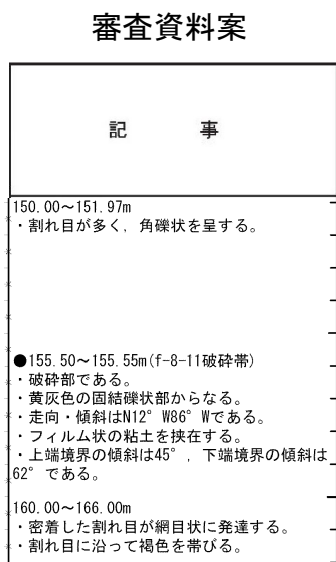
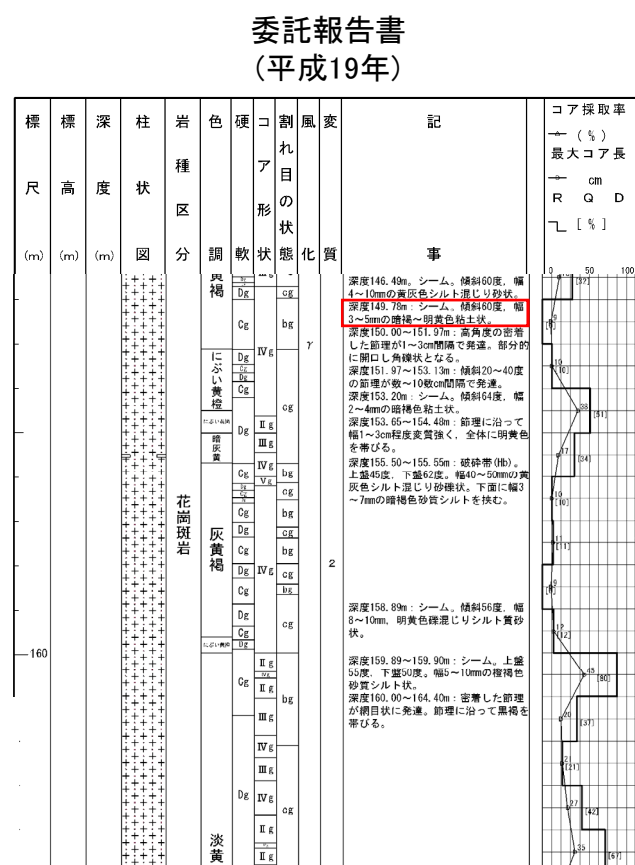
凡例

← :シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度149.78m)

・粘土状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度149.78m: シーム。傾斜60度、幅3~5mmの暗褐~明黄色粘土状。	記載なし	記載なし

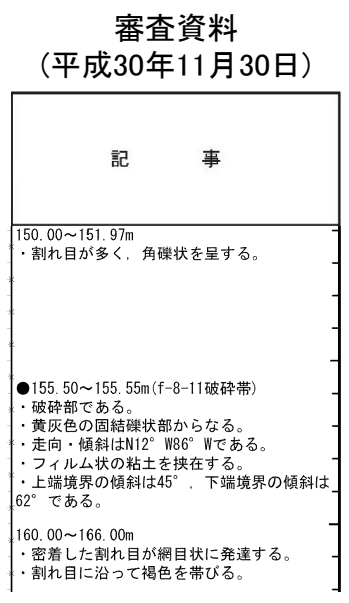
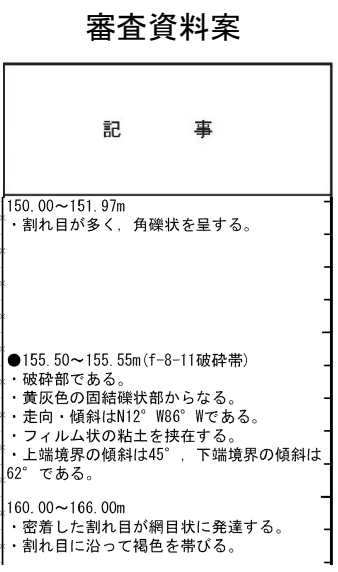
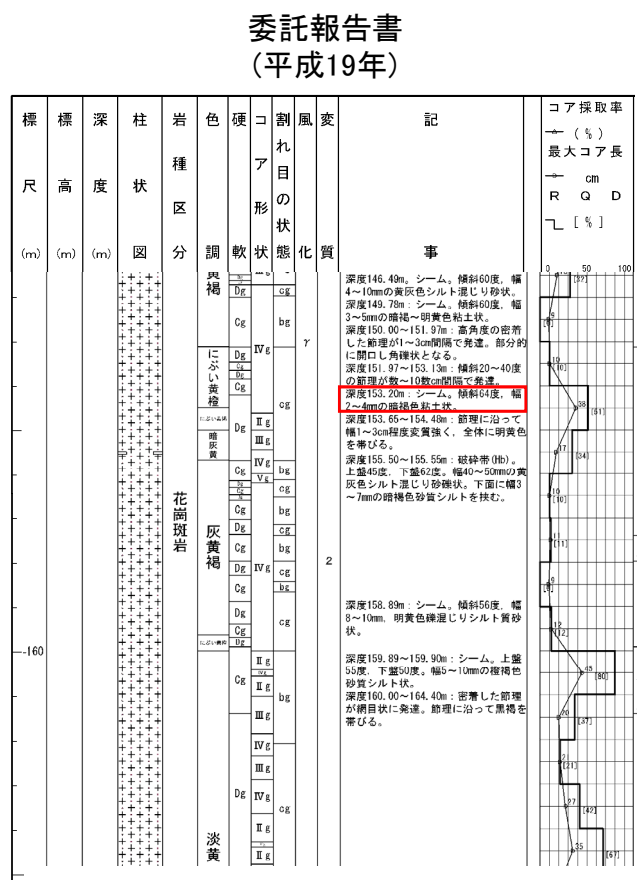


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度153.20m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度153.20m: シーム。傾斜64度。幅2~4mmの暗褐色粘土状。	記載なし	記載なし

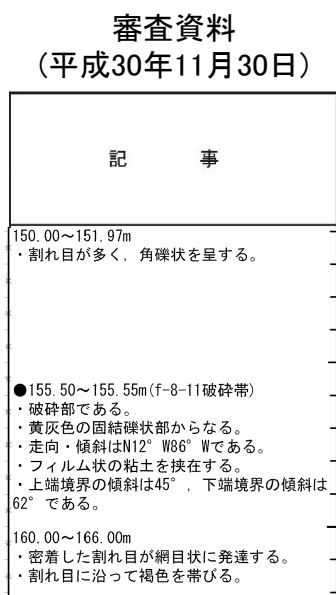
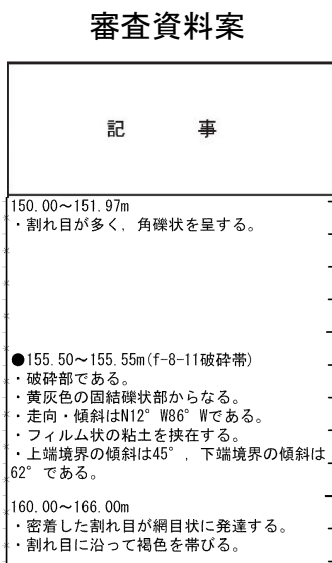
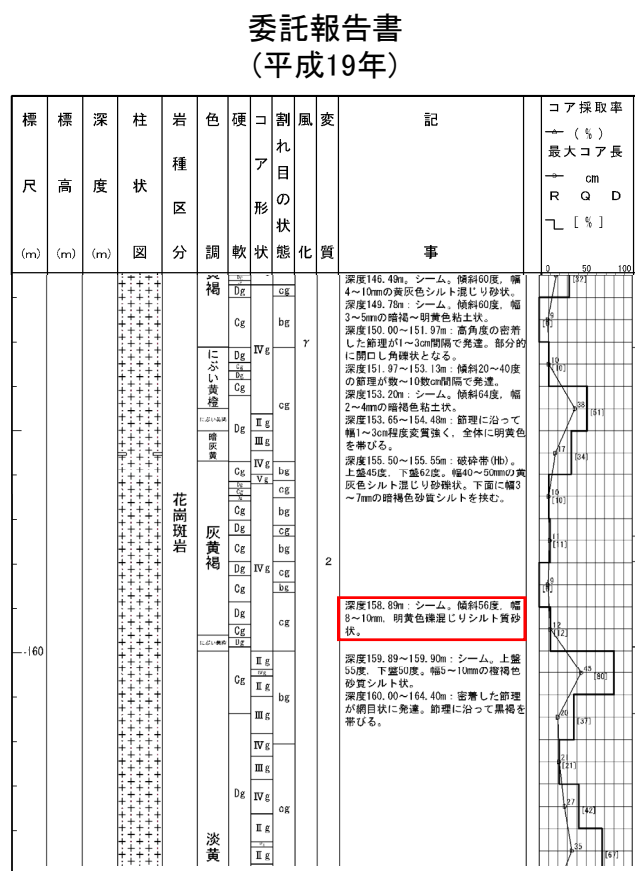


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度158.89m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度158.89m: シーム。傾斜56度。幅8~10mm。明黄色礫混じりシルト質砂状。	記載なし	記載なし



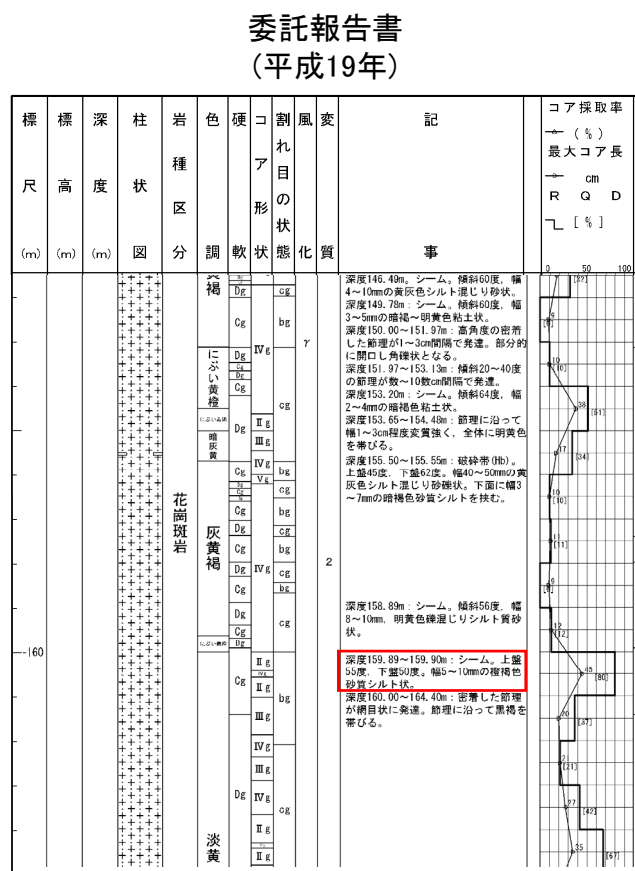
凡例

← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度159.89~159.90m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



審査資料案

記事

150.00~151.97m
・割れ目が多く、角礫状を呈する。

●155.50~155.55m (f-8-11破砕帯)
・破砕部である。
・黄灰色の固結塊状部からなる。
・走向・傾斜はN12° W86° Wである。
・フィルム状の粘土を挟在する。
・上端境界の傾斜は45°、下端境界の傾斜は62°である。

160.00~166.00m
・密着した割れ目が網目状に発達する。
・割れ目に沿って褐色を帯びる。

**審査資料
(平成30年11月30日)**

記事

150.00~151.97m
・割れ目が多く、角礫状を呈する。

●155.50~155.55m (f-8-11破砕帯)
・破砕部である。
・黄灰色の固結塊状部からなる。
・走向・傾斜はN12° W86° Wである。
・フィルム状の粘土を挟在する。
・上端境界の傾斜は45°、下端境界の傾斜は62°である。

160.00~166.00m
・密着した割れ目が網目状に発達する。
・割れ目に沿って褐色を帯びる。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度159.89~159.90m: シーム。上盤55度、下盤50度。幅5~10mmの橙褐色砂質シルト状。	記載なし	記載なし



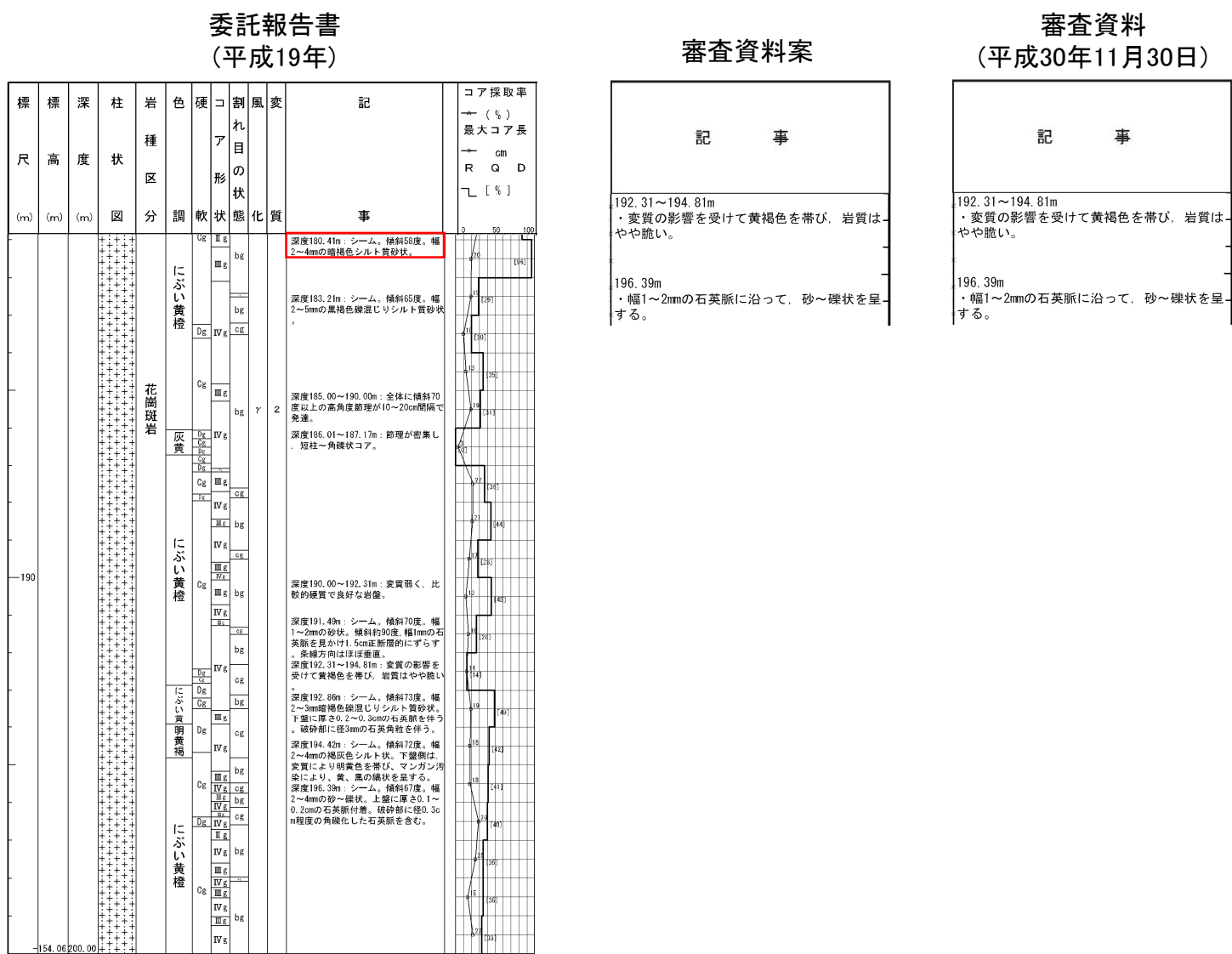
凡例

← : シーム

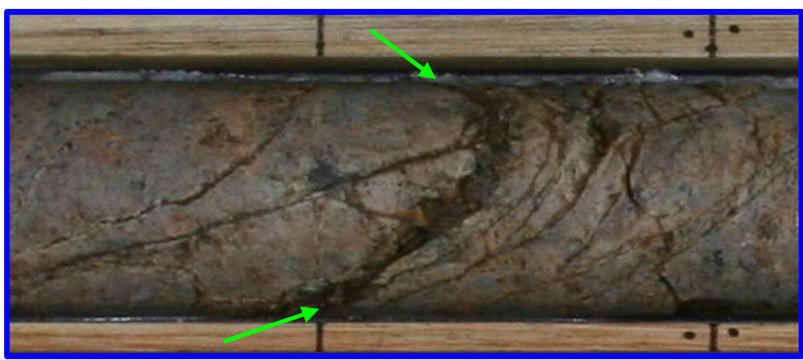
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.8孔 深度180.41m)

・砂状を呈するがその分布は膨縮し直線性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
<p>深度180.41m:シーム。傾斜58度。幅2~4mmの暗褐色シルト質砂状。</p>	<p>記載なし</p>	<p>記載なし</p>

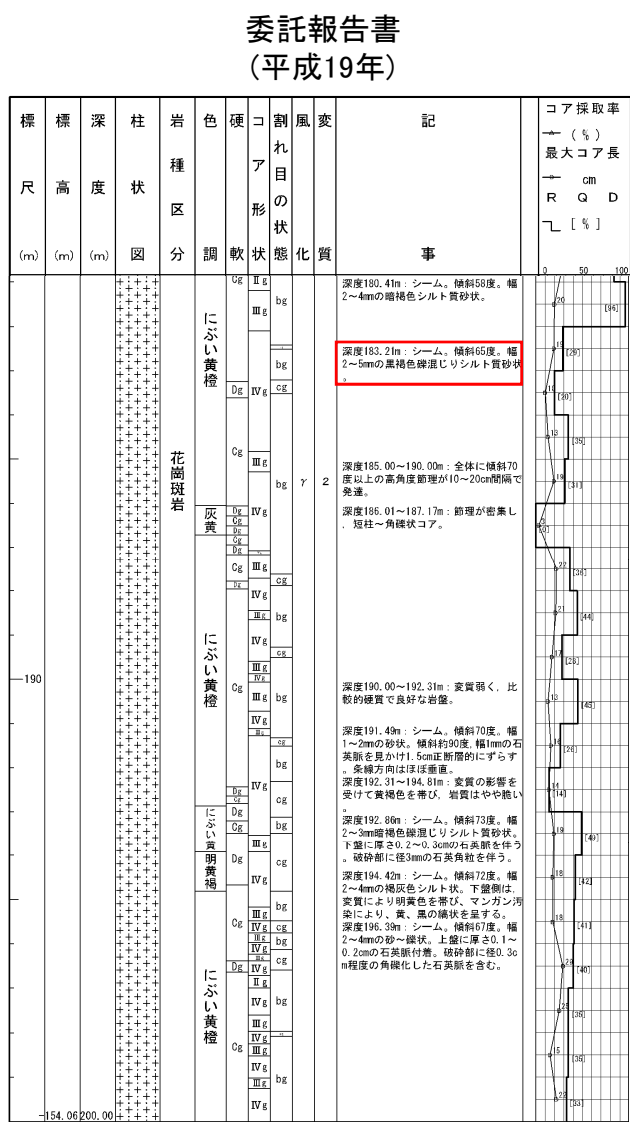


凡例
← :シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度183.21m)

・砂状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



審査資料案

記事
192.31~194.81m ・変質の影響を受けて黄褐色を帯び、岩質はやや脆い。
196.39m ・幅1~2mmの石英脈に沿って、砂~礫状を呈する。

審査資料 (平成30年11月30日)

記事
192.31~194.81m ・変質の影響を受けて黄褐色を帯び、岩質はやや脆い。
196.39m ・幅1~2mmの石英脈に沿って、砂~礫状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度183.21m: シーム。傾斜65度。幅2~5mmの黒褐色礫混じりシルト質砂状。	記載なし	記載なし



凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度191.49m)

・砂状を呈するが、その分布は局所的であり連続性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
<p>深度191.49m: シーム。傾斜70度。幅1~2mmの砂状。傾斜約90度。幅1mmの石英脈を見かけ1.5cm正断層的にずらす。条線方向はほぼ垂直。</p>	<p>記載なし</p>	<p>記載なし</p>



凡例
← : シーム

0 5 cm

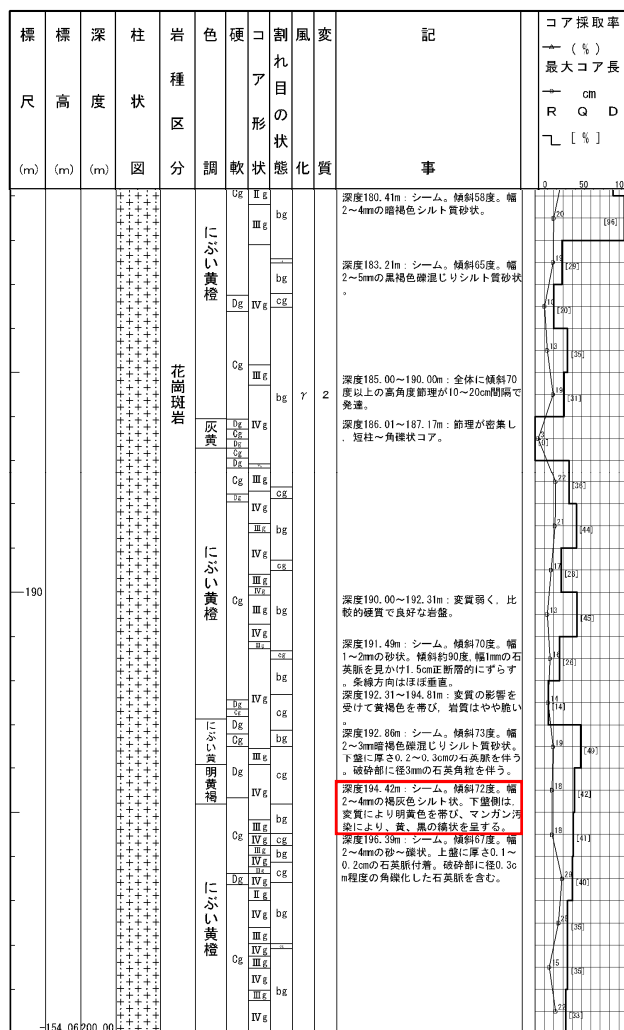
柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.8孔 深度194.42m)

・シルト状を呈するが、その分布は局所的であり連続性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。

委託報告書 (平成19年)

審査資料案

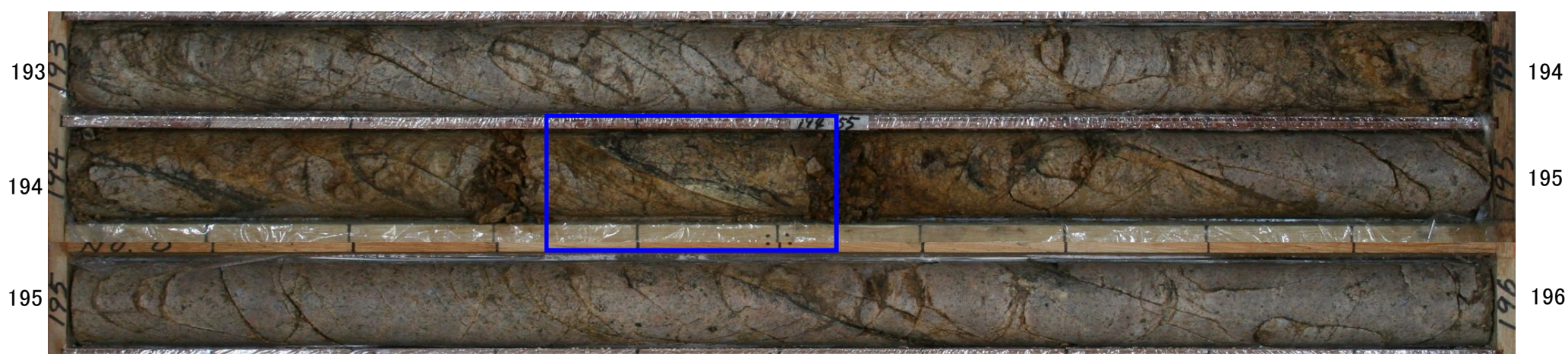
審査資料 (平成30年11月30日)



記事
192.31~194.81m ・変質の影響を受けて黄褐色を帯び、岩質はやや脆い。
196.39m ・幅1~2mmの石英脈に沿って、砂~礫状を呈する。

記事
192.31~194.81m ・変質の影響を受けて黄褐色を帯び、岩質はやや脆い。
196.39m ・幅1~2mmの石英脈に沿って、砂~礫状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度194.42m: シーム。傾斜72度。幅2~4mmの褐色シルト状。下盤側は、変質により明黄色を帯び、マンガン汚染により、黄、黒の縞状を呈する。	記載なし	記載なし



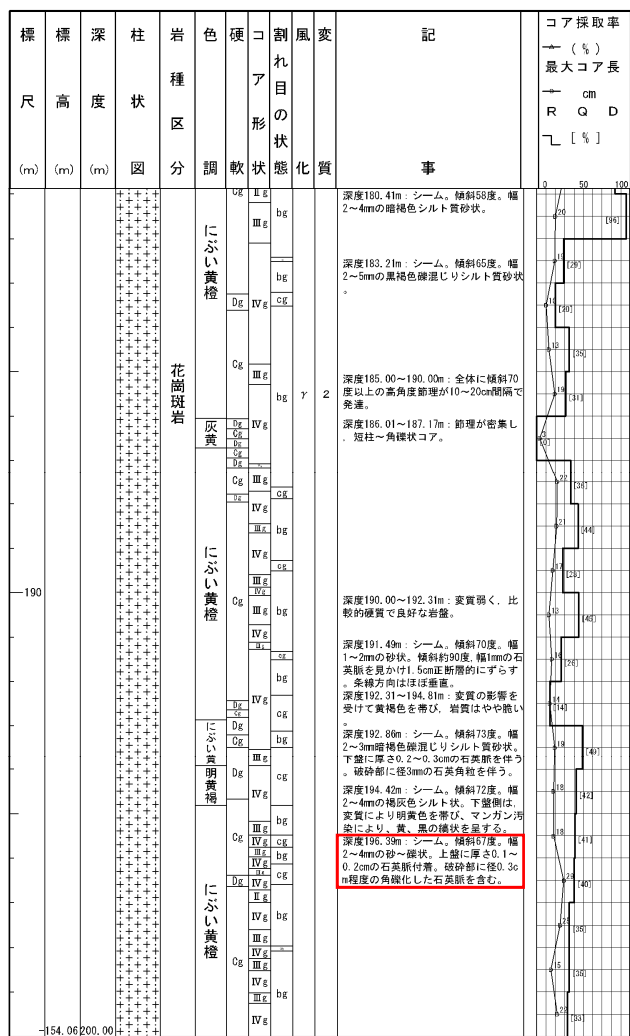
凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.8孔 深度196.39m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。

委託報告書 (平成19年)



審査資料案

記事
192.31~194.81m ・変質の影響を受けて黄褐色を帯び、岩質はやや脆い。
196.39m ・幅1~2mmの石英脈に沿って、砂~礫状を呈する。

審査資料 (平成30年11月30日)

記事
192.31~194.81m ・変質の影響を受けて黄褐色を帯び、岩質はやや脆い。
196.39m ・幅1~2mmの石英脈に沿って、砂~礫状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度196.39m: シーム。傾斜67度。幅2~4mmの砂~礫状。上盤に厚さ0.1~0.2cmの石英脈付着。破碎部に径0.3cm程度の角礫化した石英脈を含む。	196.39m ・幅1~2mmの石英脈に沿って、砂~礫状を呈する。	196.39m ・幅1~2mmの石英脈に沿って、砂~礫状を呈する。

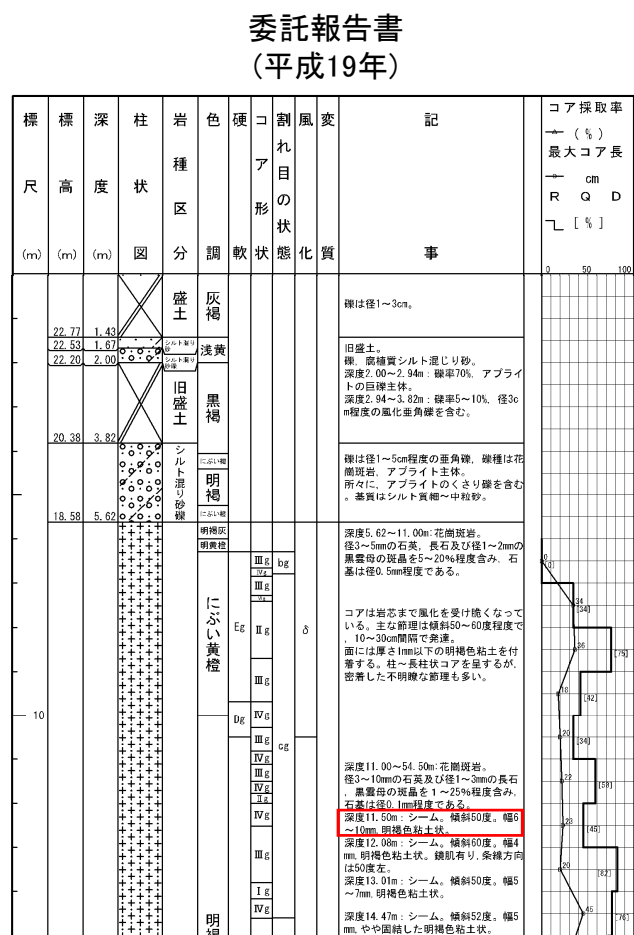


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.10孔 深度11.50m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



審査資料案	
記事	
0.00~1.43m	・盛土である。
1.43~1.67m	・シルト混じり砂である。
1.67~2.00m	・シルト混じり砂礫である。
2.00~3.82m	・旧盛土である。
3.82~5.62m	・シルト混じり砂礫である。
5.62~120.00m	・花崗斑岩である。
11.50~14.47m	・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。

審査資料 (平成30年11月30日)	
記事	
0.00~1.43m	・盛土である。
1.43~1.67m	・シルト混じり砂である。
1.67~2.00m	・シルト混じり砂礫である。
2.00~3.82m	・旧盛土である。
3.82~5.62m	・シルト混じり砂礫である。
5.62~120.00m	・花崗斑岩である。
11.50~14.47m	・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度11.50m: シーム。傾斜50度。幅6~10mm。明褐色粘土状。 深度12.08m: シーム。傾斜60度。幅4mm。明褐色粘土状。鏡肌有り。条線方向は50度左。 深度13.01m: シーム。傾斜50度。幅5~7mm。明褐色粘土状。 深度14.47m: シーム。傾斜52度。幅5mm。やや固結した明褐色粘土状。	11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。	11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。

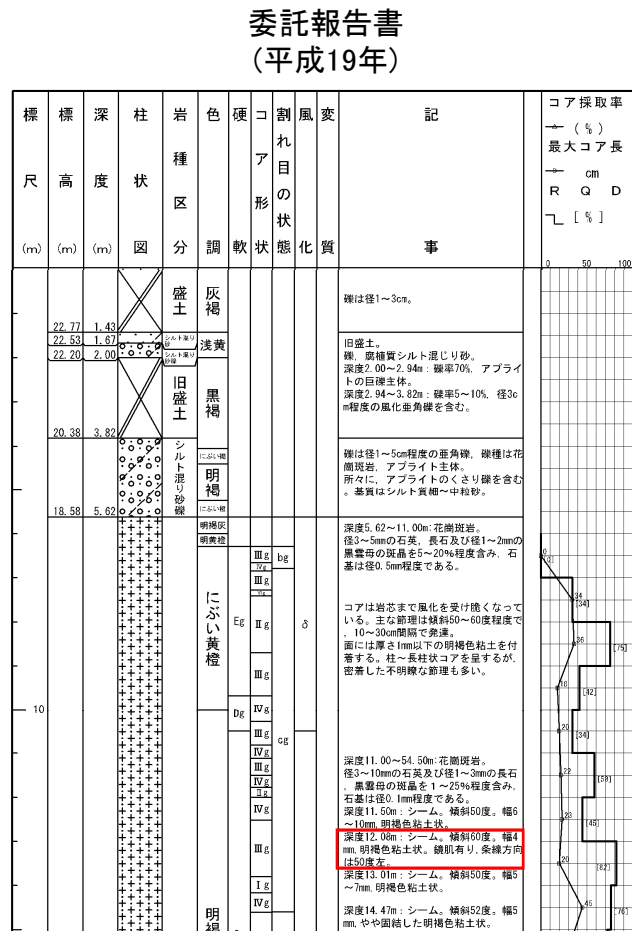


凡例
 : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.10孔 深度12.08m)

一部で礫混じり粘土状を呈するが、礫に定向配列は認められず、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



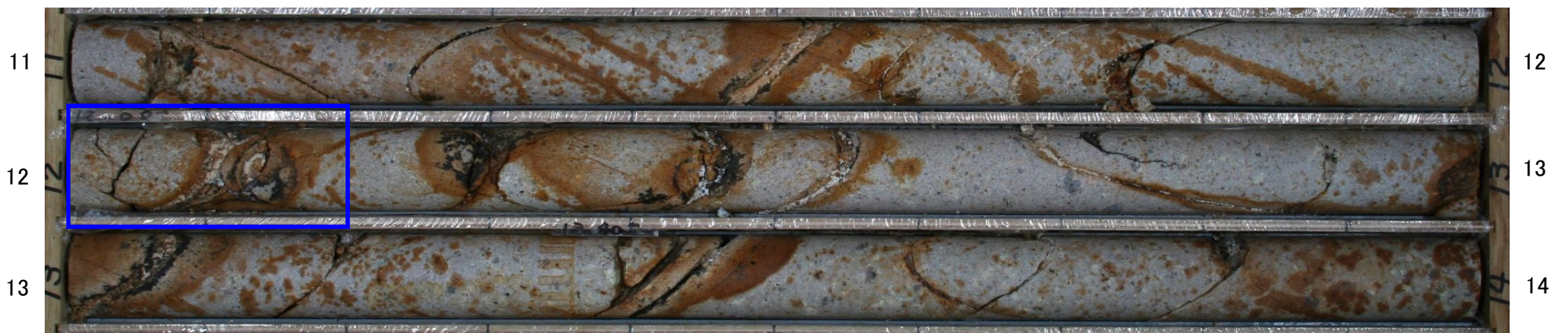
審査資料案

記事
0.00~1.43m ・盛土である。
1.43~1.67m ・シルト混じり砂である。
1.67~2.00m ・シルト混じり砂礫である。
2.00~3.82m ・旧盛土である。
3.82~5.62m ・シルト混じり砂礫である。
5.62~120.00m ・花崗斑岩である。
11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。

**審査資料
(平成30年11月30日)**

記事
0.00~1.43m ・盛土である。
1.43~1.67m ・シルト混じり砂である。
1.67~2.00m ・シルト混じり砂礫である。
2.00~3.82m ・旧盛土である。
3.82~5.62m ・シルト混じり砂礫である。
5.62~120.00m ・花崗斑岩である。
11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度11.50m: シーム。傾斜50度。幅6~10mm。明褐色粘土状。 深度12.08m: シーム。傾斜60度。幅4mm。明褐色粘土状。鏡肌有り、条線方向は50度左。 深度13.01m: シーム。傾斜50度。幅5~7mm。明褐色粘土状。 深度14.47m: シーム。傾斜52度。幅5mm。やや固結した明褐色粘土状。	11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。	11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。



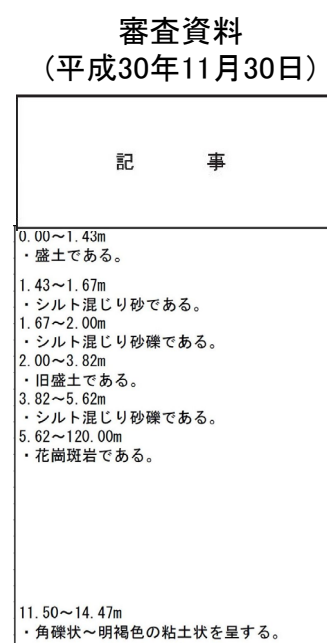
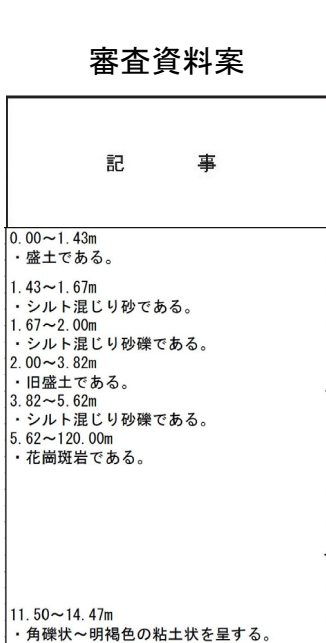
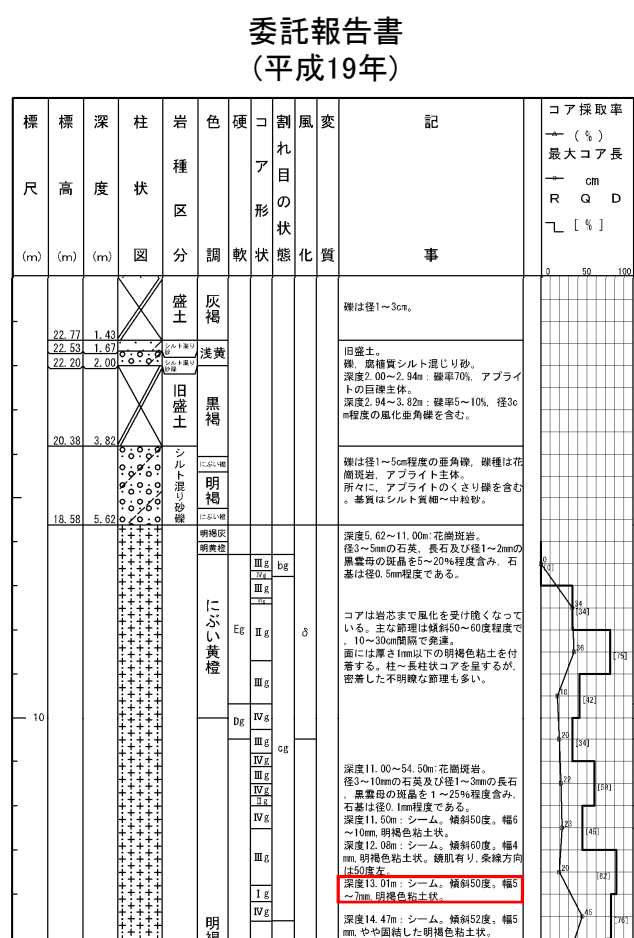
凡例

← : シーム

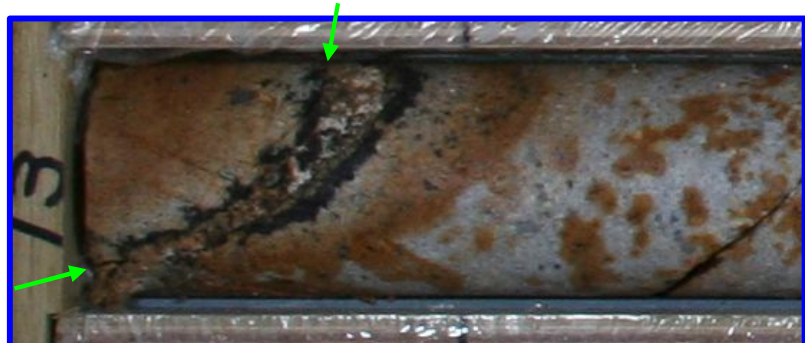
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.10孔 深度13.01m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度11.50m: シーム。傾斜50度。幅6~10mm。明褐色粘土状。 深度12.08m: シーム。傾斜60度。幅4mm。明褐色粘土状。鏡肌有り。条線方向は50度左。 深度13.01m: シーム。傾斜50度。幅5~7mm。明褐色粘土状。 深度14.47m: シーム。傾斜52度。幅5mm。やや固結した明褐色粘土状。	11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。	11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。



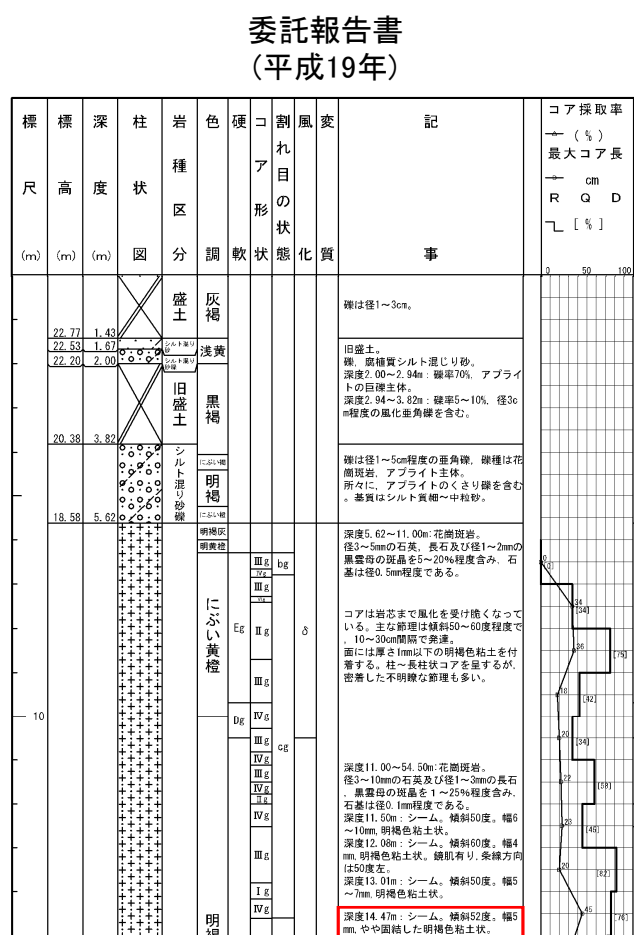
凡 例

← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.10孔 深度14.47m)

・粘土状を呈するが、その分布は湾曲し直線性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



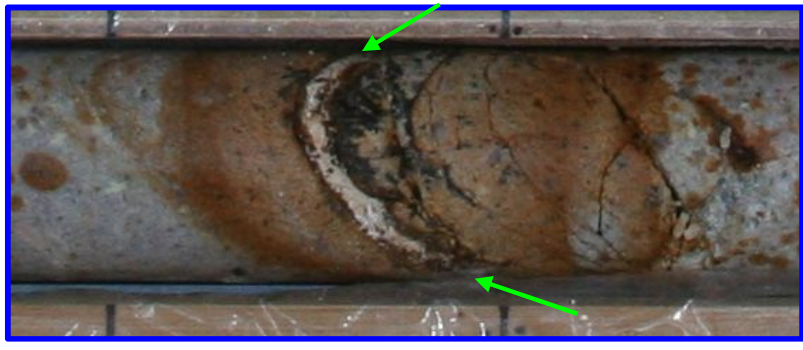
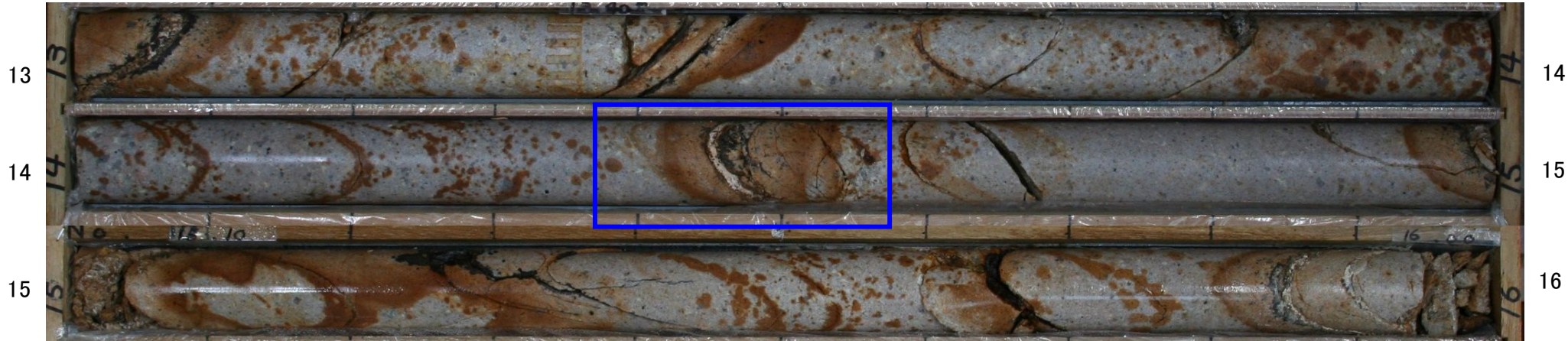
審査資料案

記事
0.00~1.43m ・盛土である。
1.43~1.67m ・シルト混じり砂である。
1.67~2.00m ・シルト混じり砂礫である。
2.00~3.82m ・旧盛土である。
3.82~5.62m ・シルト混じり砂礫である。
5.62~120.00m ・花崗斑岩である。
11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。

**審査資料
(平成30年11月30日)**

記事
0.00~1.43m ・盛土である。
1.43~1.67m ・シルト混じり砂である。
1.67~2.00m ・シルト混じり砂礫である。
2.00~3.82m ・旧盛土である。
3.82~5.62m ・シルト混じり砂礫である。
5.62~120.00m ・花崗斑岩である。
11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度11.50m：シーム。傾斜50度。幅6~10mm。明褐色粘土状。 深度12.08m：シーム。傾斜60度。幅4mm。明褐色粘土状。鏡面有り。条線方向は50度左。 深度13.01m：シーム。傾斜50度。幅5~7mm。明褐色粘土状。 深度14.47m：シーム。傾斜52度。幅5mm。やや固結した明褐色粘土状。	11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。	11.50~14.47m ・角礫状~明褐色の粘土状を呈する。



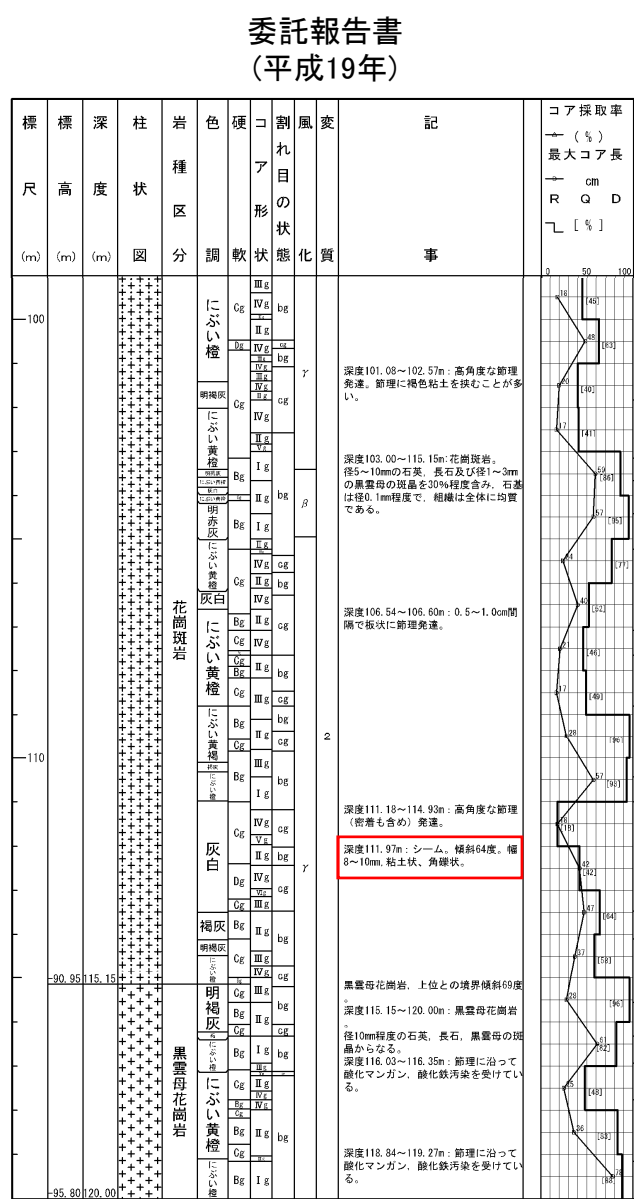
凡例

← :シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.10孔 深度111.97m)

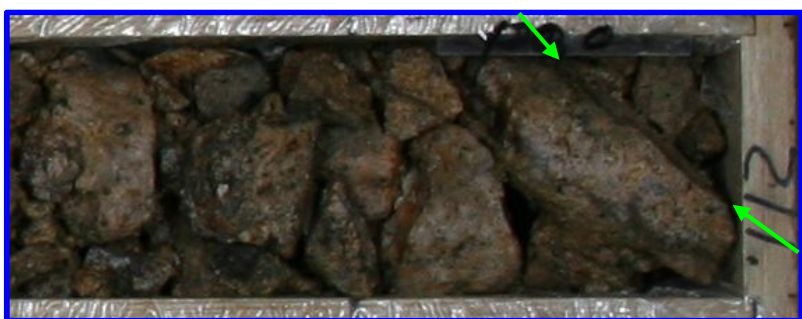
・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



記 事
101.08~102.57m ・高角度の割れ目が発達する。 ・割れ目に沿って褐色の粘土を挟む。
106.54~114.93m ・角礫状~粘土状を呈する。 ・高角度の割れ目が発達する。
115.15~120.00m ・黒雲母花崗岩である。 116.03~119.27m ・割れ目に沿って酸化マンガン、酸化鉄汚染を伴う。

記 事
101.08~102.57m ・高角度の割れ目が発達する。 ・割れ目に沿って褐色の粘土を挟む。
106.54~114.93m ・角礫状~粘土状を呈する。 ・高角度の割れ目が発達する。
115.15~120.00m ・黒雲母花崗岩である。 116.03~119.27m ・割れ目に沿って酸化マンガン、酸化鉄汚染を伴う。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度106.54~106.60m:0.5~1.0cm間隔で板状に節理発達。 深度111.18~114.93m:高角度な節理(密着も含め)発達。 深度111.97m:シーム、傾斜64度、幅8~10mm、粘土状、角礫状。	106.54~114.93m ・角礫状~粘土状を呈する。 ・高角度の割れ目が発達する。	106.54~114.93m ・角礫状~粘土状を呈する。 ・高角度の割れ目が発達する。

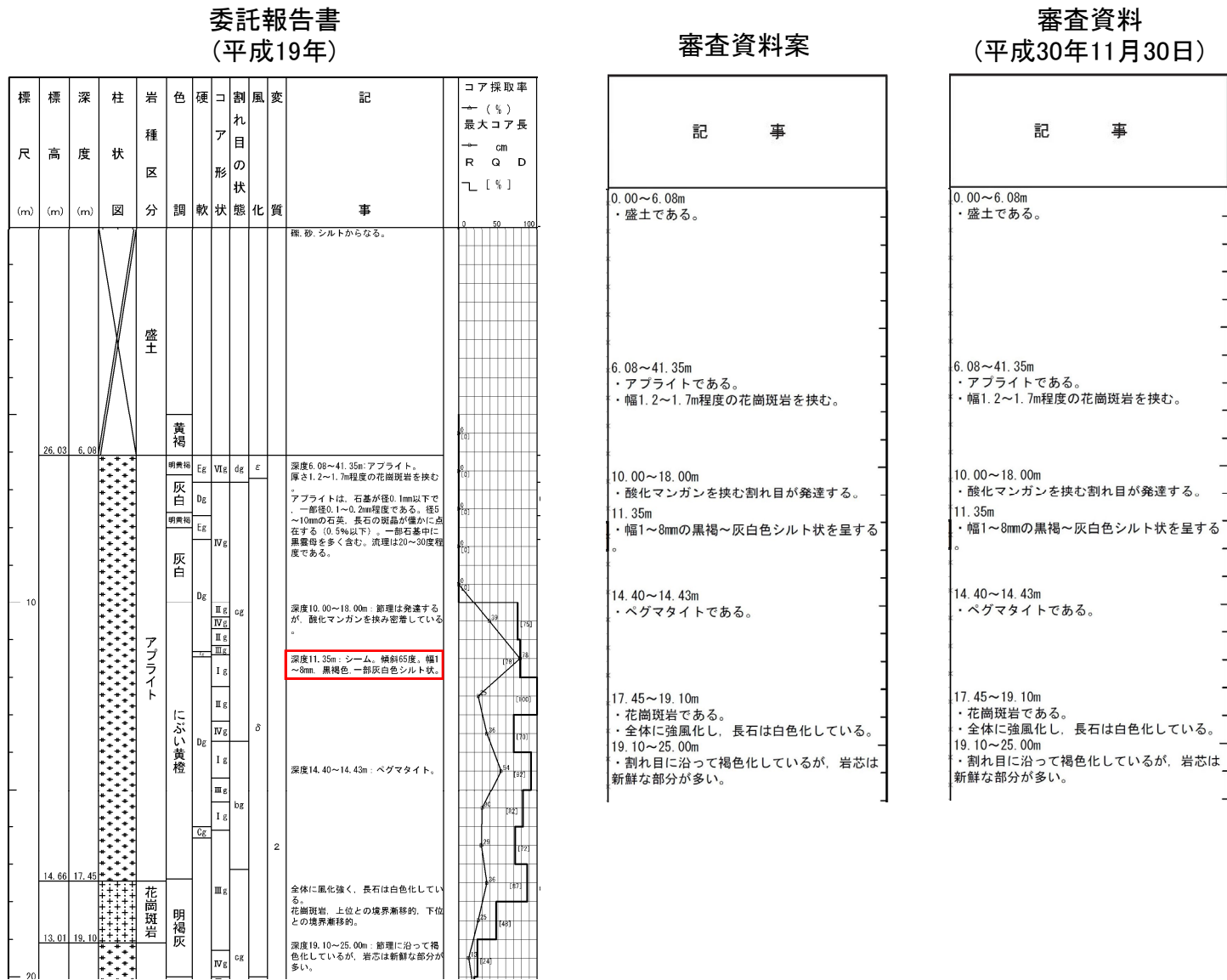


凡 例
← :シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.11孔 深度11.35m)

・シルト状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度11.35m: シーム。傾斜65度。幅1~8mm、黒褐色、一部灰白色シルト状。	11.35m ・幅1~8mmの黒褐~灰白色シルト状を呈する。	11.35m ・幅1~8mmの黒褐~灰白色シルト状を呈する。

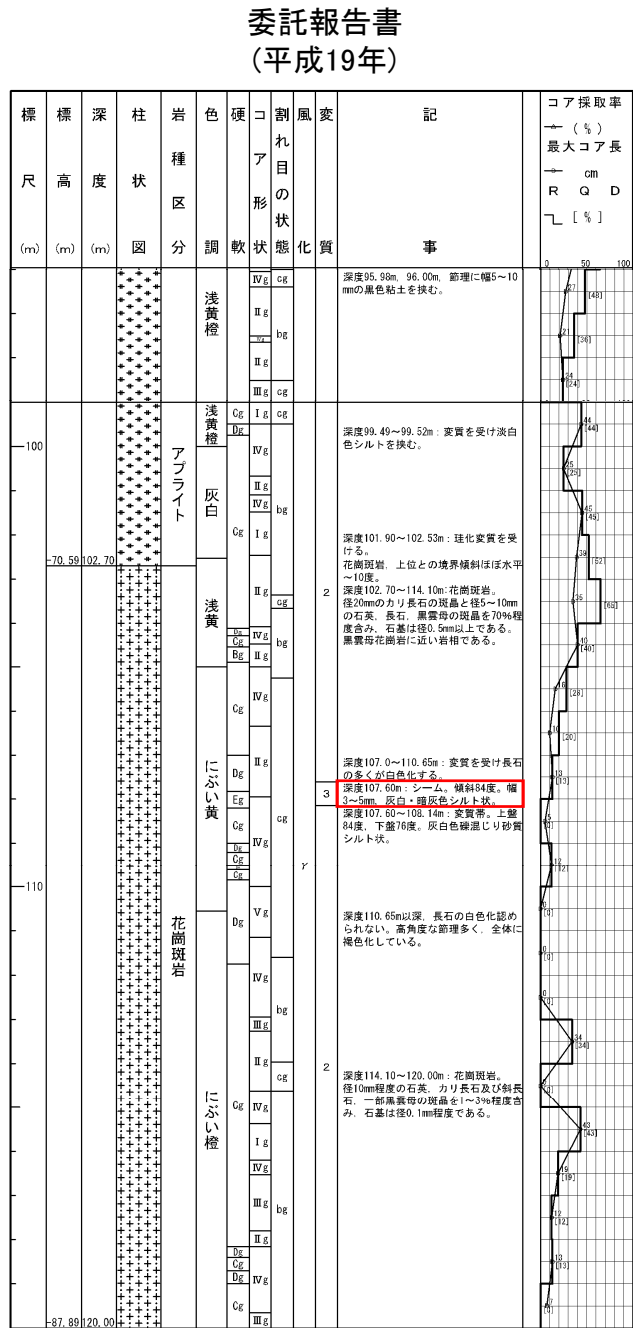


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.11孔 深度107.60m)

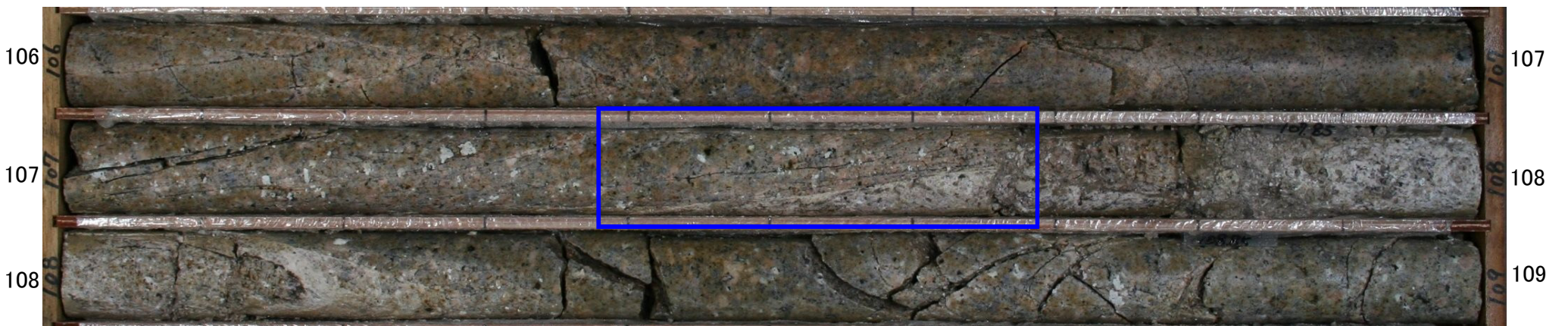
・シルト状を呈するがその分布は殲滅し連続性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



審査資料案	
記 事	
95.98m, 96.00m	・割れ目に幅5~10mmの黒色粘土を挟む。
99.49~99.52m	・変質している。 ・淡白色シルト状を呈する。
101.90~102.53m	・珪化変質を受ける。 ・花崗斑岩である。
102.70~120.00m	・花崗斑岩である。
107.60~108.14m	・変質している。 ・灰白色礫混じり砂質シルト状を呈する。

審査資料 (平成30年11月30日)	
記 事	
95.98m, 96.00m	・割れ目に幅5~10mmの黒色粘土を挟む。
99.49~99.52m	・変質している。 ・淡白色シルト状を呈する。
101.90~102.53m	・珪化変質を受ける。 ・花崗斑岩である。
102.70~120.00m	・花崗斑岩である。
107.60~108.14m	・変質している。 ・灰白色礫混じり砂質シルト状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度107.60m: シーム。傾斜84度。幅3~5mm, 灰白・暗灰色シルト状。	記載なし	記載なし

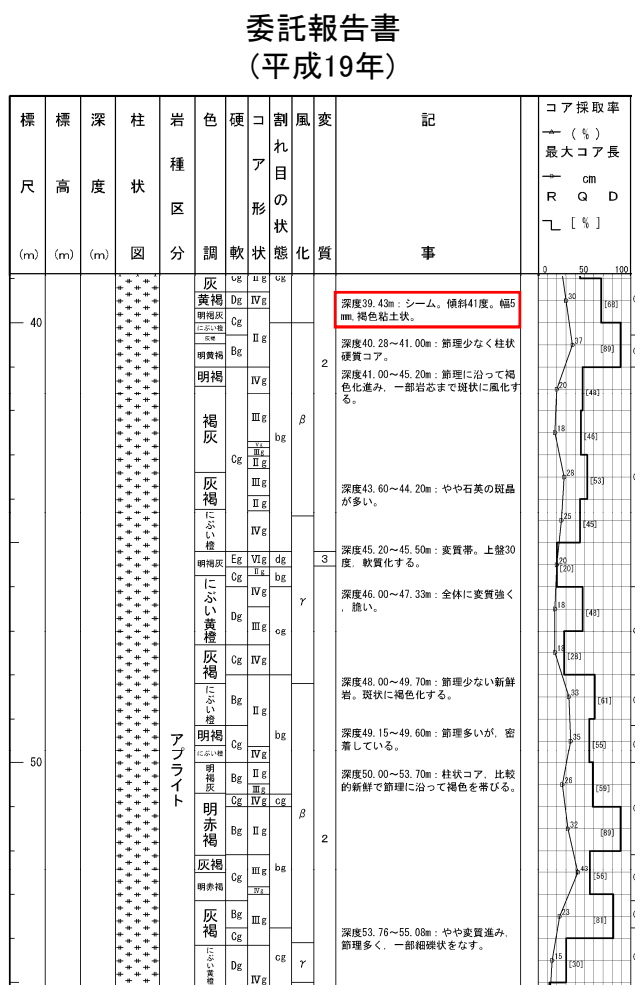


凡 例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.12孔 深度39.43m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



設置許可申請書案

記事
40.28~41.00m ・硬質で割れ目が少なく、柱状を呈する。
45.20~45.50m ・変質している。 ・明褐色を呈し、軟質化している。 ・上端境界の傾斜は30°である。
48.00~49.70m ・新鮮で割れ目が少なく、長柱状を呈する。
50.00~53.70m ・比較的新鮮で割れ目が少なく、柱状を呈する。
53.76~55.08m ・割れ目が多く、一部岩片状を呈する。

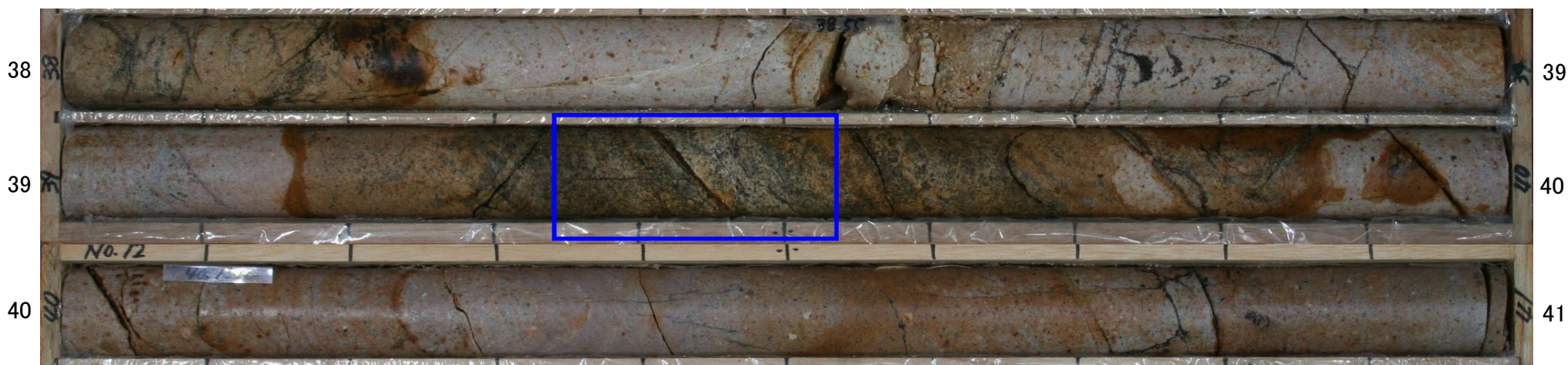
設置許可申請書 (平成27年11月)

記事
40.28~41.00m ・硬質で割れ目が少なく、柱状を呈する。
45.20~45.50m ・変質している。 ・明褐色を呈し、軟質化している。 ・上端境界の傾斜は30°である。
48.00~49.70m ・新鮮で割れ目が少なく、長柱状を呈する。
50.00~53.70m ・比較的新鮮で割れ目が少なく、柱状を呈する。
53.76~55.08m ・割れ目が多く、一部岩片状を呈する。

審査資料 (平成29年12月22日)

記事
40.28~41.00m ・硬質で割れ目が少なく、柱状を呈する。
45.20~45.50m ・変質している。 ・明褐色を呈し、軟質化している。
48.00~49.70m ・新鮮で割れ目が少なく、長柱状を呈する。
50.00~53.70m ・比較的新鮮で割れ目が少なく、柱状を呈する。
53.76~55.08m ・割れ目が多く、一部岩片状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	設置許可申請書案	設置許可申請書 (平成27年11月)	審査資料 (平成29年12月22日)
深度39.43m: シーム。傾斜41度。幅5mm。褐色粘土状。	記載なし	記載なし	記載なし



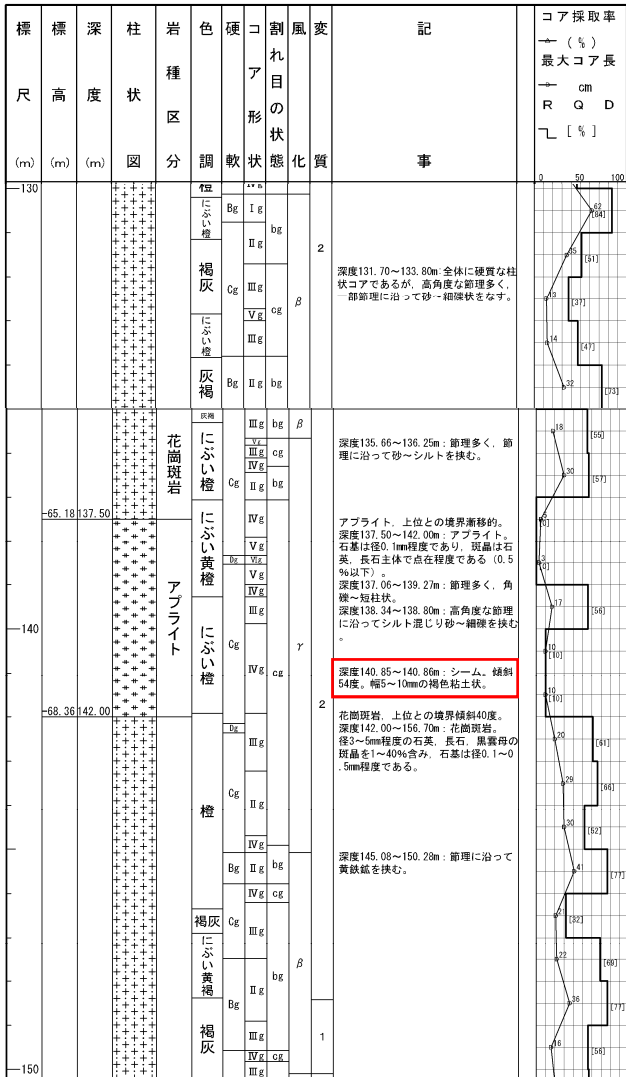
凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.12孔 深度140.85~140.86m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。

委託報告書 (平成19年)



設置許可申請書案

131.70~133.80m
・高角度の割れ目が多く、割れ目に沿って一部土砂状~岩片状を呈する。

135.66~136.25m
・割れ目が多く、割れ目に沿って砂~シルトを挟む。

137.50~142.00m
・アプライトである。
・上端境界、下端境界は漸移的である。

137.06~139.27m
・割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。

138.34~138.80m
・高角度の割れ目に沿って、シルト混じり砂~細礫を挟む。

142.00~156.70m
・花崗斑岩である。
・上端境界の傾斜は40°である。

145.08~150.28m
・割れ目に沿って、黄鉄鉱を挟む。

147.60~149.50m
・硬質・新鮮である。
・割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。

設置許可申請書 (平成27年11月)

131.70~133.80m
・高角度の割れ目が多く、割れ目に沿って一部土砂状~岩片状を呈する。

135.66~136.25m
・割れ目が多く、割れ目に沿って砂~シルトを挟む。

137.50~142.00m
・アプライトである。
・上端境界、下端境界は漸移的である。

137.06~139.27m
・割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。

138.34~138.80m
・高角度の割れ目に沿って、シルト混じり砂~細礫を挟む。

142.00~156.70m
・花崗斑岩である。
・上端境界の傾斜は40°である。

145.08~150.28m
・割れ目に沿って、黄鉄鉱を挟む。

147.60~149.50m
・硬質・新鮮である。
・割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。

審査資料 (平成29年12月22日)

131.70~133.80m
・高角度の割れ目が多く、割れ目に沿って一部土砂状~岩片状を呈する。

135.66~136.25m
・割れ目が多く、割れ目に沿って砂~シルトを挟む。

137.50~142.00m
・アプライトである。

137.06~139.27m
・割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。

138.34~138.80m
・高角度の割れ目に沿って、シルト混じり砂~細礫を挟む。

142.00~156.70m
・花崗斑岩である。

145.08~150.28m
・割れ目に沿って、黄鉄鉱を挟む。

147.60~149.50m
・硬質・新鮮である。
・割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	設置許可申請書案	設置許可申請書 (平成27年11月)	審査資料 (平成29年12月22日)
深度140.85~140.86m: シーム。傾斜54度。幅5~10mmの褐色粘土状。	記載なし	記載なし	記載なし



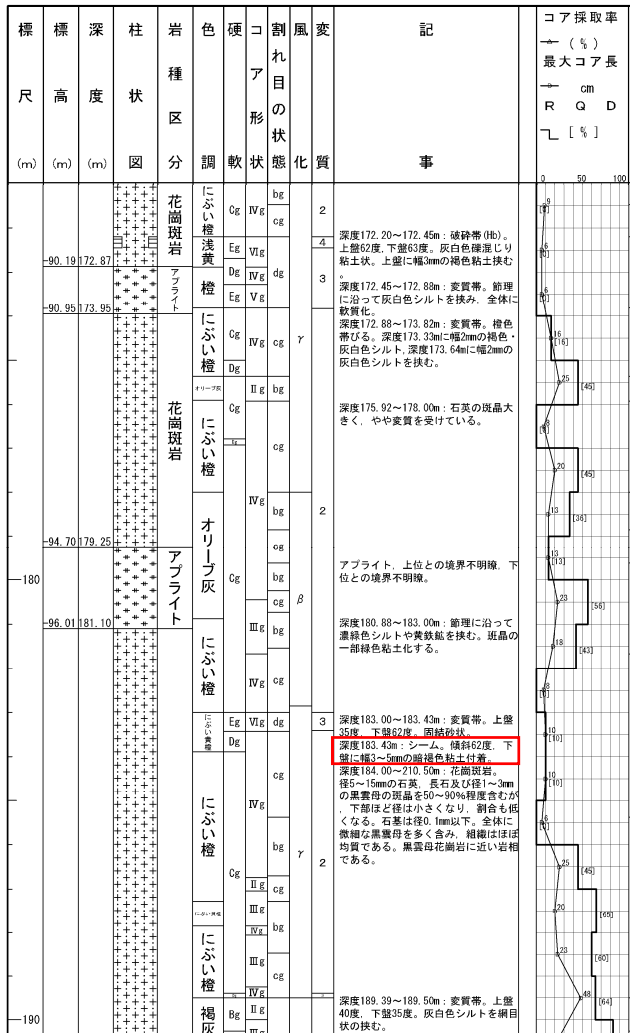
凡例
← シーム

0 5 cm

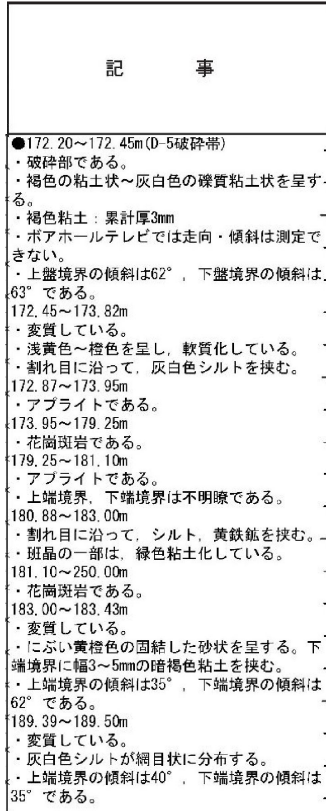
柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.12孔 深度183.43m)

・粘土状部にせん断構造・変形構造が認められないことから、破碎部ではないと判断した。

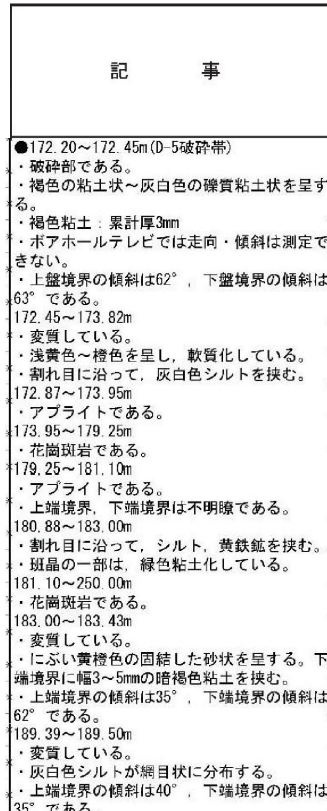
委託報告書 (平成19年)



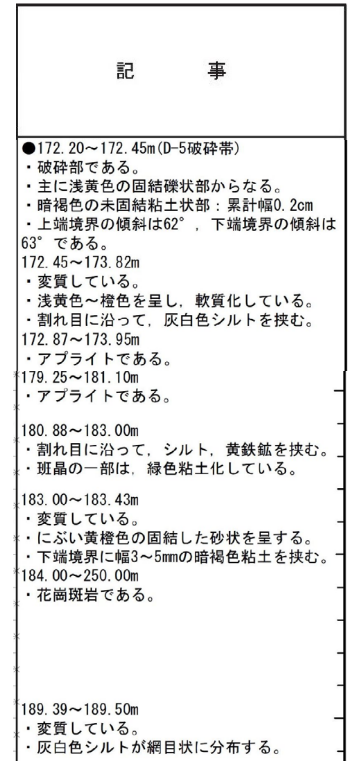
設置許可申請書案



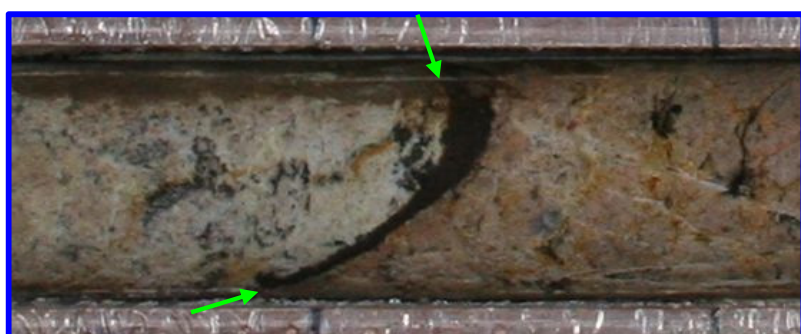
設置許可申請書 (平成27年11月)



審査資料 (平成29年12月22日)



委託報告書 (平成19年)	設置許可申請書案	設置許可申請書 (平成27年11月)	審査資料 (平成29年12月22日)
深度183.00～183.43m: 変質帯。上盤35度, 下盤62度。固結砂状。 深度183.43m: シーム。傾斜62度。下盤に幅3～5mmの暗褐色粘土付着。	183.00～183.43m ・変質している。 ・にぶい黄橙色の固結した砂状を呈する。下端境界に幅3～5mmの暗褐色粘土を挟む。 ・上端境界の傾斜は35°, 下端境界の傾斜は62°である。	183.00～183.43m ・変質している。 ・にぶい黄橙色の固結した砂状を呈する。下端境界に幅3～5mmの暗褐色粘土を挟む。 ・上端境界の傾斜は35°, 下端境界の傾斜は62°である。	183.00～183.43m ・変質している。 ・にぶい黄橙色の固結した砂状を呈する。 ・下端境界に幅3～5mmの暗褐色粘土を挟む。



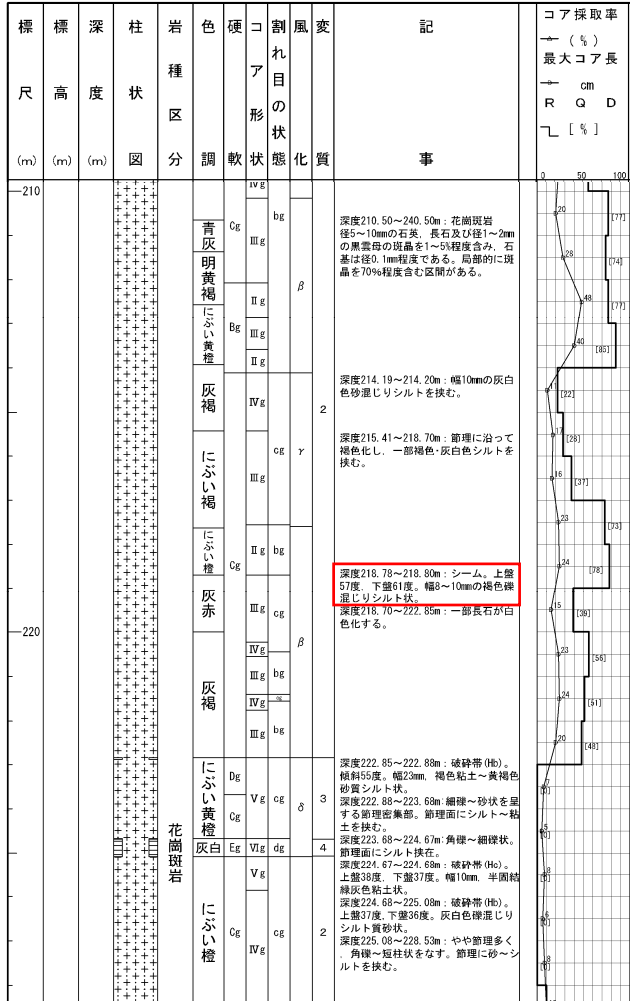
凡例
← シーム

0 5 cm

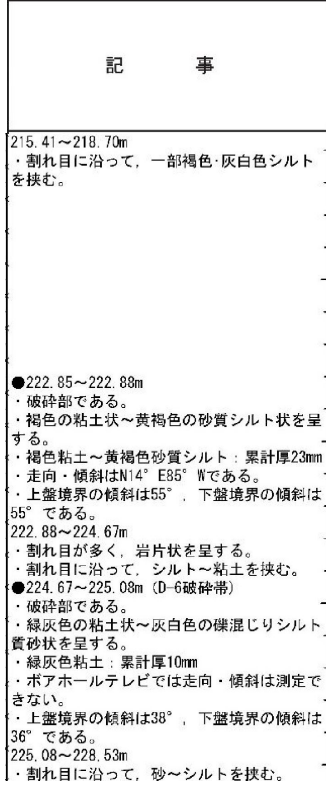
柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.12孔 深度218.78~218.80m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。

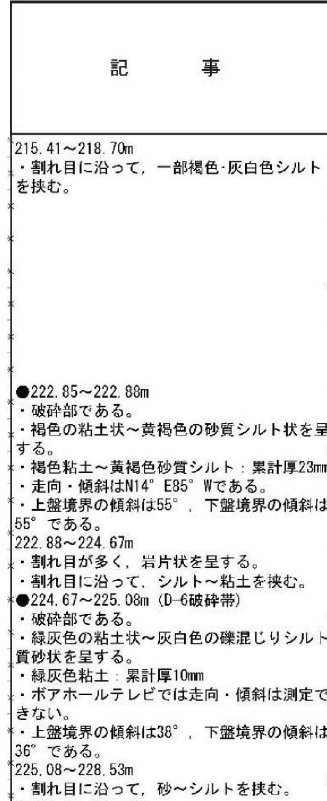
委託報告書 (平成19年)



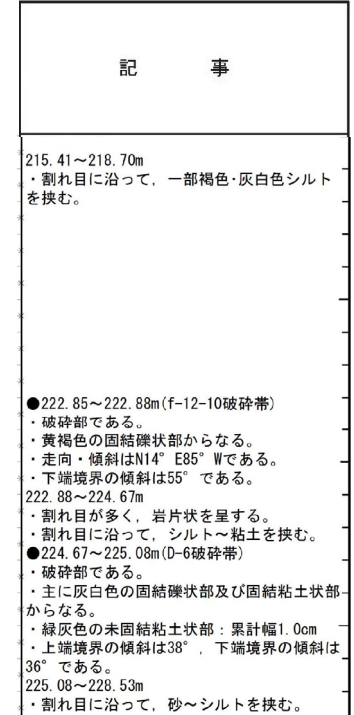
設置許可申請書案



設置許可申請書 (平成27年11月)



審査資料 (平成29年12月22日)



委託報告書 (平成19年)	設置許可申請書案	設置許可申請書 (平成27年11月)	審査資料 (平成29年12月22日)
深度218.78~218.80m: シーム。上盤57度、下盤61度。幅8~10mmの褐色礫混じりシルト状。	記載なし	記載なし	記載なし

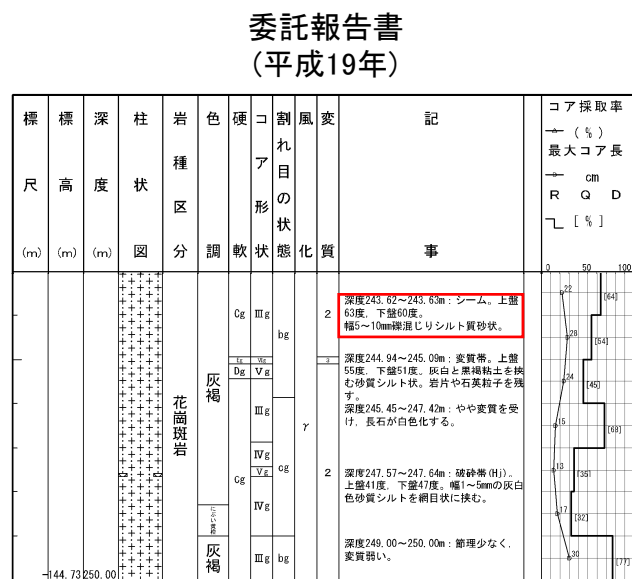


凡例
← シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.12孔 深度243.62~243.63m)

・砂状を呈するが、その分布は殲滅し連続性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



設置許可申請書案

記事

244.94~245.09m
 ・変質している。
 ・灰褐色の岩片混じり砂質シルト状を呈する。灰白~黒褐色粘土を挟む。
 ・上盤境界の傾斜は55°、下盤境界の傾斜は51°である。

●247.57~247.64m
 ・破砕部である。
 ・灰褐色のシルト混じり礫状を呈する。幅1~5mmの灰白色砂質シルトを網目状に挟む。
 ・ポアホールテレビでは走向・傾斜は測定できない。
 ・上盤境界の傾斜は41°、下盤境界の傾斜は47°である。

設置許可申請書 (平成27年11月)

記事

244.94~245.09m
 ・変質している。
 ・灰褐色の岩片混じり砂質シルト状を呈する。灰白~黒褐色粘土を挟む。
 ・上盤境界の傾斜は55°、下盤境界の傾斜は51°である。

●247.57~247.64m
 ・破砕部である。
 ・灰褐色のシルト混じり礫状を呈する。幅1~5mmの灰白色砂質シルトを網目状に挟む。
 ・ポアホールテレビでは走向・傾斜は測定できない。
 ・上盤境界の傾斜は41°、下盤境界の傾斜は47°である。

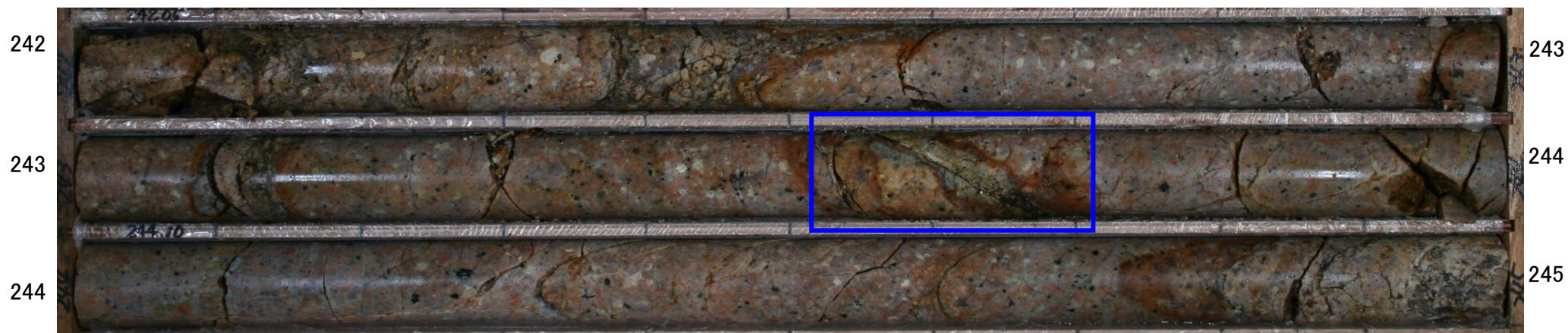
審査資料 (平成29年12月22日)

記事

244.94~245.09m
 ・変質している。
 ・灰褐色の岩片混じり砂質シルト状を呈する。
 ・灰白~黒褐色粘土を挟む。

●247.57~247.64m (D-7破砕帯)
 ・破砕部である。
 ・灰褐色の固結礫状部からなる。
 ・上盤境界の傾斜は41°、下盤境界の傾斜は47°である。

委託報告書 (平成19年)	設置許可申請書案	設置許可申請書 (平成27年11月)	審査資料 (平成29年12月22日)
深度243.62~243.63m: シーム。上盤63度、下盤60度。幅5~10mm連続じりシルト質砂状。	記載なし	記載なし	記載なし

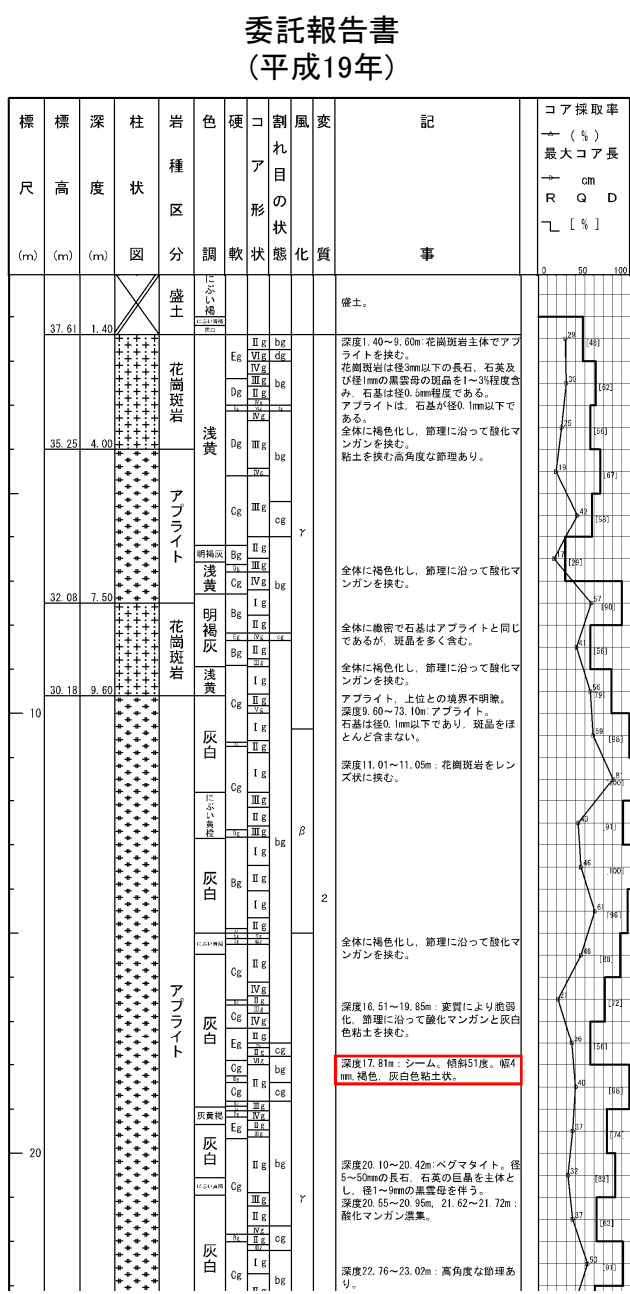


凡例
 ← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.13孔 深度17.81m)

・周囲の岩盤にシームと同系統の割れ目が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



記事
0.00~1.40m ・盛土である。
1.40~9.60m ・花崗斑岩主体でアブライトを挟む。 ・割れ目によって酸化マンガンを含む。
9.60~73.10m ・アブライトである。
11.01~11.05m ・花崗斑岩をレンズ状に挟む。
16.51~19.85m ・変質している。 ・割れ目によって酸化マンガンと灰白色粘土を挟む。
20.10~20.42m ・ペグマタイトである。
20.55~20.95m, 21.62~21.72m ・酸化マンガンが濃集する。

記事
0.00~1.40m ・盛土である。
1.40~9.60m ・花崗斑岩主体でアブライトを挟む。 ・割れ目によって酸化マンガンを含む。
9.60~73.10m ・アブライトである。
11.01~11.05m ・花崗斑岩をレンズ状に挟む。
16.51~19.85m ・変質している。 ・割れ目によって酸化マンガンと灰白色粘土を挟む。
20.10~20.42m ・ペグマタイトである。
20.55~20.95m, 21.62~21.72m ・酸化マンガンが濃集する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度17.81m: シーム。傾斜51度。幅4mm、褐色、灰白色粘土状。	記載なし	記載なし

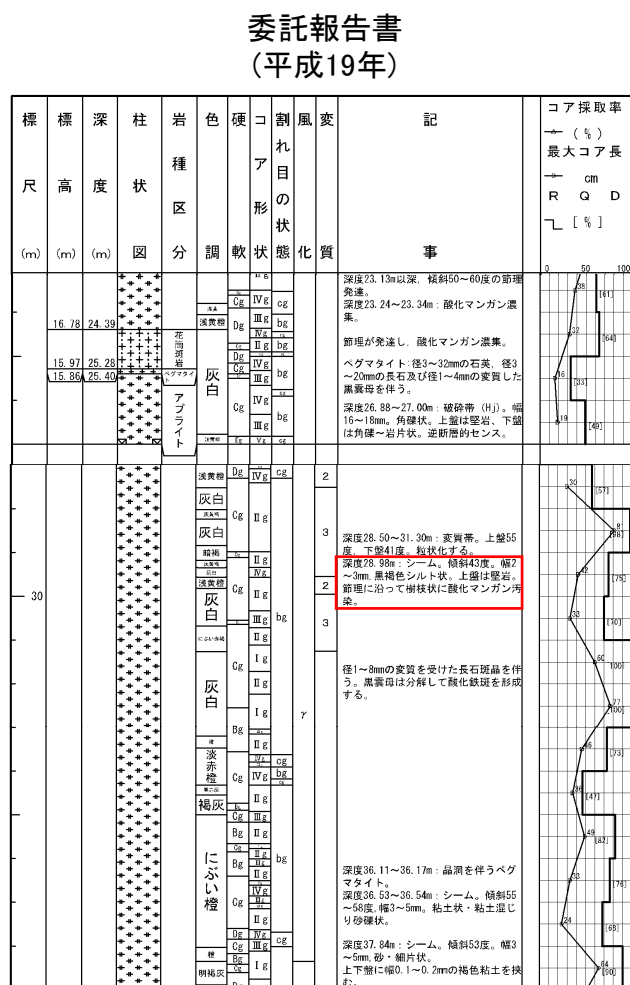


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.13孔 深度28.98m)

・シルト状を呈するが、その分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



審査資料案	
記事	
23.13m以深	・割れ目が発達する。
23.24~23.34m	・酸化マンガンが濃集する。
24.39~25.28m	・花崗斑岩である。
25.28~25.40m	・ペグマタイトである。
26.88~27.00m (D-2破碎帯)	・破砕部である。
28.50~31.30m	・変質し、粒状化する。
36.11~36.17m	・ペグマタイトを挟む。
36.53~36.54m	・幅3~5mmの粘土状・粘土混じり砂礫状を呈する。

審査資料 (平成30年11月30日)	
記事	
23.13m以深	・割れ目が発達する。
23.24~23.34m	・酸化マンガンが濃集する。
24.39~25.28m	・花崗斑岩である。
25.28~25.40m	・ペグマタイトである。
26.88~27.00m (D-2破碎帯)	・破砕部である。
28.50~31.30m	・変質し、粒状化する。
36.11~36.17m	・ペグマタイトを挟む。
36.53~36.54m	・幅3~5mmの粘土状・粘土混じり砂礫状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度28.98m: シーム。傾斜43度。幅2~3mm。黒褐色シルト状。上盤は堅岩。節理に沿って樹枝状に酸化マンガン汚染。	記載なし	記載なし

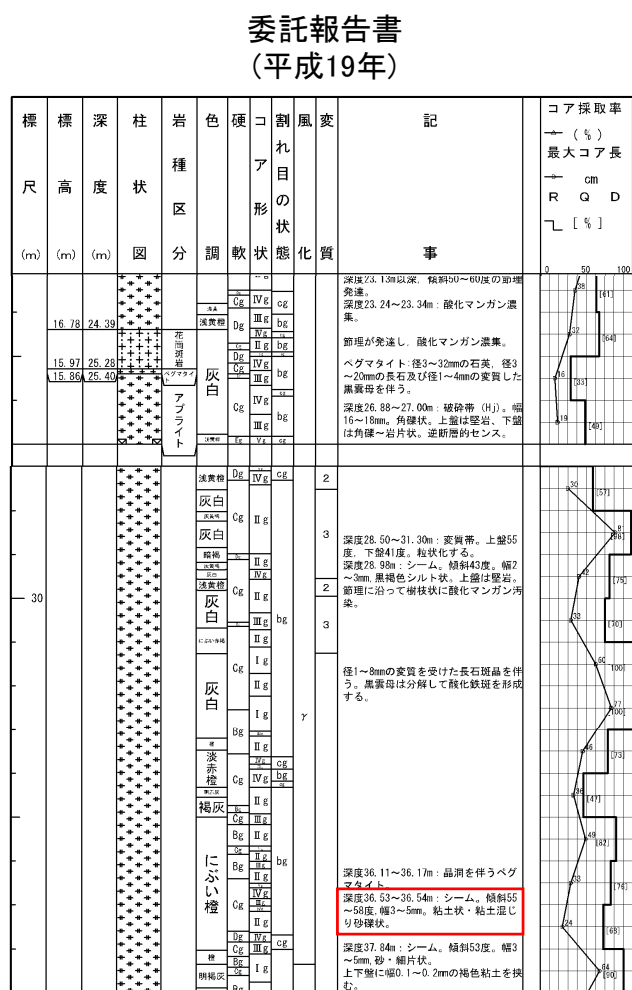


凡例
 : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.13孔 深度36.53~36.54m)

・砂礫状を呈するが、その分布は殲滅し連続性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



審査資料案

記事

23.13m以深
・割れ目が発達する。
23.24~23.34m
・酸化マンガンが濃集する。
24.39~25.28m
・花崗斑岩である。
25.28~25.40m
・ペグマタイトである。
・径3~32mmの石英、径3~20mmの長石及び径1~4mmの変質した黒雲母を伴う。
●26.88~27.00m (D-2破碎帯)
・破碎部である。
・浅黄褐色の固結礫状部からなる。
・走向・傾斜はN5° E81° Wである。
・フィルム状の粘土を挟む。
28.50~31.30m
・変質し、粒状化する。

36.11~36.17m
・ペグマタイトを挟む。
36.53~36.54m
・幅3~5mmの粘土状・粘土混じり砂礫状を呈する。

審査資料 (平成30年11月30日)

記事

23.13m以深
・割れ目が発達する。
23.24~23.34m
・酸化マンガンが濃集する。
24.39~25.28m
・花崗斑岩である。
25.28~25.40m
・ペグマタイトである。
・径3~32mmの石英、径3~20mmの長石及び径1~4mmの変質した黒雲母を伴う。
●26.88~27.00m (D-2破碎帯)
・破碎部である。
・浅黄褐色の固結礫状部からなる。
・走向・傾斜はN5° E81° Wである。
・フィルム状の粘土を挟む。
28.50~31.30m
・変質し、粒状化する。

36.11~36.17m
・ペグマタイトを挟む。
36.53~36.54m
・幅3~5mmの粘土状・粘土混じり砂礫状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度36.53~36.54m: シーム。傾斜55~58度。幅3~5mm。粘土状・粘土混じり砂礫状。	36.53~36.54m ・幅3~5mmの粘土状・粘土混じり砂礫状を呈する。	36.53~36.54m ・幅3~5mmの粘土状・粘土混じり砂礫状を呈する。



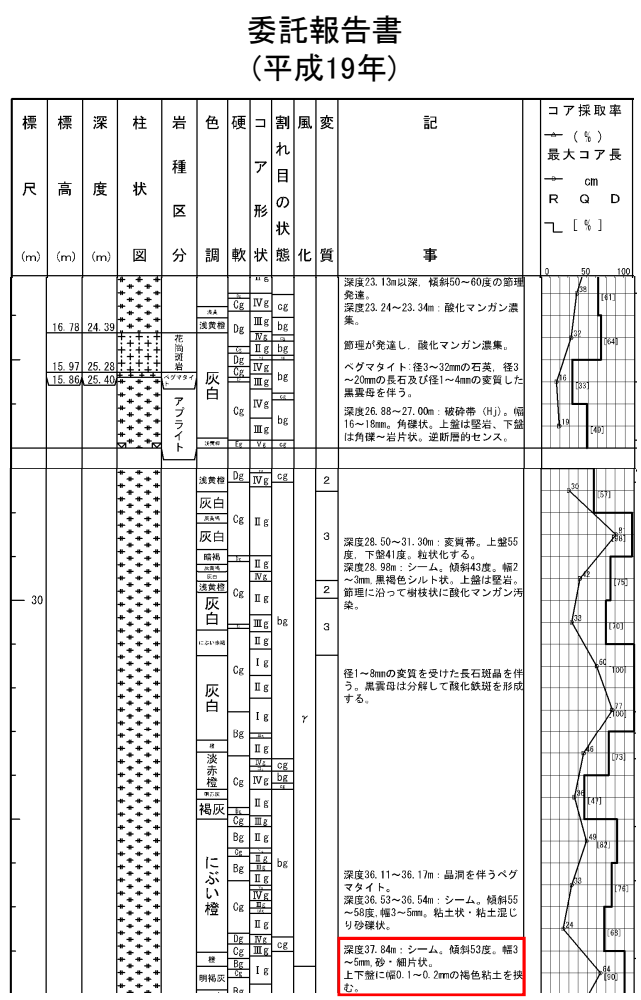
凡例

← シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.13孔 深度37.84m)

・砂・細片状を呈するが、その分布は湾曲し直線性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



審査資料案	
記事	
23.13m以深	・割れ目が発達する。
23.24~23.34m	・酸化マンガンが濃集する。
24.39~25.28m	・花崗斑岩である。
25.28~25.40m	・ペグマタイトである。
26.88~27.00m (D-2破碎帯)	・径3~32mmの石英、径3~20mmの長石及び径1~4mmの変質した黒雲母を伴う。
28.50~31.30m	・変質し、粒状化する。
36.11~36.17m	・ペグマタイトを挟む。
36.53~36.54m	・幅3~5mmの粘土状・粘土混じり砂礫状を呈する。

審査資料 (平成30年11月30日)	
記事	
23.13m以深	・割れ目が発達する。
23.24~23.34m	・酸化マンガンが濃集する。
24.39~25.28m	・花崗斑岩である。
25.28~25.40m	・ペグマタイトである。
26.88~27.00m (D-2破碎帯)	・径3~32mmの石英、径3~20mmの長石及び径1~4mmの変質した黒雲母を伴う。
28.50~31.30m	・変質し、粒状化する。
36.11~36.17m	・ペグマタイトを挟む。
36.53~36.54m	・幅3~5mmの粘土状・粘土混じり砂礫状を呈する。

委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度37.84m: シーム、傾斜53度、幅3~5mm、砂・細片状。上下盤に幅0.1~0.2mmの褐色粘土を挟む。	記載なし	記載なし

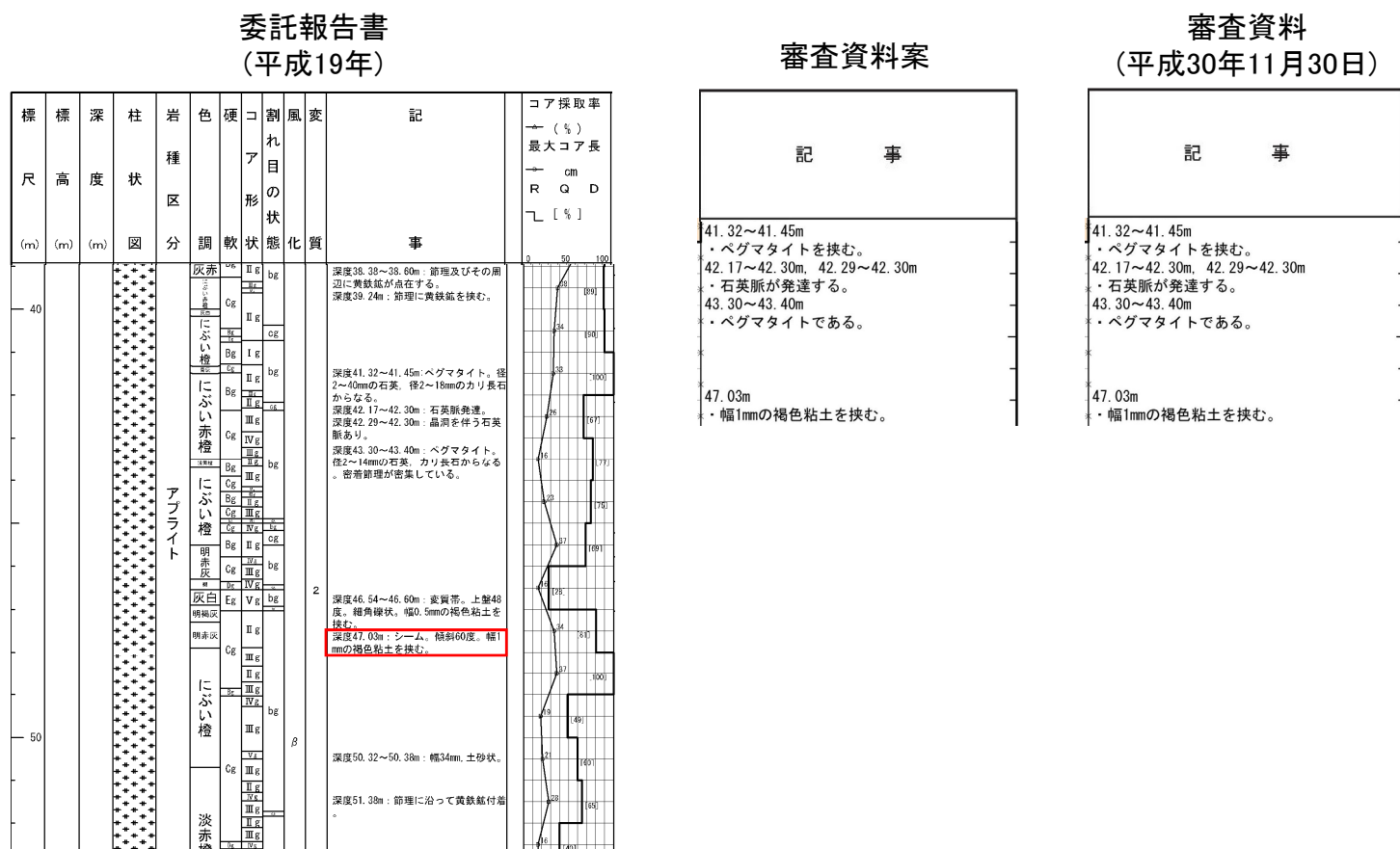


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.13孔 深度47.03m)

・周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	審査資料案	審査資料 (平成30年11月30日)
深度47.03m: シーム。傾斜60度。幅1mmの褐色粘土を挟む。	47.03m ・幅1mmの褐色粘土を挟む。	47.03m ・幅1mmの褐色粘土を挟む。

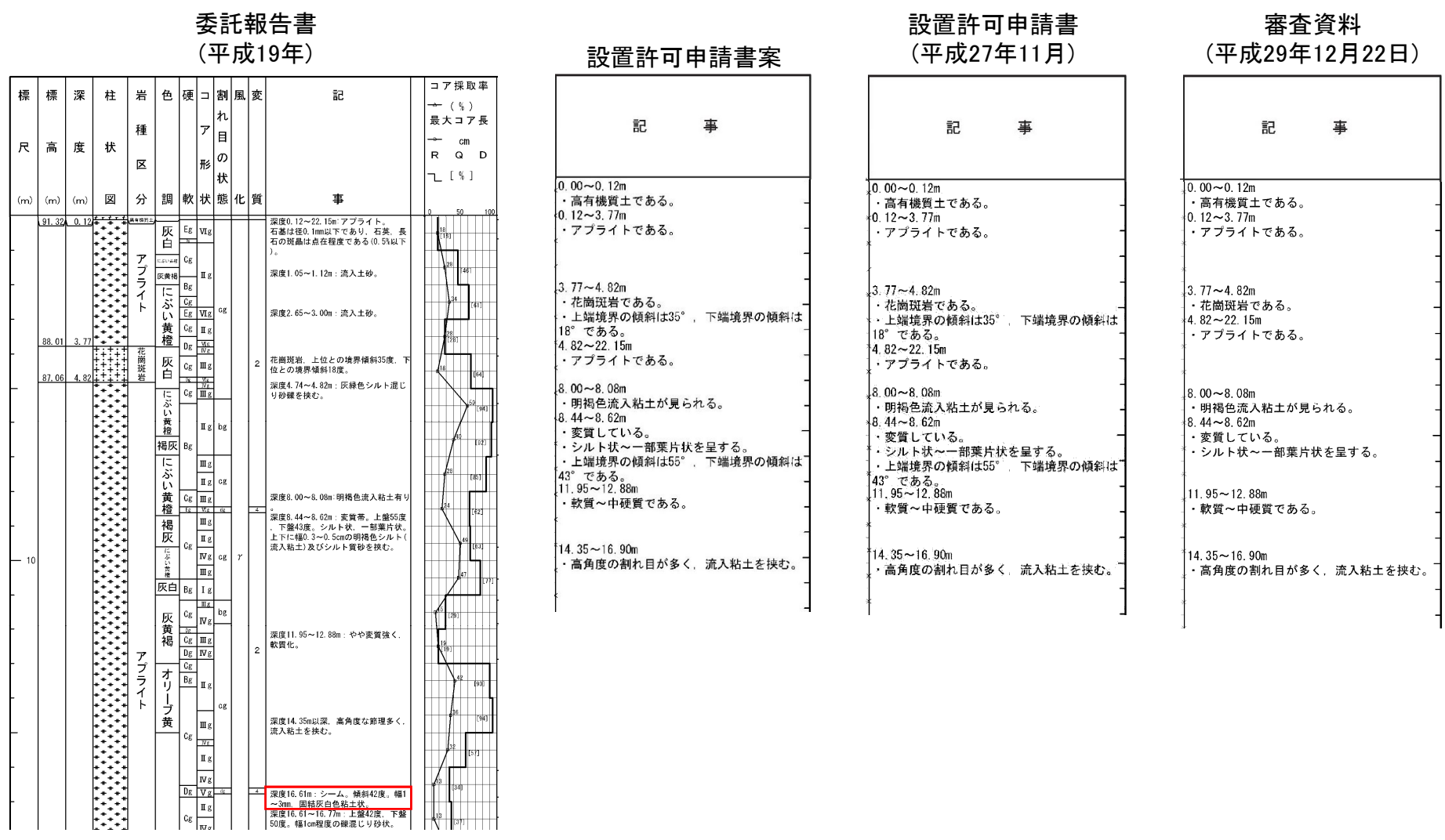


凡 例
← シーム

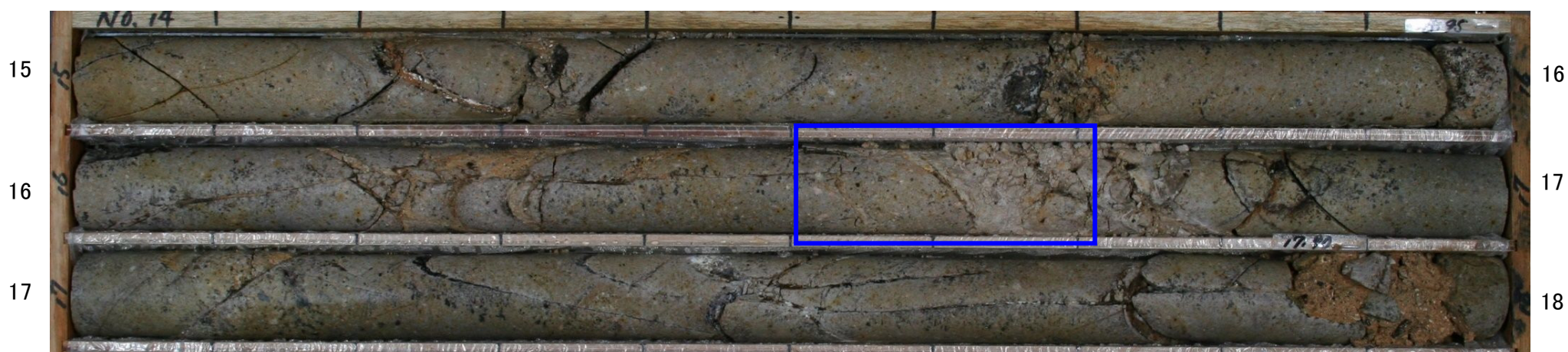
0 ————— 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.14孔 深度16.61m)

・粘土状を呈するが、その分布は湾曲し直線性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	設置許可申請書案	設置許可申請書 (平成27年11月)	審査資料 (平成29年12月22日)
<p>深度16.61m: シーム。傾斜42度。幅1~3mm。固結灰白色粘土状。</p>	記載なし	記載なし	記載なし

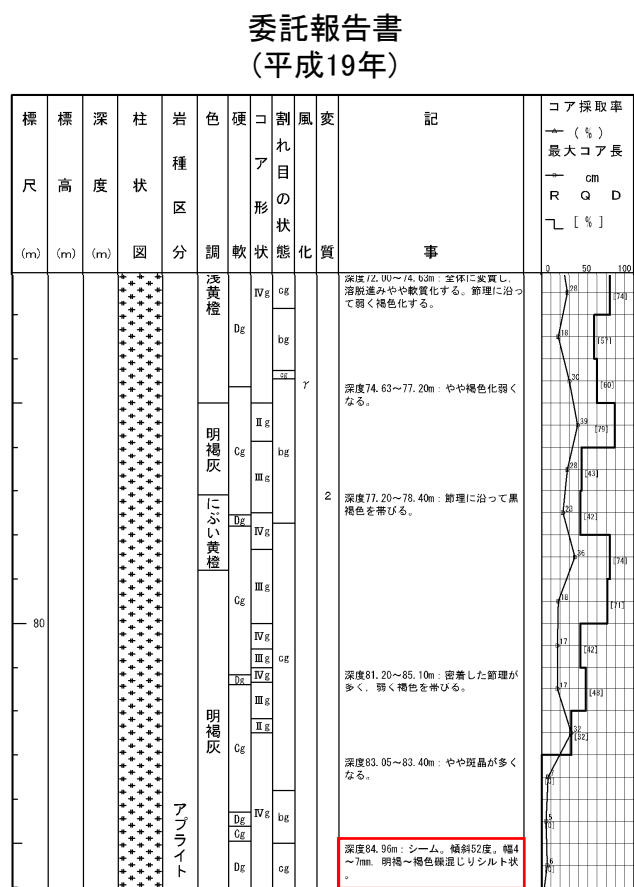


凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.14孔 深度84.96m)

・粘土状を呈するが、下端面は膨縮し直線性に乏しく、周囲の岩盤に劣化が認められないことから、破碎部ではないと判断した。



設置許可申請書案

記事
72.43~72.70m ・割れ目が多い。 74.77~80.00m ・割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。
82.50~86.12m ・割れ目が多く、岩片~短柱状を呈する。 84.30~86.12m ・軟質である。 83.05~83.40m ・斑晶がやや多い。

設置許可申請書 (平成27年11月)

記事
72.43~72.70m ・割れ目が多い。 74.77~80.00m ・割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。
82.50~86.12m ・割れ目が多く、岩片~短柱状を呈する。 84.30~86.12m ・軟質である。 83.05~83.40m ・斑晶がやや多い。

審査資料 (平成29年12月22日)

記事
●72.43~72.70m (f-4)-5-3 破碎帯 ・破碎部である。 ・浅黄橙色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。 ・走向・傾斜はN32° W77° Wである。 74.77~80.00m ・割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。
82.50~86.12m ・割れ目が多く、岩片~短柱状を呈する。 84.30~86.12m ・軟質である。 83.05~83.40m ・斑晶がやや多い。

委託報告書 (平成19年)	設置許可申請書案	設置許可申請書 (平成27年11月)	審査資料 (平成29年12月22日)
深度84.96m: シーム。傾斜52度。幅4~7mm。明褐~褐色礫混じりシルト状。	記載なし	記載なし	記載なし



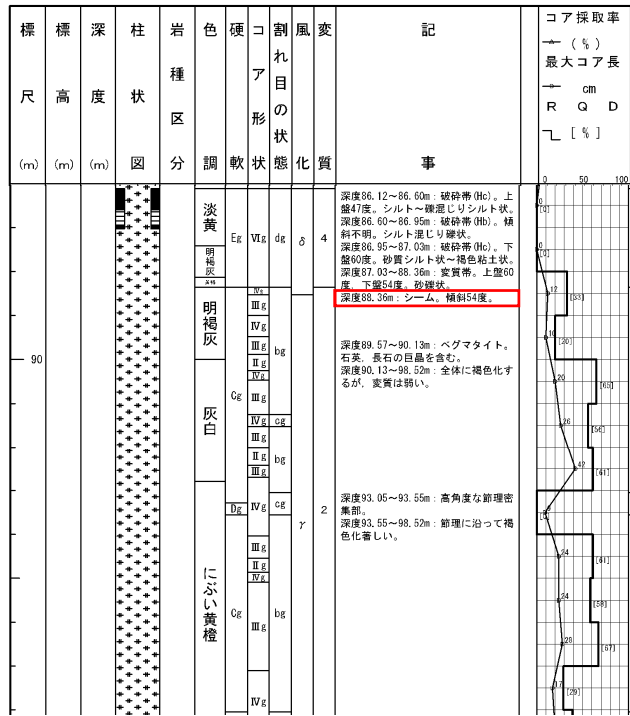
凡例
← : シーム

0 5 cm

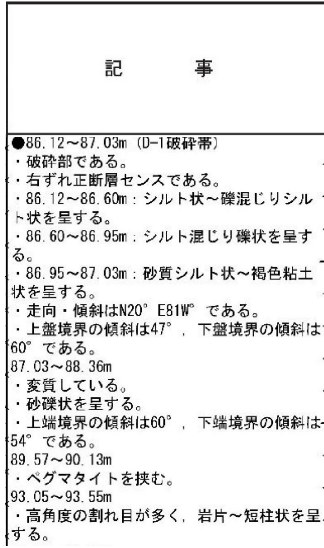
柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.14孔 深度88.36m)

・粘土状を呈するが、その分布は湾曲し直線性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。

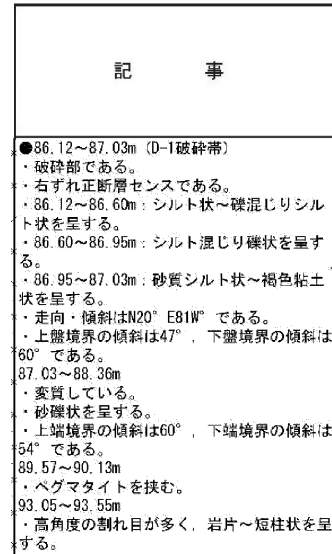
委託報告書 (平成19年)



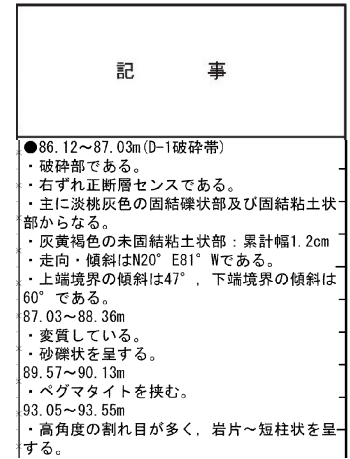
設置許可申請書案



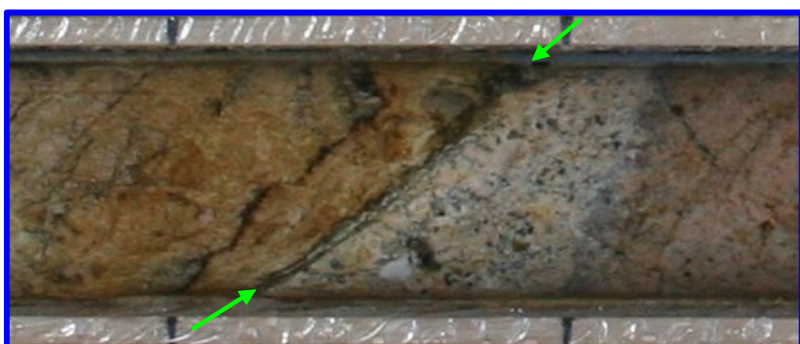
設置許可申請書 (平成27年11月)



審査資料 (平成29年12月22日)



委託報告書 (平成19年)	設置許可申請書案	設置許可申請書 (平成27年11月)	審査資料 (平成29年12月22日)
深度88.36m: シーム。傾斜54度。	記載なし	記載なし	記載なし



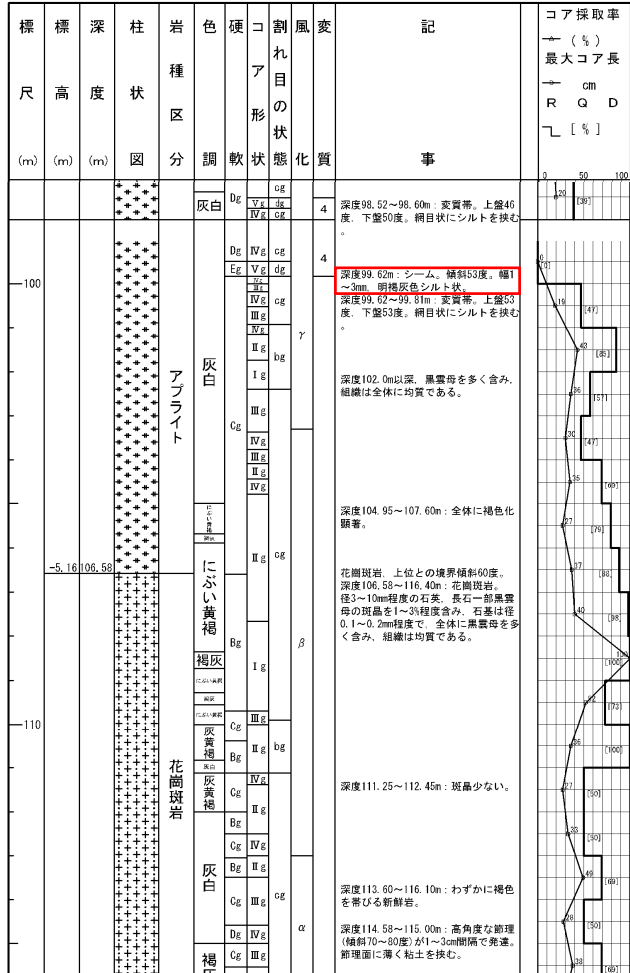
凡例
← : シーム

0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状(H19-No.14孔 深度99.62m)

・シルト状を呈するが、その分布は殲滅し連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。

委託報告書 (平成19年)



設置許可申請書案

記事
98.52~98.60m ・変質している。 ・網目状にシルトを挟む。 ・上端境界の傾斜は46°、下端境界の傾斜は50°である。 98.52~99.81m ・軟質~極めて軟質である。 ・岩片状~土砂状を呈する。 99.62~99.81m ・変質している。 ・網目状にシルトを挟む。 ・上端境界の傾斜は53°、下端境界の傾斜は53°である。 104.48~109.97m ・割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。 106.58~116.40m ・花崗斑岩である。 ・上端境界の傾斜は60°である。 111.25~112.45m ・斑晶が少ない。 114.58~115.00m ・高角度の割れ目が多く、岩片~短柱状を呈する。 ・割れ目面に薄い粘土を挟む。

設置許可申請書 (平成27年11月)

記事
98.52~98.60m ・変質している。 ・網目状にシルトを挟む。 ・上端境界の傾斜は46°、下端境界の傾斜は50°である。 98.52~99.81m ・軟質~極めて軟質である。 ・岩片状~土砂状を呈する。 99.62~99.81m ・変質している。 ・網目状にシルトを挟む。 ・上端境界の傾斜は53°、下端境界の傾斜は53°である。 104.48~109.97m ・割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。 106.58~116.40m ・花崗斑岩である。 ・上端境界の傾斜は60°である。 111.25~112.45m ・斑晶が少ない。 114.58~115.00m ・高角度の割れ目が多く、岩片~短柱状を呈する。 ・割れ目面に薄い粘土を挟む。

審査資料 (平成29年12月22日)

記事
98.52~98.60m ・変質している。 ・網目状にシルトを挟む。 ・上端境界の傾斜は46°、下端境界の傾斜は50°である。 98.52~99.81m ・軟質~極めて軟質である。 ・岩片状~土砂状を呈する。 99.62~99.81m ・変質している。 ・網目状にシルトを挟む。 ・上端境界の傾斜は53°、下端境界の傾斜は53°である。 104.48~109.97m ・割れ目が少なく、柱状~長柱状を呈する。 106.58~116.40m ・花崗斑岩である。 111.25~112.45m ・斑晶が少ない。 114.58~115.00m ・高角度の割れ目が多く、岩片~短柱状を呈する。 ・割れ目面に薄い粘土を挟む。

委託報告書 (平成19年)	設置許可申請書案	設置許可申請書 (平成27年11月)	審査資料 (平成29年12月22日)
深度99.62m: シーム。傾斜53度。幅1~3mm。明褐色シルト状。	記載なし	記載なし	記載なし

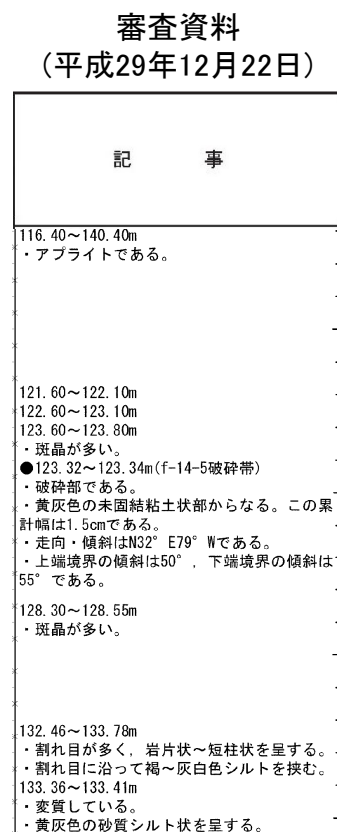
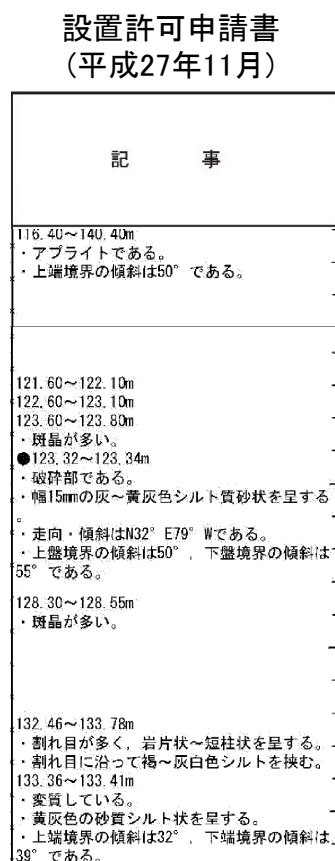
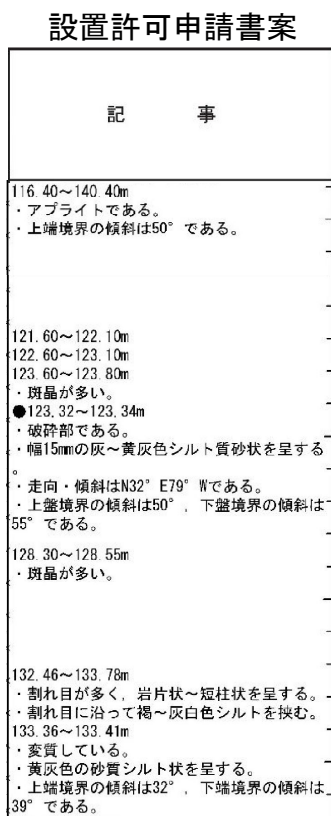
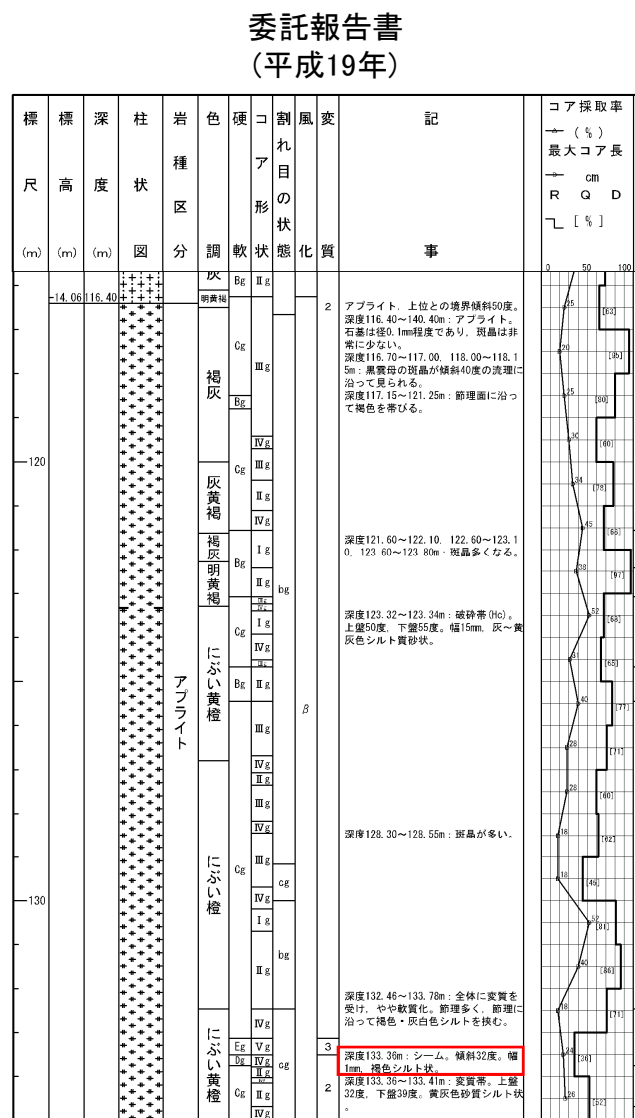


凡例
← シーム

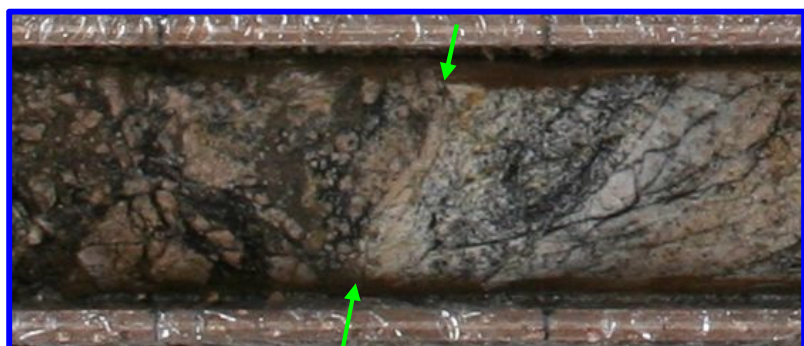
0 5 cm

柱状図における「シーム」の記載とその性状 (H19-No.14孔 深度133.36m)

・シルト状を呈するが、その分布は局所的であり連続性に乏しいことから、破碎部ではないと判断した。



委託報告書 (平成19年)	設置許可申請書案	設置許可申請書 (平成27年11月)	審査資料 (平成29年12月22日)
深度133.36m: シーム. 傾斜32度. 幅1mm. 褐色シルト状.	記載なし	記載なし	記載なし



凡例
← : シーム

0 5 cm